

神戸学院大学心理学研究

第 5 卷 第 2 号

Kobe Gakuin University Journal of Psychology

2023 年 3 月 発行

神戸学院大学心理学部

神戸学院大学心理学研究 第5巻 第2号 目次

2022 年度第1回心理学部学術講演会

現在のサイコパス研究の到達点

—感情理解の特性と脳画像研究—

三重大学教育学部教授・三重大学教育学部附属小学校校長 松浦 直己 69

2022 年度第2回心理学部学術講演会

時間意識はどこからくるのか

明石市立天文科学館・館長 井上 毅 101

2022 年度卒業論文 題目一覧..... 113

2022 年度卒業論文 優秀論文要旨..... 117

2022 年度修士論文 要旨..... 119

2022 年度 活動報告..... 132

現在のサイコパス研究の到達点 —感情理解の特性と脳画像研究—

三重大学教育学部教授・三重大学教育学部附属小学校校長
松浦 直己

はじめに

長谷和久：定刻の 15 時 30 分になりました。2022 年度第 1 回神戸学院大学心理学部学術講演会を開始します。皆さん、どうぞよろしくお祈りします。

本日は、三重大学から松浦直己(まつうらなおみ)先生にお越しいただいています。松浦先生は、三重大学教育学部附属小学校の校長もお務めであり、専門分野は特別支援教育、発達障害、虐待、少年非行、不登校などです。私は学部時代と大学院時代に松浦先生の授業を受講しました。非常に高度な生理指標のデータによるエビデンスベースな(証拠に基づく)ご研究をたくさん進めておられる先生です。本日は、「現在のサイコパス研究の到達点—感情理解の特性と脳画像研究—」と題してお話をいただきます。私も、大学院から久しぶりに先生のご講演を聞いて大変楽しみにしています。松浦先生、どうぞよろしくお祈りします。

松浦直己：自己紹介です。今、長谷先生のお話に「大学」と出ていたのは、三重大学ではなく、同志社大学で学部と大学院を非常勤で持っていたときのことで。私自身は、今は三重大学教育学部の教員をしていて、実は3年ぐらい前から三重大学教育学部の附属小学校の校長も兼任しています。

だから、私は、ほぼ毎朝、学校の校門に立って、「おはようございます。今日も元気？」という感じで子どもたちを迎えています。そんな人が犯罪学者であるというのはほとんど誰も知らないだろうと思います。ただ、今日ここにきて建物に入ると、皆さん、初めて会うのに挨拶をしてくれて、良い学校だと思いました。今日はよろしくお祈りします。

最新のサイコパス研究を学ぼう！

皆さんの持つ「サイコパス」と、現在、本当に研究し尽くされているサイコパスのイメージとは相当違うと思います。誰もがサイコパスが嫌いで、私も嫌いです。だから、サイコパスを積極的に研究しよ

うと思ったことは一度もありません。ただ、少年院の研究をしたり、教科書を書いたり、外国の教科書を訳したりというときに、「やっぱりサイコパスはおもしろいな」と思いました。また、今は子どもを相手にしていますが、非常に破壊的な行動をする子どもがいます。先生に反抗しまくったり、かんしゃくを起こしまくったりします。こういう特性がそもそもサイコパス特性の始まりだということを、いろいろな教育相談を受けるなかであらためて感じています。

今日ご紹介するサイコパス研究は主に三つあります。一つ目は心理学的研究です。精神医学的研究と言ってもいいかもしれません。かなり明らかになっています。二つ目は脳科学的研究、いわゆる画像研究です。これも相当明らかになっています。三つ目は子どものサイコパスに関連する研究です。子どものこういう特性は一貫しています。

今日のキーワードは一つで、「衝動制御」です。私は、衝動制御が利かない人たちの王様がサイコパスだと思っており、衝動制御の利かなさは子どものときから一貫しています。

非常に不思議で、なぜかわかりませんが、少年犯罪は本当に減っています(少年による刑法犯等検挙人数・人口比の推移：刑法犯・危険運転致死傷・過失運転致死傷等)。おそらく、皆さんは、歴史上かつてないぐらいにおとなしい人たちです。平成30年間で少年犯罪は約90%減っています。

進化論的に考えて、人間の衝動制御が30年でそんなに収まるはずがないので、皆さんの衝動制御は生物学的には1万年前も2万年前も変わっていないはずです。おそらく、環境要因があまりにも良いのでしょう。なぜか90%も減っています。

恐るべきは、平成元年頃は非行が一番多かったのです。スウェーデン、ノルウェーなど比較的少ない先進国の中でも、日本は傑出して少ないです。さらに、何の刑事政策も打ち出されていません。「少年非行を減らしましょう」という政策は聞いたことがないのに、90%も減らせています。すごいことです。今、日本で恐ろしいことが起こっています。

皆さんは、この時代を生きている若者として、「こんなに減っているのだったら、もういつ増えるの?」と考えるかもしれませんが、私は、まだまだ減っていくと予想しています。この前、そういう論文を書きました。あらゆる教育的指標で良いです。私も皆さんも良い社会に生まれました。町を歩いていて、殺されるかもしれないと感じたことは一度もないと思います。でも、全く一度もそう感じたことがない社会に生きている人は、先進国の中でもごく少数です。皆さんは、そのぐらい良い世の中、良い国に生まれています。

新型コロナウイルスもそうですが、感染者が多くなると重症者も多くなるし、死者も多くなります。サイコパスも同じです。犯罪をする人が多いと、ある一定の割合で、軽度なサイコパスも重度なサイコパスも生まれます。ですから、平成元年度から比べると、重度なサイコパスも軽度なサイコパスも少なくなっているのは間違いありません。

サイコパスの中で、非常に計算高く準備が周到で、あるときだけ衝動抑制が利かないというサイコパスの典型例が、「羊たちの沈黙」という映画のハンニバル・レクターです。この映画が一番よくできていると思います。

パーソナリティー障害とは (DSM-5 より)

こういった分野に興味がある人は、パーソナリティー障害を研究してください。パーソナリティー障害には10種類あります。私は小学校の校長をしていて、いつも悩まされるのが保護者対応です。「モンスター」と呼ばれる人たちのなかに、こういうパーソナリティー特性を持っている人がいます。一番多いのが猜疑性(／妄想性パーソナリティー障害)で、回避性(パーソナリティー障害)や依存性(パーソナリティー障害)もあります。中には、父親や母親の中で反社会性パーソナリティー障害を持った人も、自己愛性パーソナリティー障害を持った人もいます。

非常に苦しめられてきた部分もあるので、「校長先生、この親御さん、大変です」と言われ、「では、保護者対応はまかせてほしい」という場合は、ほぼ職業病で、「この人はこのパーソナリティー特性のどこに当てはまるのかな」と意識せずに「この人って、多分、猜疑性が30%で自己愛性が30%でボーダーライン(境界性パーソナリティー障害)が40%ぐらいのパーソナリティーだな」という感じで査定してしまいます。そうしないと対応できないときがあります。圧倒的大多数の保護者は、そんなことはないごく普通の良識的な人です。

そのなかでも、社会の中で最も大きな害悪をもたらす人たちが反社会性パーソナリティー障害の人たちです。最初に理解してほしいのは、反社会性パーソナリティー障害とサイコパスの定義は、オーバー

ラップするところとしないところがあるという点です。これを知っておくだけでもだいぶ違います。反社会的パーソナリティー障害は社会にあらゆる害悪をもたらす人たちで、こういう精神医学的な定義に当てはまる一群とサイコパスという定義に当てはまる一群と両方当てはまる一群があります。

しかも、いろいろなパーソナリティー障害もそうですが、反社会的なパーソナリティーが連続体で表されるとすると、精神医学では、ここからこちらが障害域に入るという考え方をします。全て連続体です。皆さんは顔を見ただけでわかりますが、反社会的なことは絶対にありません。共感性も豊かです。友達も多いでしょう。

ある範囲を超えると大変な人たちですが、このなかでも、筋金入りの重度な反社会的な人たちもいれば、ぎりぎり診断域に入る人もいます。それによって治せるかもしれませんし、治せないかもしれません。あるいは、精神医学的にいうと、ここまでは障害で、ここからは障害ではないというのはナンセンスです。持って生まれた特性がこのあたりで、環境要因によってこのあたりに行くことはよくあります。逆に、持って生まれた特性はこちらですが、環境要因が良すぎてこちらまで来ている、寛解しているケースはあります。

おもしろいことに、日本で犯罪が少ないのはこういうことで説明できます。日本は家庭環境や学校があまりにも良すぎてサイコパスが少ないと思います。極端に少ないかもしれません。

反社会性人格障害の診断基準

反社会性パーソナリティー障害の診断基準は衝動性です。盗みたいと思ったら盗んでしまいます。かーっとしたら手が出ています。あるいは、アルコールが飲みたいと思ったらアルコールを飲んでしまいます。もっと言うと、あおり運転の人たちはそうです。抜かれてカチンときたら、その怒りが爆発して抑えようがないので危険なことをしてしまいます。

社会の害悪の全ての根本は衝動性です。アルコール依存も薬物依存も、もしかしたら、DVや児童虐待、あらゆる社会病理は、その人の持っている衝動性の制御が利かないことによって引き起こされます。だから、私は、反社会性パーソナリティー障害の一番重要な診断項目は、衝動性と将来の計画を立てられないことだと思います。

人をだますし、易怒性も高いです。ここでの易怒性とはすぐ怒ることです。例えば、「最近、調子いいね」とトントンと肩を叩かれたときに、「うるせえ!」と返したら、「え?そんなことで怒るの?」となります。「ちょっとそれ、取っついて」と言ったときに、「何で俺にそんなこと言うんだ?!」と怒ります。あるいは、「そこはもうしっかり、あなた、我慢しなさ

い」と言われただけで、「やかましい」と言って机をひっくり返したり、大暴れをしたりする子どもがたくさんいます。つまり、普通はそこまでのことで怒らないです。あるいは、怒った結果がとても大きかったとすると、そのきっかけとなる原因(ストレス因子)があまりにもちっけだということです。これが易怒性の定義です。

また、無責任です。これも大事です。良心の呵責が欠如しています。例えば、私が今まで経験した少年院の子の面接のなかで、誰かをレイプして、ものすごい大けがを負わせたにもかかわらず、「被害者に悪かったと思いますか？」と尋ねたら、「目の前にいないので、悪かったと思いません」と、平気な顔で言っていた男の子がいました。本当に反省できません。

私たちの罪悪感、教えられていません。これはすごいことです。あらゆる動物のなかで罪悪感を持っているのは、私たちヒト、ホモサピエンスだけです。こんなに大事な感情ですが、誰も親や先生に教えられて罪悪感を獲得していません。持って生まれた心理的特性です。それが欠落している人がいるということが、衝動性と合わせて大きな診断基準の一つです。

衝動性や良心の呵責に結びついているのが、うそをつく、物を取る、無責任ということです。子どもについて興味がある人は最後まで聞いてほしいです。学校は本当にいろいろなことが起こります。うそをつく子はよく物を取ります。うそをついて物を取る子は、何かにつけて無責任です。そして、うそをついて物を取って無責任という子は、良心の呵責が不思議なくらいありません。つまり、これらの特性は一つのクラスターを構成しています。新型コロナウイルスで言うと、「群」です。ある特性を一つ持っていると同じクラスターの特性を二つ持っていて、二つ持っていると三つ持っているというイメージが一番近いです。

反社会性パーソナリティー障害とは

ADHDの専門家として言うと、ADHDの特性は不注意と多動衝動性ですが、これは全世界で3~5%、極めて均質に発生します。しかし、反社会性パーソナリティー障害については、少ない国だと0.2%か0.1%、多分、日本は世界中で反社会的パーソナリティー障害が最も少ない国であると思います。多い国だと、その10倍とか15倍です。障害で本当にそんなことがあり得るのかというと、本当にあります。

ADHD、統合失調症、認知症などに関しても、国籍の差はあまりありません。しかし、これらの障害に関しては大きく異なります。アルコール使用障害や物質使用障害があると、反社会性パーソナリティー障害の診断基準を満たす人たちは上がります。

つまり、原因は明らかにこちらです。反社会性パー

ソナリティー障害は、持って生まれた資質が極めて高いです。論文でよく間違えているのは、これらがあるとこちらが高まる、これが原因のように捉えられていることかもしれませんが、それは違います。こちらがあるからこそ、衝動制御ができなくてアルコールや違法薬物、何らかの違法行為に手を出すのが圧倒的多数です。

サイコパスとは

次は、サイコパスです。サイコパスは、いろいろな因子分析の結果はありますが、現在はこの二つ(「F1: 情動的要因」, 「F2: 反社会的な生活様式要因」)に収束します。20項目あります。これは、ロバート・ヘア(Robert D. Hare)が作ったもので、ヘア・サイコパシー・チェックリスト・リバイズド(Hare Psychopathy Checklist-Revised PCL-R)です。これはインターネット上で公開されていてすぐ使えますが、素人が使うと95%ぐらいサイコパスになってしまいます。

この前、NHKで織田信長のことをやっていました。ある脳科学者が、「実は、皆さん、織田信長はサイコパスだったのです」と言いました。「いい加減なことを言ってはダメだろう」と、思わずテレビに突っ込みました。

今、精神医学では、ADHDも自閉症も、いろいろな発達障害や知的障害も含めて、チェックリストで調べるようになってきました。私たち専門家は、この20項目のうちの少なくとも15項目が何点以上だと可能性が高まるという使い方をしなければいけないといったトレーニングを受けています。これだけのうちの何点以上だとなかなかありません。しかし、例えばADHDだと、「落ち着きがない」、「忘れ物が多い」、「すぐに飽きる」、「整理整頓ができない」と、1項目でもあると、「あの子はADHDじゃないの?」ということがあります。つまり、診断概念の拡大化が容易に起こってしまいます。

特にサイコパスはその傾向が強いです。だから、気をつけないとはいませんが、まず、こういうことに興味がある人は、「第1因子(F1): 情動的要因」と「第2因子(F2): 反社会的な生活様式要因」に注目してください。因子分析では、情動的な、つまり、サイコパスに特有の心理特性が1要因あるのと、サイコパスの人たちに特徴的な行動パターンがあります。第1因子は心理特性で、共感能力が欠如していて冷淡、罪悪感、後悔や罪の意識がありません。狡猾で人を操ることにたけています。これはここにしか出てきません。冗舌で表面的な魅力も、反社会性パーソナリティー障害には全然ありませんが、サイコパスには出てくる特性です。

第2因子は、反社会性パーソナリティー障害とほぼ重なっています。例えば、退屈しやすく刺激を

欲する、すぐ怠けます。単純作業をするとすぐにグターっとなって、子どもでも成人でも、「頑張りなさい」と言うと、「うるさい」と返す感じです。また、寄生虫のようなライフスタイル、ヒモのような性格や、貧弱な行動抑制、つまり衝動性ということと一緒にです。無責任、少年非行をしやすいです。サイコパスの人たちの特性として、だいたい小さい頃から悪いことをしています。幼い頃から問題行動があります。例えば、6歳ぐらいから万引きしていたというエピソードは強力です。ここは反社会性パーソナリティーと非常にオーバーラップするところです。

しかし、ここは、賢くて、ある程度の行動抑制はできますが、特定の部分の衝動性が利かないです。例えば、パチンコ、盗撮、露出など特定の性衝動、あるいは、普段の生活には衝動制御がきいていて仕事はできていますが、麻薬にだけは手を出してしまう、あるいは、非常に冷静で頭が良くて、おばあちゃんをだますのだけはとても上手であるとか。ここが特徴的なサイコパス、心理的要因です。ただし、私は「魅力的」は本当に入れているのかと昔から思っています。

サイコパスと反社会性パーソナリティー障害の関係

サイコパスと反社会性パーソナリティー障害は、オーバーラップしているところとしていないところがあります。重罪を犯して懲役刑が課されている人たちの全体像を見ると、重大犯罪で懲役刑を受けている人たちのなかで反社会的パーソナリティー障害と診断される人は約7割もいます。これはアメリカのデータです。たぶん日本でも似ていると思いますが、日本ではこういう研究がないのではっきりとは言えません。

そして、第1因子であるサイコパスの心理面とサイコパスの行動面でいくと、薄いほうは心理面です。つまり、反社会性パーソナリティー障害を満たして第1因子も満たす人がいるのです。こういう人たちけっこう賢くて、いわゆる詐欺とか、「オレオレ詐欺」の首謀者とか、そんな感じです。

こちらは乱暴なタイプで、衝動性に任せて、カーツとなったときに、殴ったり蹴ったりしてしまいます。DVもそうです。衝動性が抑えられなくて、カーツになったら殴ってしまいます。

彼らのなかでガンと殴って全然反省していない人たちは正真正銘のサイコパスや反社会性パーソナリティー障害です。バーンと殴って、「本当にごめんな、ごめんな」と謝る父親が多くいます。私たちが学校で相談を受けて見るのはそちらのタイプです。その人たちもむずかしいですが、無責任で衝動性がある反省ができないという典型的なサイコパスには、反社会性パーソナリティー障害のDVの夫もいれば、無責任で衝動性が抑制できないけれど反省は

できます。でも、衝動性が高いのでまたやってしまうサイコパスの人もあります。

第2因子の行動面では、反社会性パーソナリティー障害と非常に重なりやすいですが、心理特性に関しては重なっていない場合もあります。反社会性パーソナリティー障害も明らかに持っている、第1因子も第2因子も持っている部分はかなり厄介です。なかなか治らないと思います。やはり、どれだけ治療しても治らない人たちがいます。

サイコパスの発生率

サイコパスは、反社会性パーソナリティー障害と大体オーバーラップするので、アメリカで1%、イギリスで2%の人たちがいます。疫学調査の結果は、本当にあてになるような、ならないようなものです。定義によってだいぶ変わるからです。でも、明らかに連続体です。

つまり、証券会社にいた私の大学の友達に、1年目、2年目で、「今度のボーナスで1億円集めてこい」と言われて、半泣きになりながら、「こんな商品、絶対もうからないってわかっているけど売っているんだ」という感じの人がいました。すごいことです。普通はできません。

でも、その人は、多分、この程度の反社会的というか、サイコパス特性を持っています。逆に言うと、証券会社などで成功しようとしたら、多分、この人間は無理です。サイコパス特性がある程度ないと成功しない職業も世の中にはあります。もしかしたら、新興宗教の教組は、こちらでないかととてもとても人をだませないのかもしれない。

恐ろしいことですが、みんなが刑務所に入っているわけではありません。サイコパス特性が強くても、世の中でそのへんを歩いている人もいます。そして、誰でもサイコパス特性を多少は持っているはずですが、でも、これは病気なわけではありません。ほとんどの人はこのぐらいしか持っていません。でも、残念ながら、特性を強く持っている人に非常にだまされやすいという特徴があります。だから、女性にDVをはたらくような男性と絶対に付き合ってはけません。友達にそういう人が居たら、「早く別れよう」と言ってください。

サイコパスと違法薬物乱用・依存

サイコパスと薬物乱用と依存は非常に合併します。第2因子の反社会的な生活様式要因が違法薬物の使用率を高めていて、低行動抑制があるので、すぐに強烈に依存してしまいます。

ニュースだけを見ていると、最近、日本で薬物がまん延しているという報道もあるかもしれませんが、そんなことは全然ありません。薬物によりますが、

ほぼ誤差の範囲で、戦後ずっと低使用できています。日本の刑事司法政策で第1次予防を徹底的にやってきたので、国民の薬物依存がかなり抑えられています。薬物依存を抑えられるということは、全体の犯罪の数も抑えられます。

小学校、中学校、高校で、薬物は絶対ダメという教育を受けてきました。これは本当に成功しています。確かに、薬物の使用が高くなったり低くなったりするという多少の推移はあると思いますが、おそらく、大麻とマリファナが同じように違法薬物だと考えている日本人は圧倒的に多いです。でも、海外で大麻とマリファナを同じに考えている人はそんなに多くないと思います。「大麻だったらどこでも使っているんじゃないの」という感じです。私たちの意識は、そのぐらい、違法薬物はダメだと感じています。

衝動制御に関して、国民の差はもともとないはずなのに、政策の違いによってこれだけ出てくるというのは、社会の違いは本当におもしろいです。これは、犯罪学の中でも社会学が取り上げている問題です。

サイコパスと累犯

累犯はなぜいけないかということ、反省できないという特性と、反省してもまたやってしまう特性がここに出てくるからです。普通は刑務所に入れられるともう二度と同じことをしませんが、累犯は犯罪の種類は違うかもしれませんが、刑務所から出てまたやっぺます。これはおもしろいです。刑務所を出てから、高サイコパス特性の人は、1200日、3、4年以内に8割がた再犯しています。低サイコパス特性は2、3割が再犯しています。これは少年院や児童自立支援施設の研究でもやっていますが、出るときの衝動性を測定すると、極めて高い確率で再犯を予想できます。

もう少し長い目で出所後の10年間を見てみると、出所時の高サイコパス特性、低サイコパス特性で、再犯率、累犯はかなり違います。これは、ほぼ衝動性の抑制力を表しています。

サイコパスのなかで累犯が一番多いのは、性犯罪だと思える人がいるかもしれませんが、実は窃盗犯です。盗むことはなかなかやめられません。もちろん、性犯罪も特徴的で、サイコパスの人たちの特徴として、非常に逸脱した性行為、多人数と性行為をするという特性がたくさん研究で挙げられています。この人たちには、特殊な性欲がある、性衝動が抑えにくいなどの特性があります。高PCL（サイコパスチェックリスト）得点、つまり高サイコパス特性で、かつ性的逸脱行動に惹起されやすい人は、性犯罪で服役してから10年後の再犯率は75%に及びます。

社会で特に問題になっているのは、子どもや小さい女の子に対する性犯罪です。これについては、韓国でもアメリカでも、新聞やみんなが見られる区役

所の閲覧表で性犯罪をした人の個人名が見られるようにしています。個人情報との関連で非常に議論がありました。そうしている国が増えてきました。日本はしていません。なぜそこまでしないといけないかというのは、この人たちの特殊な性志向の衝動制御の弱さが明らかだと考えられているからです。ここまでが心理学的な研究です。

脳のどこが障害されているのか

では、脳のどこが障害されているのかというと、実は、これも答えが出ています。私も、MRI（磁気共鳴画像法）やNIRS（近赤外線分光法）をずっと使ってきました。脳のいろいろな画像研究は一致しないことのほうがはるかに多いですが、サイコパスに関しては非常に一致します。これは、前頭前野と前部帯状回の仮説が一番強い。また、傍辺縁系仮説も強い。脳の前頭前野と前部帯状回を中心としながら、その周りを取り囲んでいる脳部位がうまく働いていないということです。

神経心理学の教科書に必ず出てくるフィニアス・ゲージ（Phineas Gage）は、鉄道の作業員をしていてキャプテンでしたが、発破を仕掛ける作業をしていました。石に鉄のパイプをガンガンと打ち込んで、そこに爆薬を仕掛けて、ドカーンとやって鉄道を通していくという仕事をしていました。爆破できなかったので、「どうしたのかな」と思って近づいていったときに爆発して、鉄が脳を損傷しました。これは本当にまれなケースですが、こういうことがいくつかあります。奇跡的に命を取りとめました。左目は失明してしまっています。

非常にまじめな作業員でしたが、脳の前頭葉の目の上あたりを損傷して、性格かどうかはわからないと言われていますが、ここからは、衝動抑制の利かない、ギャンブル好きで女好きで、いつもふらふら歩くような人になってしまったという記録があります。

この例は脳の物理的な損傷でわかりやすいですが、今から話すのはだいぶ違います。私たちが発達障害や精神障害の人たちに、「何らかの障害、脳の障害があります」と言う場合、こういった物理的損傷は一切ありません。

これは恐ろしいことです。例えば、ここが道徳的な判断とか衝動を抑える脳の場所だとすると、ここが壊れたから衝動制御が利かなくなるというのは非常にわかりやすいです。しかし、見た目は何の損傷もないのに、生まれたときから衝動制御が利かない人がいます。毎年、いろいろな教育相談をたくさん受けて、いつも「いっぱいいるな」と実感します。

衝動制御だけではなく、「悪いことをしたな」というとき、例えば、人を殴ったときに、「殴ったらダメだよ」と言ったら、「俺はやってない」と言って、反

省の色を全然見せない子がいます。そういう子どもたちは、極端なサイコパス特性や極端な反社会性パーソナリティ特性というわけでは全然ありませんが、そうした特性の一端を持っていると思うことがよくあります。

前頭前野と前部帯状回の役割

前頭前野、前部帯状回を見てみます。左の脳を半分切って、左から脳を見るときは、前頭葉の下のあたりと前部帯状回が問題です。私が脳の研究を始めた頃は、帯状回の働きがよくわかっていなかったもので、全然大したことはないと言われていました。でも、MRI で意欲や、何かをしようとするときに非常に大事な部位だということがわかってきました。

前頭葉は、こちらが眼窩部（がんかぶ）と言います。目がここにあり、目の上のここは背側眼窩野です。脳の場合、外側を「背側」、内側を「腹側」という言い方をします。このあたりが、おそらく、道徳性や共感性、あるいは衝動性を抑えるのに非常に大事です。

もちろん、この前部帯状回と腹側前頭前野は密接に連絡し合っています。私たちが「今日は誰かほかから来ているから、ちゃんと聞かないといけない」とか、「遊びに行きたかったけど、聞きに行こうか」という衝動を制御するときは、ここがよく働いています。

それがわかってきたのは、こういう実験、本当に洗練されたスタイリッシュな研究があったからです。例えば、MRI に入った人は、けがではある一定程度いると思いますが。

この論文を書いたアメリカ人は、サイコパスの研究がしたいがために、刑務所に行き、そこで MRI を撮るためにどうしたらいいかを考えました。最初は、「刑務所に MRI を造りたい」と頼んだらしいです。すると、「そんなこと、できるわけがない」と言われて、「では、病院に来てくれ」と頼むと、「こんな危険なやつを病院に連れて行ってどうするんだ」と言われました。

すると、MRI を載せたバスを造って、そのバスを刑務所に持って行って 1 人ずつ呼んでこんな課題をさせました。この話を聞いたのは十数年前ですが、びっくりしました。MRI に入っているときに画像を見せるような最新型の MRI を造って、無理にボタンと物で手を挟んでいる画像を見せました。普通は「痛そう」と思います。

その画像を見たときに脳のどこが働くか。つまり、これは共感性です。「あいたたた、痛いだろ、それ」というときに、腹側前頭前野や、茶色の丸の部分、眼窩野が働いていました。

眼窩前頭皮質と扁桃体障害説

ほかに、道徳的規範性、つまり「こんなことしたらダメだろう」という画像を見せました。こちらがサイコパスの画像で、こちらが非サイコパスの画像で、非サイコパスからサイコパスのぶんを引いて、サイコパスのほうが働いていないのは右の扁桃体（へんとうたい）でした。サイコパスではない人のほうがより活発だったのはこのあたりでした。そういう引き算をしながら、サイコパスとサイコパスではない人を 20 名とか 30 名集めて同じ実験をして、どこに差が出るかで、「これは道徳性を判断する脳だな」、「これは思いやりを感じる時に使う脳だ」というふうに、局在性が明らかになってきました。

これは、マイケル・クレイグ（Michael Craig）が発表した論文です。感情を処理する扁桃体と前頭葉は密接につながっていて、扁桃体と前頭前野をつなぐ鉤状束（こうじょうそく）という太い線があります。ニューロンが別のニューロンに信号を送っていたとします。例えば、ここが扁桃体でここが前頭前野とすると、つなげているのが鉤状束です。サイコパスの人たちは、この太さに明らかに異常がありました。つまりニューロンの働きが弱いという異常があったり、ニューロンとニューロンをつなぐ線が貧弱だったりするケースもあることを明らかにしました。これが機能異常ということです。

物理的損傷も機能異常を起こしますが、サイコパスの人たちは、道徳性や共感性や罪悪を感じる脳が生まれつきうまく働いていないと考えられています。例えば、自閉症の人は目が合いません。生物学的に人間は、赤ちゃんのときはお母さんの目をピタッと見ますが、自閉症の子は見ません。重い自閉症の子は、5 歳になっても、6 歳になっても、人の目を見るのが非常に苦手です。脳は全然損傷していないけれども、人の目を見て感情を理解する部分が弱いと考えられています。それと同じです。

Rain らによる PET 研究

ポジトロン断層撮影法（Positron Emission Tomography, PET）ですが、脳を横切りにして、前頭葉と後頭葉が示されています。赤くなっている部位は、よく働いています。PET の場合、注射で糖分を打ちます。侵襲性が高いので、かなりむずかしいです。義理の父が、この前、「認知症かな」と言って病院へ連れて行って PET を受けましたが、「え？ 認知症の検査で注射打つのか？」と聞かれて、「それはそうだな」と思いました。

正常対象群の脳に比べて、殺人犯の脳は前頭葉が明らかに低下しています。衝動制御を司っている脳部位の活動が常に低下しています。

脳活動における差

これは、アントニオ・バスタマンテ (Antonio Bustamante) の脳です。彼はメキシコ生まれで、14歳でアメリカに移住して、麻薬に手を出し、その資金調達のために窃盗、強盗を繰り返し、刑務所を20年間行き来しました。1986年9月、ある老人(80歳)の家に不法に侵入し、トラベラーズチェックを盗もうとして殴り殺したあと、見つかりました。

バスタマンテは、身長188センチ、体重95キロで、この殺人を犯すまでに29回逮捕されていました。殴り殺す必要は全然ないのに、カーッときて、殴り殺してしまいました。

こちらが正常な人たちの脳で、こちらが殺人犯の脳です。側頭葉も違いますが、前頭葉が全く違って、衝動制御能力が利いていません。構造的MRIでも、機能的MRIでも、PETでも、サイコパスの研究は、ほかの疾患と比べてかなり安定して共通した結果が出ています。こちらが正常の人たちの脳、これが前頭葉で、これが後頭葉です。不思議ですが、殺人犯の後頭葉の賦活は正常対象群よりも高いという結果です。

アントニオ・バスタマンテは、それまではまじめな青年でしたが、20歳の頃、バールで殴られ、その後、また、自動車事故で頭部外傷を負っています。単なる機能低下あるいは機能障害というよりも、物理的な損傷を負っている人かもしれません。

ランディ・スティーブン・クラフト (Randy Steven Kraft) は、「羊たちの沈黙」の主人公と非常に似ています。映画の題材に一部取り入れられています。彼は1945年、アメリカのカリフォルニア州生まれです。父親は航空機製造会社に勤務していたため、比較的裕福な家庭で育ちました。クラフトには三人の姉が居て、関係は良好でしたが、成長するにつれ、性的に男性にしか興味が無いことに気付きました。

クラフトは優秀な成績で高校を卒業し、ロサンゼルス男子大学に進学し、夏休みに黒人の学生と初めて性交し、完全なゲイだとわかりました。大学を卒業したクラフトは空軍に入隊するけれども、仕事は基地の建物や軍用機にペンキを塗る単純労働で、軍への憧れが失望に変わってしまいました。

そんなさなかクラフトは、夜はゲイクラブで男性をナンパしていましたが、昔だったので、ゲイだということで軍を除隊させられてしまいました。職を転々としながらゲイの友人と同棲をしていましたが、衝動性が抑えきれなくなり、1970年、クラフトは13歳の少年を誘拐して、ドラッグで意識を失わせてレイプしました。

「こんなことをされました」と被害者が警察に行きましたが、警察はクラフトを見逃します。この事件が発覚しなかったので、「こうやったらいいんだ」と味を占めて、クラフトは次々と若い男性をナンパし

て、麻薬などを使ってレイプしていきました。

コンピューター会社に就職したクラフトは、1975年から1976年の間、殺人に拍車がかかり、殺した男の喉に枯れ葉を詰め込んだり、全身にタバコの火を押し付けたり、むちゃくちゃをするようになりました。1979年には10人、1980年には14人、ミシガン州、コネチカット州、オレゴン州など各地で男性をナンパしては、レイプして殺しました。

1983年5月14日、クラフトは運転していましたが、たまたま警邏(けいら)中の巡査に蛇行運転が見つかって、「ちょっと停車しなさい」と止められました。車内をのぞき込んだ巡査が驚愕(きょうがく)しました。同乗者の男性が泡を吹いて倒れていたからです。クラフトは男性を殺して、車で運ぶ最中でした。彼の殺人ノートには61人が記載されていましたが、裁判では16人の殺人で有罪でした。

「成功するサイコパス」の脳画像

サイコパスには、第2因子が強く、暴力的で衝動的に乱暴をしてしまう人もいるし、計画的で周到な準備ができる人もいます。後者は、「成功するサイコパス」とも言われます。

どの脳領域が大事かという、道徳的判断に関しては緑色の後部帯状回、暴力を抑える力は赤色の前部帯状回、最も大事なのは黄色の衝動性を抑える脳です。どれも重要ですが、一番重要なのは衝動制御をする脳です。衝動制御をする脳は大事ですが、サイコパスとは重なって、また、離れています。

なぜかという、私たちが見ているADHDのかわい子は非常に衝動性がある、あちらこちらに走り回ったり、少し音が鳴ったらピューッと走って行ったり、飛行機やヘリコプターを見に行ったりします。非常におっちょこちょいだけど、みんなに好かれます。衝動制御は全然利いていないけど、共感性や人とやりとりをする力がある人がいます。

しかし、サイコパスの人たちは、衝動性が利かずに、さらに共感性がない、罪悪感がない、道徳的観念がないということが合併しています。まさにいろんな要素が連続体になっています。

秩序破壊的・衝動制御・素行症群

子どもに興味がある人は聞いてほしいのですが、私が発達障害とともに専門としているのは、秩序破壊的・衝動制御・素行症群です。この障害群には、反抗挑発症(反抗挑戦性障害)、間欠爆発症(間欠性爆発性障害)、素行症(素行障害)、放火症、窃盗症の5つがあります。おもしろいのは、放火も窃盗も衝動制御が利かない群に入れられていることです。

反抗挑発症

反抗挑発症を解説しますが、皆さん、小学校のときに絶対に見たことがある子どもたちです。「怒りっぽく易怒的な気分」、「1. しばしばかんしゃくを起こす。「ちゃんと掃除しなさいよ」「うるさい」と、特に女性の先生に言います。「2. しばしば神経過敏、またはいらいらさせられやすい。「これ、ちゃんとこうやって折るんだよ」と言う、「もうこんなの嫌だ」と言います。「3. しばしば怒り、腹を立てる。「口論好き／挑発的行動」、「4. しばしば権威のある人物や、または子どもや青年の場合では大人と口論する。「そんなことしちゃダメだよ」「してない」「だって、さっき殴ったよ」「殴ってない」「いやいや、殴っていたよ」「だって、あいつだって殴ったじゃないか。あいつも怒れよ」みたいな感じで先生や母親など大人とすぐ口論します。

「5. しばしば権威のある人の要求、または規則に従うことに積極的に反抗または拒否する。「6. しばしば故意に人をいら立たせる。「掃除しなさい」、「宿題しなさい」、「間違いをはいけません」と言う」と積極的に拒否したり、しばしば故意に人をいら立たせたりします。こういう子どもは診断基準に入りたいです。女性に対して必ず「クソババァ」と言います。どこでそんなこと勉強するのかわかりませんが、幼稚園の子でもすぐ「デブ」とか「ハゲ」と言います。

「7. しばしば自分の失敗、または無作法を他人のせいにする。「執念深さ」、「8. 過去6カ月に少なくとも2回、意地悪で執念深かったことがある」。この8項目中4つ以上当てはまると反抗挑発症ですが、私は、年間このケースを相当受けています。単にこの特性があるだけの子もいますが、「うそをつきますか?」「うそをつきます」、「物を取りますか?」「物を取ります」、「手が出ますか? 足が出ますか?」「出ます」となると、これだけでは終わらない違う疾患名がついてきますし、そういう子はどれだけ上手に教育をしても、枠組みを作っても突破していきます。

昔、私はサイコパスに興味がありました。そして、今、さらに子どもたちの研究をしていてよく思うのは、実際に衝動制御が利かない子どもたちで、さらに罪悪感や共感性が欠けている子どもが虐待を受けたり、学校で失敗を重ねたりすると、将来、危険なことになる可能性が少し高まるかもしれないということです。

サイコパスを理解するために

一次感情とは、怒り、恐怖、嫌悪、喜びです。二次感情とは、社会的感情（共感性、羞恥心、困惑、罪悪感）です。最も高度な感情は、共感性と罪悪感です。共感性と罪悪感、コインの裏・表です。

共感性と罪悪感、及び協力行動

罪悪感 (guilt) とは、「罪を犯した。悪いことをした」という気持ちのことで、自分は悪くないのに、「ああ、悪いことを言っちゃったな」とか、「あんな言い方をしたからかな」と思うのが罪悪感です。自分の何らかの行いについて、内在する規範意識（正しいと認識されるルール）に反していると感じるところから罪悪感が生まれます。

先ほどのような子どもたちは秩序を破壊するほうなので、罪悪感あまり感じません。非常にマッチしています。そして、罪悪感がない、良心の呵責がないというのは、自分の中の守るべき秩序の獲得が非常に遅れたり、できなかつたりします。

共感性と罪悪感、及び協力行動について言うと、通常の社会的感情を持つ人は、苦しんでいる人を見ると、自分も苦しいです。自分のせいで人が苦しんでいるのを見ると、その苦しみはさらに大きくなります。それが罪悪感であり、共感性です。

大雨や大地震で苦しんでいる人がいると、ボランティアに行ってしまう人がいます。苦しんでいる人がいると自分も苦しいので、助けに行かなくてもいいのに、行ってしまいます（社会心理学では、協力行動、援助行動といいます）。あれは、相手を助けているようで自分を助けています。自分の苦しみを減らすために、相手を助けています。これが罪悪感であり、共感性です。

助けることによってその人の苦しみが軽減されるだけではなくて、自分の苦しみが緩和されます。進化論的には、このような社会的感情、高度な感情というのは、人間社会の社会的絆を深めるように、強めるように進化させてきた（社会的行動）と言われています。

サイコパスは治療可能か

サイコパスは治療可能かということ、重度なサイコパスの人たちはなかなか治りませんが、少年は、MJTC (Mendota Juvenile Treatment Center) トリートメント、つまり枠組みを作って、個別に丁寧な教育と学習指導、生活指導を提供して、1年ぐらい施設に入れると非常に良くなります。「エニーオフense (any offence)」というのは、どんな犯罪でも十分減っています(73%→52%)。特にバイオレント(暴力犯罪)は非常に減っています(44%→23%)。

衝動制御をできるようにしてあげると犯罪が減るので、「インテンシブ (intensive, 集中的) な治療は効く」と言っています。でも、かなりむずかしいです。ただし、私自身が矯正教育を一番中心のテーマとして研究してきて、日本の少年院は絶対に効くと思います。

ある意味、一番最初にガーンと減っていたのは、

日本の少年院の矯正教育の影響が大きいと思っています。なぜかという、日本は学校教育も家庭教育もすばらしいですが、ある意味、警察に捕まることはそんなにありません。警察に捕まるような重たい子を預かるのは、少年院や児童自立支援施設です。

皆さんは、少年院を見たことはないと思います。日本の少年院では「構造化」と言いますが、その枠組みはすごいです。特別なことは全然していません。朝から晩まで分単位でルーティンをこなすだけです。朝起きると、「シーツを畳め」と言われて、2ミリぐらいずれると、やり直しをさせられます。皆、最初はできないので、教官がモデルになって手取り足取り教えます。

そのあと、食堂へ行って御飯を食べますが、一切話してはいけません。年間ずっと私語禁止です。次に運動をします。運動場を全速力で10周ぐらい走って、次に行進の練習をして、疲れた頃に勉強を徹底的にやります。14歳、15歳で入ってきてても九九ができない子のほうが圧倒的多数で、漢字も書けないので、アカデミックな取り組みを徹底的にやります。

昼は大型機械など資格取得のための練習をして、御飯を食べて、夜、教官と面接をして、日記を書いて寝ます。それしかしません。これを1年間やるとなぜ良くなるかという、よく見てみると、少年院の教育は、朝起きてから夜寝るまでやることは全部同じで、全部同じようにしないと行けません。話したいときに話してはいけないし、食べたいときに食べてはいけないし、食べたくないときに食べないというのもダメです。

ということは、生活が全て衝動制御に目的を置いてあります。学校もそうです。「1時間の授業でちゃんと座っていなさい」とか「勝手に話してはいけない」と怒られている子を見てきたと思います。やりたくないことをやるというのは、衝動制御になります。

逆に言うと、ゲームばかりする子は、iPadを渡すと絶対にやってしまいます。「それをやめて、今は教科書を出しなさい」というのは結構大変なことです。衝動制御が利かない子は、まさにやりたと思ったことをずっとやっています。やりたくないという衝動を抑えて、やるということはとてもむずかしくて苦手です。

そう考えると、日本の学級経営とか、日本の学校は、「自由にこんなことして、選んでやったらいいよ」というふうにはなっていないで、衝動制御が利かない子どもにとって最初はずごく居心地が悪くて、暴れたりします。カチーンときて、「何でやねん」と言って怒っていますが、ある意味、少年院と同じで、1年、2年、3年たつと、やはりやれるようになってきます。

もし機会があれば、少年院ではどういうことをやっているか、またお話ししたいと思います。まさに衝動制御のスキルをつけるためにつくられた教育環境です。空間もそうですし、時間軸もそうです。

治療コストと便益

ここに書いてあるのは、高度な MUST (必ずしなければいけないこと)、日本で言えば少年院で行われているようなことです。衝動制御が利かないことによって犯罪者あるいは被害者が出てきて、犯罪者が出ると刑務所に入れないといけないという社会的コストがかかり、被害者が出ると、それだけで被害のコストがかかります。S&Pの利益率がこれだけだとして、少年のときに矯正教育に力を入れると、それをはるかに上回るぐらい社会的に利益が大きいことを示しています。

教育経済学ではいろんな研究がされていますが、やはり共通しています。ジェームズ・ヘックマン (James Heckman) の幼児教育の研究もそうです。幼児期に衝動制御のスキルをつけるようお金をかけると、そのコストが何倍にもなって返ってくるという研究がたくさんあります。

幼児期に言葉を教えるとか、何か特別なスキルをつけるよりも、衝動制御のスキルをつける、これを、「非認知スキル」と言います。認知スキルというのは、計算したり、読んだり、書いたり、特別な技術を持ったり、その認知スキルです。認知スキル以外を全部、「非認知スキル」と言います。非認知スキルのなかでも、研究者によっては、「やり抜く力が大事だ」とか、「みんなとコミュニケーションする力が大事だ」とか、「衝動制御をするスキルが大事」とか、いろいろありますが、「小さい頃は、認知スキルに時間をかけるよりも、非認知スキルに時間やお金をかけたほうが、将来の成功に近づく」という意見がたくさんあります。

まとめ

サイコパスというのは、科学技術、特に脳画像研究の進歩によることが大きいです。機能異常、つまり、脳に損傷はないけれども、働きが悪いという場所はかなり一貫していますが、これはまさに MRI や PET などの脳画像研究の進歩によることは間違いありません。

「見る技術が進歩すると科学が発展する」というのは間違いありません。天文学でもそうです。遠くを見ることができるようになると、天文学の理論が発展していきます。精神医学もなぜこんなに進歩したかという、脳を生きたまま、どんなふうに活動しているかを見る技術が進歩したからです。見る技術が伸びたというのももちろんあるし、それを解析する技術も飛躍的に進歩したというのもあります。

サイコパス全てが深刻ではありません。また、全てが犯罪者ではありません。これは、「連続体」と言います。覚えておいてください。鬱病 (うつびょう) も、統合失調症も、あるいは ADHD も、自閉症も全

部スペクトラムです。新型コロナウイルスは、かかったか、かかっていないかという二つしかありません。これは、「感染症数理モデル」と言います。精神医学では、「スペクトラムモデル」と言います。ここからは診断域に入るけど、ここは診断域に入らないというのを、「ボーダーライン」という言い方をします。

サイコパスはまさにこれで、サイコパスの中でも衝動制御が利かないとか、共感性がないとか、それぞれの連続体があります。一番重たいサイコパスは、衝動制御が利かない軸もこの辺だし、また別の軸で共感性がないというのも重度だし、あるいは道徳的観念、秩序がないというのもこの辺です。あらゆる軸で重たいのは、重たいサイコパスと考えるといいです。

なぜ感情爆発の障害と ADHD は合併するか

子どものことでいうと、皆さん、ADHD は聞いたことがあると思います。私は、この5つの障害を、「感情爆発の障害」とよく言います。学校の先生が一番苦しんでいるのが、このあたりです。でも、ここは気をつけてください。サイコパスとは全然違います。全然違うけれども、感情爆発の一群の障害で、これらは ADHD と極めて高率に合併します。

なぜかという、ADHD は行動の衝動制御の障害です。例えば典型的な ADHD は、「じゃあ、今から体育館に行きなさい」と言う、「先生、どこへ行くの?」と言います。「じゃあ、今から算数の 25 ページを開きなさい」と言う、「不注意タイプの子はいつもグターッとして、朝から寝ているか、眠たそうにしています。

椅子があると、いつも椅子をバタンバタンとしています。前かがみでドツタンバタンしていたり、こういうものがあると手遊びしたりしています。「ヤマダくん、聞いているの?」と言う、「聞いているよ」と言うので聞いています。聞いていないことも多いです。「じゃあ、順番に取りに来なさい」と言う、「順番が守れなくて、ダーッと来ます。ADHD の子の一番の特徴は、すぐに依存することです。こういう子に iPad とかゲームを渡すと、簡単に依存して、ずっとやっています。

「プラス、退屈な課題を続けることができません」。ADHD は行動の衝動制御の障害で、反抗挑発症や間欠爆発症は、感情の衝動制御の障害です。これとこれは、脳でいくと間違いなく近いですが、私は、別だと思っています。病態像として、行動だけがおっちょこちょいで、「ほんとにあなたはしょうがないな」と思うけど憎めないという人は、怒られてもかんしゃくを起しません。冗談を言ったり、大人になついたり、友達もたくさん居る子は、単に行動の衝動制御があります。子どもたちをたくさん見ていると、行動は全然落ち着いているのに、感情爆発だけ持っ

ている子もいます。勉強はよくできるし、落ち着きは全然大丈夫だけれども、ちょっとしたことで、「やかましい」と言って怒ったり、「掃除しなさいよ」とごく普通に言っているだけなのに、「また俺ばかり怒られる」と言ったりする子もいます。

一方で、行動の衝動制御ができていないし、感情爆発制御もできていない子は、学校の先生が一番苦労する子です。

反抗挑発症 (ADHD 合併ケース)

おそらく、学校の先生にこの話をすると、みんな、「うんうん」とうなずきますのがこういう子どもです。私も経験しましたが、反抗挑発症と ADHD の合併の典型例です。「家族歴は実父母との 5 人家族。病前性格は、気分の変化が激しくて、穏やかなときには人懐こく、優しい。生活歴は、始語は 1 歳半、2 語文は 2 歳半とやや遅れぎみ」。衝動制御が利かない子が ADHD と合併するのは分かりやすいですが、不思議と言語発達まで遅れることが多いです。

聞く理解が非常に悪い人が居ます。例えば、一斉授業をしているときに、全然理解していません。ぼけーとしてるので、「こうだよ」と個別に言うと、「ああ、そうなのかな」という感じです。一斉授業をすると、みんなが動き出してから 3 テンポぐらい遅れて、「どこへ行くの?」と聞くと、「いや、わからへん」という感じです。

聞く理解が遅れたり、話すのも非常にたどたどしかったりする子がいます。なぜか合併しやすく、読み書きの問題を持っている子が多いです。少年院に行くと、みんなが、「これ、何て書いてあるの?」というようにぐちゃぐちゃの字を書きます。漢字を書かせると、偏とつくりがあちこちに行っています。なぜこの子たちは衝動制御ができなくて、さらに ADHD という特性を持っていて、言語の面でも遅れがあるということが合併するのか、これも、私の研究テーマとしてはとてもおもしろいです。

「構音障害歴があり、保育園の頃から、言い出すと聞かない頑固な面があった。興味がないことはやろうとせず、集団行動が取れないためトラブルが続いていた」、これは ADHD の特性です。興味がないことはやりたくないという衝動性をコントロールすることができません。

「現病歴は、小学校に上がっても授業を座って聞くことができず、ときどき席を離れては先生に叱責された。集中時間が短く、一つのことを続けられるのは 10 分ほど。連絡ノートを書かない、宿題はやらない、忘れ物が多い、自分の部屋は散らかしっ放しで、約束や決まりは守れない子どもであった。A を父母は何度も叱りつけたが、反省を口にしても、すぐ同じことの繰り返しであった。学年が上がるにつれ、A は次第に大人に反抗的になっていった。特に三年

生になり、担任が変わってクラスが荒れると、Aは先頭に立って担任に反発した。家でも、『部屋を片付けなさい』と母親が注意すると、『うっせえ、くそばば』とののしるため、親子げんかが絶えなかった。明らかに自分に非があることでも謝らず、他人のせいにするため、父親はAを殴ってしつけた。

二学期になって小児科を受診し、『ADHD』プラス『反抗挑発症』と診断され、メチルフェニデートが投与され、落ち着き始めた。これは、コンサータという薬ですけど、落ち着き始めた。厳しめの男性の四年生の担任にはなつき、反抗的言動は一気に減少した」。

三年生のときは女性の先生で、こんな感じです。「今から漢字を10回書きましょう」と言うと、「10回も書くのは嫌だ」と言って怒ります。優しい先生だったから、「5回書こうね」と言うと、「5回も書きたくない」といろんな物を投げます。「3回」と言ったら、「3回も要らん要らん」と言って、周りもそんな感じになりました。

4年生になって、非常に厳しい先生が担任になりました。見ただけで厳しそうです。見に行きました。ヤマダくんという子にしましょうか。先生が、「今から体育館シューズとリコーダーを持って体育館に行きなさい」と言って指示したら、「先生、どこへ行くの?」と、ヤマダくんが出し抜けに質問をしました。すると、その先生がすかさず、「ヤマダ、黙っとけ」と非常に大きい声で叱りました。

そしたらどうしたかという、あれだけ先生に反抗していたヤマダくんが、ピツとなって、「はい、わかりました」と言ってうれしそうになりました。こういう子は、突破できるような穴があると、つまり、衝動性制御が利かない環境に置かれると、衝動制御が自分ではよりできなくなります。

この子はむしろ先生が大好きで、怒られても何をして、ペターッとこの先生にくっついていきます。なぜかという、自分で衝動制御ができないので、ほかの人が外側の力で抑えてくれるのが心地いいのです。このスキルがあるかないかで、小学校の先生の学級経営の上手・下手が違ってきます。私も、校長室で痛感することがあります。

世の中のある一定程度の子は、衝動制御に問題があります。これは仕方ありません。こういう子はそんなに多くないと思います。この子は反省ができていますが、まさに衝動制御も利かないし、反省もできないし、共感性もない子にとって、抜け道がいっぱいある環境は、スペクトラムで言うと、まさにこの子たちの特性を本当に悪化させることがあります。

重たい子は、特に持って生まれた資質が大きいです。私は、こういう子たちにとって学校は大事だと思っています。衝動制御が利かない子どもたちは、優しい先生だったり、枠組みが取れない先生だったり、枠組みがきっちり取れる先生だったり、そ

うのを経験しながら、5、6年生ぐらいになると不思議なぐらい見事に落ち着いてきます。

この話はサイコパスとは違いますが、衝動制御とは何かというのをあらためてサイコパス研究の延長線で捉えるときに非常に興味深いです。しかも、日本の矯正教育は、その枠組みを徹底的に強化したもので、もしかしたら重度の子でも治るかもしれないと思わせます。ADHDのような特性も非常に抑えるし、読み書きや聞く話す能力も非常に向上します。

それらを見ると、衝動制御の力と言語発達と、そして、いわゆるADHDの不注意、多動性、衝動性の問題は、脳のどこかでかなりリンクしていると感じます。以上です。ありがとうございました。

質疑応答

長谷：松浦先生、ありがとうございました。今の講演を聞いて、質問のある人はぜひ聞いてください。いかがでしょうか。

学生1：貴重な講演をありがとうございました。家族や友人に衝動性を抑えるのがむずかしい人がいた場合、どう接すればいいのか、お互いにわだかまりをつくらずに付き合っていくコツがあれば、ぜひ教えてください。

松浦：衝動制御の問題が軽い人は治ると思いますが、重度の人はちょっと無理です。衝動性には、行動的衝動性、認知的衝動性、感情的衝動性の3つがあります。行動的衝動性は、あちこちに行ってしまう人で、認知的衝動性は、軽率で、すぐ早とちりをして、深く考えない人です。研究的には、この3つの衝動性が言われています。

どれか一つだけだったら治るのではないかと思いますが、3つとも衝動制御が利いていない人はなかなか治りません。ただ、衝動制御に関しては、実は、いくつかの薬はラインナップがそろっています。薬を飲んだだけでは全然治らないと思いますが、できれば薬物治療もやってみて、あとは枠組みです。セルフコントロールの力が弱い人は、外側のコントロールの力をつけます。それを、「社会的コントロール」とか「ソーシャルコントロール」と言います。

学校であれば、友達や先生の力です。社会であれば、家族や地域の人たち、あるいは病院や施設の人たちになるでしょう。答えになっていますか。

学生1：ありがとうございました。

長谷：ほかにいかがでしょうか。5時まで時間がありますので、ぜひ。

学生2：ご講演をありがとうございました。最後のほうで、感情爆発の障害とADHDの関連という話を聞きました。感情爆発の障害は、教育現場であればLD(学習障害)に関しての問題等も出てきました。その辺りの関連であったり、先生の考え

を聞かせてください。よろしくお願ひします。

松浦：非常に良い質問です。学習障害というのはちょっと広すぎます。典型的な学習障害は、読み書き障害のことです。例えば、「こんにちは」をこんな字を書く子がいます。これは聞くではなくて、読み書きの障害です。非行に関する研究はたくさんあります。反社会的行動と不注意と多動衝動性と、読み書きの障害は確定しやすく、全然違うように見えますが、同じ遺伝子が関与していると言われていています。

少年院や児童自立支援施設へ行くと、こんな字を書く子がたくさん居ます。本当に不注意で、多動性、衝動性もあり、反社会的です。先ほどあった対応です。すぐ反抗したり、口論したりします。そういう子が一番むずかしいです。

もう一つ、学校でということで行くと、ADHDの研究では、「注意力と衝動制御は、コインの裏・表」と言われています。注意力が小さい子、つまり集中できない子は、衝動制御の力も弱いのです。スキルとして、長く注意をしたり、適切に注意ができるようになってくる、発達的になってくると、裏側の衝動制御の力もついてきます。

3歳の子は、絵本を読むのを30分聞いているのは無理ですが、6歳の子はできます。3歳の子は、近くにお菓子があればすぐ手に取りますが、6歳の子はそんなことはしません。治療的には注意力をどう大きくするかです。それが、衝動制御の力もつけることになります。あるいは、その子の注意力を見ると、衝動制御の力もだいたいわかります。

長谷：ありがとうございます。

長谷川：貴重なお話を聞かせていただき、たいへん興味深く聞かせていただきました。神経心理学をやっているのでちょっと興味があります。衝動性とか、前部帯状回、眼窩前頭前野の話がありましたが、矯正教育後に機能改善をした研究報告があれば教えてほしいのと、先生が考えるサイコパスの定義を教えてください。

松浦：これも非常に良い質問です。実は、私は、児童自立支援施設に入所したときにMRIを撮って、

1年半後に退所するときにもMRIを撮るという研究を今も継続しています。今出ているのは、ファンクショナルはやっていませんが、体積的には海馬と扁桃体です。扁桃体は両側で変わってきます。右側が大きくなって、左側が小さくなります。海馬は両側で体積が少し増えているという状態です。今のところ、前頭前野は変わりません。そういう研究をやっています。脳が回復する研究は、特に非行少年ではなかなかありません。私も見たことがありません。

長谷川：そのときに、実際の行動や反応も変わりますか。

松浦：変わります。実は、入ったときと出たときにWISC知能検査を行っていますが、驚くべきことに、児童自立支援施設に1年とか1年半居ると、平均でIQが20も上がって、別人に見えます。平均で20なので、30上がる子もいます。私がやっている施設だけかなと思って、ほかの施設にも頼んでやってみたら、15から20は確実に上がっています。

少年院も児童自立支援施設もそうです。この業績はすごいです。でも、矯正教育で上がったというわけではないと思います。この子たちは学習も全然していないし、徹底的な虐待を受けているので、矯正教育によって本来の力が発揮されたという意味合いのほうが強いです。IQはさすがに20も伸びたりしないと思います。

サイコパスの定義も研究し尽くされているので、動かしようがないと思いますが、私が違和感があるのは、「冗舌で表面的な魅力」というのをあえて入れるかどうかです。医学で言う反社会性パーソナリティー障害は入れていません。私は、そちらのほうがいいと思います。これはあくまで付加的なもので、ある人も居れば、ない人も居ると思います。ありがとうございます。

長谷：定刻になりました。松浦先生、ありがとうございました。

松浦：どうもありがとうございました。

現在のサイコパス研究の到達点 —感情理解の特性と脳画像研究—

三重大学 教育学部 特別支援教育講座 Ph.D.
三重大学教育学部 附属小学校 校長
学校教育学(博士)、医学(博士)
福井大学 子どものこころの発達研究センター 客員教授

パーソナリティ障害とは(DSM-5より)

- DSM-5では、10種類の人格障害を3つのカテゴリに分け規定している。
- **A群パーソナリティ障害** 風変わりで自閉的で妄想を持ちやすく奇異で閉じこもりがちな性質を持つ。
 - 猜疑性/妄想性パーソナリティ障害 *Paranoid personality disorder*
 - シゾイドパーソナリティ障害 *Schizoid personality disorder*
 - 統合失調型 *Schizotypal personality disorder*
- **クラスターB** 感情の混乱が激しく演技的で情緒的なのが特徴的。ストレスに対して脆弱で、他人を巻き込む事が多い。
 - 反社会性パーソナリティ障害 *Antisocial personality disorder*
 - 境界性パーソナリティ障害 *Borderline personality disorder*
 - 演技性パーソナリティ障害 *Histrionic personality disorder*
 - 自己愛性パーソナリティ障害 *Narcissistic personality disorder*
- **クラスターC** 不安や恐怖心が強い性質を持つ。周りの評価が気になりそれがストレスとなる性向がある。
 - 回避性パーソナリティ障害 *Avoidant personality disorder*
 - 依存性パーソナリティ障害 *Dependent personality disorder*
 - 強迫性パーソナリティ障害 *Obsessive-compulsive personality disorder*

反社会性人格障害の診断基準

1. 他人の権利を無視し侵害する広範な様式で、15歳以来起り、以下のうち3つ(またはそれ以上)によって示される。
 - 法にかなう行動という点で社会的規範に適合しないこと。これは逮捕の原因になる行為をくり返し行なうことで示される。
 - 人をだます傾向。これは自分の利益や快樂のために嘘をつくこと、偽名を使うこと、または人をだますことをくり返すことによって示される。
 - 衝動性、または将来の計画をたてられないこと。
 - 易怒性および攻撃性、これは身体的なけんかまたは暴行をくり返すことによって示される。
 - 自分または他人の安全を考えない向こう見ず。
 - 一貫して無責任であること。これは仕事を安定して続けられない、または経済的な義務を果たさない、ということをくり返すことによって示される。
 - 良心の呵責の欠如。これは他人を傷つけたり、いじめたり、または他人の物を盗んだりしたことに無関心であったり、それを正当化したりすることによって示される。
2. 患者は少なくとも18歳以上である。
3. 15歳以前発症の行為障害の論拠がある。
4. 反社会的な行為が起るのには、精神分裂病や躁病エピソードの経過中のみではない

3

反社会性パーソナリティ障害

- 有病率 0.2-3.3%
- 反社会性パーソナリティ障害の有病率が高くなるのは、
アルコール使用障害
物質乱用(違法薬物、危険ドラッグ)
社会経済的要因(貧困、地域の荒れ)
社会分化的要因(移民、宗教上の葛藤など)

サイコパス・チェックリスト改訂版 (Psychopathy Checklist-Revised, PCL-R)	
<p>ファクター1 (F1): 情動的要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鏡舌で表面的な魅力 (Glibness/superficial charm) 2. 自己の価値に関する誇大な感覚 (Grandiose sense of self-worth) 3. 病的なほどの嘘つき (Pathological lying) 4. 狡猾で人を操ることに長けている (Cunning/manipulative) 5. 後悔や罪の意識がない (Lack of remorse or guilt) 6. 情感に深みがない (Emotionally shallow) 7. 共感能力が欠如しており冷淡 (Callous/lack of empathy) 8. 自分の行動の責任を受け止めることが出来ない (Failure to accept responsibility for own actions) <p>ファクター 2 (F2): 反社会的な生活様式要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 退屈しやすく刺激を欲する (Need for stimulation/proneness to boredom) 2. 寄生虫のようなライフスタイル (Parasitic lifestyle) 3. 貧弱な行動抑制 (Poor behavioral control) 4. 無分別な性的行動 (Promiscuous sexual behavior) 5. 現実的な長期目標がない (Lack of realistic, long-term goals) 6. 衝動的 (Impulsiveness) 7. 無責任 (Irresponsibility) 8. 少年非行 (Juvenile delinquency) 9. 幼いころの問題行動 (Early behavioral problems) 10. 執行猶予の撤回 (Revocation of conditional release) <p>いずれのファクターにも相関関係がない特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多くの短期間の婚姻関係 (Many short-term marital relationships) 2. 犯罪の多様さ (Criminal versatility) <p>・評定は20項目に対して、「いいえ」(0点)「おそらく」(1点)「はい」(2点)の3件法で行う。 ・成人で30点を超えるとサイコパスとされ、20点未満であるとサイコパスではないとみなされる。 ・評価には高度な専門的知識や技術が必要のため、安易な使用は戒められている。 ・PCL-Rは3因子構造であるという研究もある。 Hare, Robert D.; Neumann, Craig S. (2008). "Psychopathy as a Clinical and Empirical Construct". <i>Annual Review of Clinical Psychology</i> 4. 217-46. doi:10.1146/annurev.clinpsy.3.022806.091452. PMID 18370617.</p>	

サイコパスの疫学：発生率

- 1/100人(1%)・・・アメリカ合衆国
- 2/100人(2%)・・・イギリス(イングランド&ウェールズ)
- 大多数は男性
- 刑務所で服役している約20%がサイコパスではないか

サイコパスと違法薬物乱用、依存

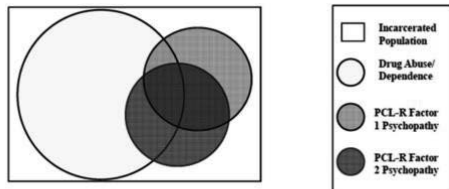


Figure 2. Drug Abuse-Dependence and Psychopathy Among Incarcerated Populations⁶⁶

- 薬物乱用および薬物依存と服役、及びサイコパスの親和性は極めて高い
- 第2因子の反社会的な生活様式要因が違法薬物の使用率を高めている、低行動抑制がそれらの依存度を高めている、可能性がある。

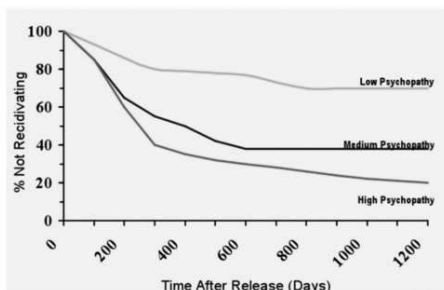


Figure 3. Recidivism Among Psychopaths¹¹³

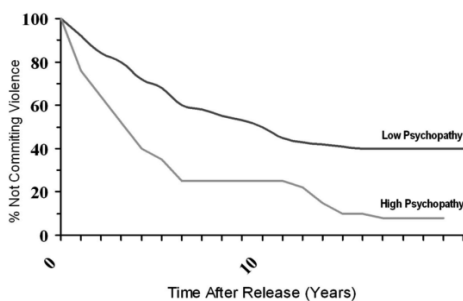


Figure 4. Violent Recidivism Among Psychopaths¹¹⁵

サイコパスと累犯

- 高サイコパス特性の再犯率は、出所3年後に約80%、低サイコパス特性の再犯率は約20%。
- 長期追跡研究(20年)によると、暴力犯罪のみ焦点化して
- 高サイコパス特性者は約90%、低サイコパス特性者は約60%暴力犯罪に関与した。
- 高サイコパス特性者は出所後ほぼ5年以内に再犯に及ぶ。

性犯罪とサイコパス

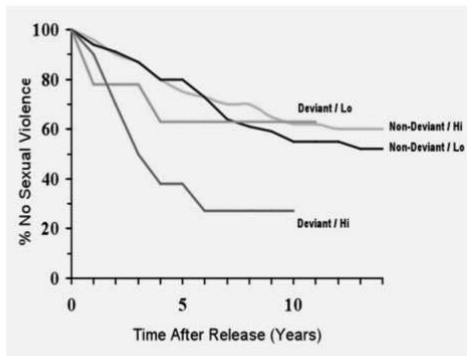


Figure 5.
Violent Sexual Recidivism Among Psychopaths¹¹⁶

- サイコパス特性は性犯罪の重大な予知因子と考えられる。
- 高PCL得点かつ性的逸脱行動に惹起されやすい人は、10年後の性犯罪再犯率は75%に及ぶ。

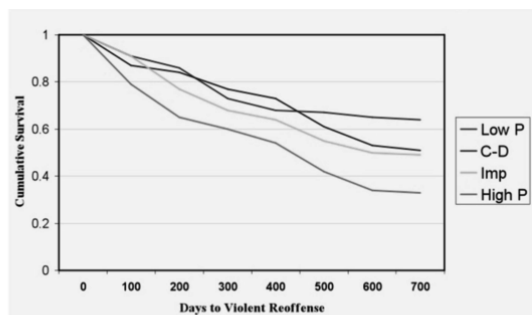


Figure 6.
Violent Recidivism Juvenile Offenders¹¹⁸

- サイコパス特性は累犯の強力な予知因子である。
- 非情動的特性(C-D特性; callous-unemotional)や衝動性を示す若者は、暴力犯罪を繰り返しやすい。
- 両方の特性を有する若者は、2年以内に60%が再犯に至る。

脳のどこが障害されているのか

- 前頭前野＋前部帯状回 障害説
- 眼窩前頭皮質＋扁桃体 障害説
- 傍辺縁系 障害説

前頭前野＋前部帯状回

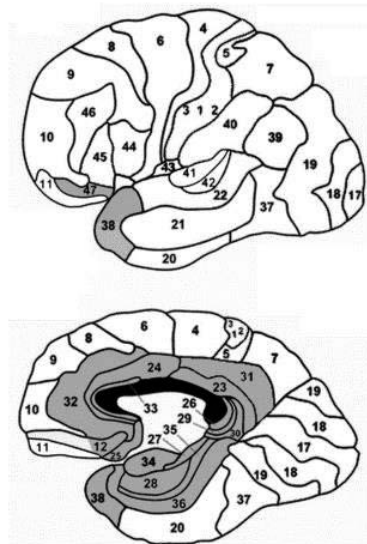
- 前頭前野(Prefrontal Cortex : PFC)は実行機能に関わる
- 前部帯状回(Anterior Cingulate Cortex : ACC) は行動抑制に関わる
- サイコパスらの衝動性や無計画性等の行動特性
→PFC & ACCの何らかの機能障害
- 腹側帯状回の機能障害を示す脳画像研究も

傍辺縁系 障害説

- いくつかの仮説をより包括的に統合し説明している。
- 大脳辺縁系とは、情動・意欲・記憶・自律神経系を制御する、複数の構造物(神経核の集合体)である。
- 傍辺縁系は、帯状回、扁桃体、海馬、乳頭体、被核等を含む。
- 傍辺縁系とは、側頭極(38野)や下前頭前野(47野)など含む広大な脳領域である。

Kiehl and Hoffman

Page 41



ブロードマン領野

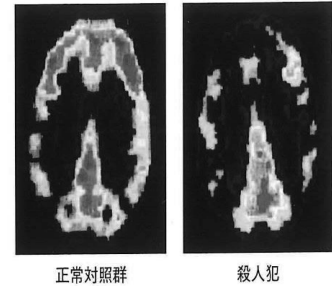
38 側頭極
47 下前頭前野

12 眼窩前頭前野
23 腹側後帯状皮質
24 腹側前帯状皮質
25 膝下野
26 海馬回
27 梨状葉皮質
28 後嗅内皮質
29 脳梁膨大後部帯状皮質
30 帯状皮質の一部
31 背側後帯状皮質
32 背側前帯状皮質
33 前帯状皮質の一部
34 前嗅内皮質(海馬傍回上)
35 嗅周囲皮質(海馬傍回上)
36 海馬傍回皮質
38 側頭極

Figure 7.
The Paralimbic System¹³⁵

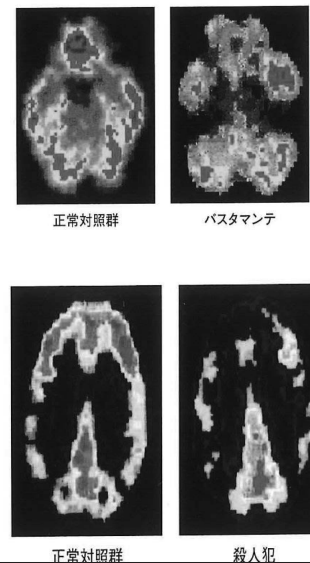
Rain et al. によるPET研究

- ポジトロン断層法 (PET)
- 41名の殺人犯、性別と年齢をマッチングさせた41名 (コントロール群)
- 持続処理課題を実施
- PC画面に[o]が一瞬表示されたら、反応ボタンを押す
- 注意持続 (注意集中) を評価する課題で、主に前頭前野の機能を測定する
- 脳が賦活すれば、脳代謝が活発になり、赤色や黄色に変わる



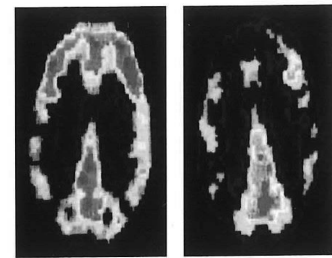
アントニオ・バスタマンテ

- メキシコ生まれで14歳でアメリカ移住
- 麻薬に手を出しその資金調達のために窃盗、強盗を繰り返し、20年間刑務所を行き来する。
- 1986年9月 ある老人 (80歳) の家に不法侵入
- トラベラーズチェックを盗もうとして殴り殺す
- ちなみにバスタマンテは188センチ、95kg
- 彼はこの殺人までに29回逮捕されていた



成績に差がないのに脳活動に差がある

- 殺人犯と、コントロール群の実験結果(注意持続力)に差がない
- 前頭葉の賦活の差は歴然。
- 殺人者群の後頭葉(視覚野)の賦活は、コントロール群より高かった。
- 後頭葉の賦活で前頭葉機能を代償していたのか？



正常対照群

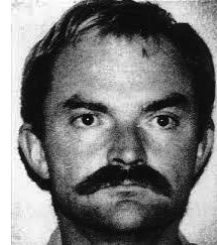
殺人犯

アントニオ・バスタマンテの過去

- 20歳の頃バールで殴られる。
- それまでは真面目な青年であった。
- しばらく後、自動車事故で再度頭部外傷を負っている
- 眼窩皮質の賦活低下は、事故との関連も示唆される。

ランディ・クラフト

- ランディ・スティーヴン・クラフトは、1945年、アメリカ・カリフォルニアで生まれた。
- 父親は航空機製造会社に勤務していた為、比較的裕福な家庭で育った。
- クラフトには姉が3人おり、その関係は良好であった。
- それが原因なのかはわからないが、クラフトは成長するにつれ、自分が男にしか興味を抱かないことに気づいた。
- クラフトは優秀な成績で高校を卒業、その後、ロサンゼルス男子大学に進学する。
- そして、大学の夏休みに、黒人の学生と初めて性交し、完全なゲイになる。
- 大学を卒業したクラフトは、空軍に入隊するが、仕事は基地の建物や軍用機にペンキを塗る単純労働で、軍への憧れが失望に変わってしまう。
- そんな最中も、クラフトは夜はゲイ・クラブで男をナンパしていた。
- それがバレたクラフトは、軍を除隊させられる。
- 以来、職を転々としながらゲイの友人と同棲する。
- しかし1970年、クラフトは13歳の少年を誘拐してくると、ドラッグで意識を失わせ、レイプした。
- この事件が発覚しなかったことに味をしめ、クラフトは次々と若い男をナンパして、麻薬を使ってレイプする。



ランディ・クラフト

- コンピュータ会社に就職したクラフトだが、1975～76年の間に殺人に拍車が掛かる。
- 殺した男の喉に枯れ葉を詰め込んだり、全身にタバコの火を押し付けたり…
- 1977～78年には、殺人方法に銃を使用するようになり、1979年には1年で10人、1980年には14人がクラフトに殺害された。
- クラフトはミシガン州、コネチカット州、オレゴン州など、各地で男を物色。
- 被害者がクラフトによりどんどん増えていく。
- 1983年5月14日、クラフトは運転していたのだが、蛇行運転がたまたま警ら中の巡査の目に止まり、停車を求められた。
- 車内を覗き込んだ巡査は驚愕し、クラフトを緊急逮捕する。
- 同乗者の男が泡を吹いて倒れていたからである。
- ちょうどクラフトは男性を殺して車で運ぶ最中だったのだ。
- 彼の殺人ノートには61人が記載されていたが、裁判では16人の殺人で有罪。

サイコパスは治療可能か

- 深刻な成人のサイコパスはほとんど治療不可能ではないか
- 少年は？

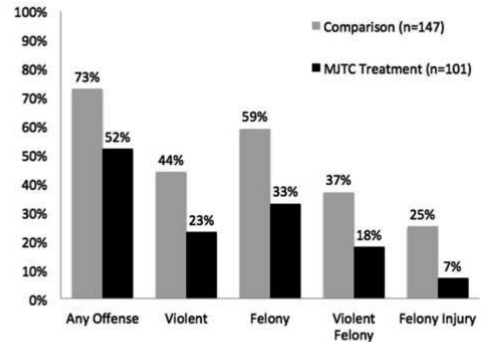


Figure 11.
Two Year Follow-Up of Youth Treatment Study¹⁷⁰

治療コストと便益

- どの国も逼迫した財政状況にある
- 治療はどの程度社会に還元されるか？

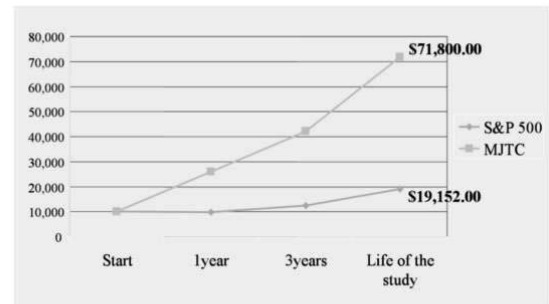


Figure 12.
Projected Return on \$10,000 Investment in Treatment¹⁷⁴

Cost Effects of Treatment¹⁷³

	Institutional	Crime	Prison	Totals
Comparison	\$154,917.79	\$14,103.24	\$47,366.97	\$216,388.00
Treatment	\$161,932.23	\$5,927.07	\$5,152.90	\$173,012.20
Savings	(\$7,014.44)	\$8,176.17	\$42,214.07	\$43,375.80

まとめ

- サイコパス理解は、科学技術、特に脳画像技術の進歩によるところが大きい。
- 神経学的エビデンスが豊富に蓄積されている。
- しかしながら特定までにはほとんど至っていない
- 連続殺人犯≠サイコパス
- サイコパス全てが深刻ではない。また全てが犯罪者ではない。
- 日本のサイコパスは？
- 社会はサイコパスをどのように扱っていくのか

サイコパスを理解するために

- 1次感情とは、怒り、恐怖、嫌悪、喜び。
- 2次感情とは、社会的感情(共感・羞恥心・困惑・罪悪感)
- 1次感情の源泉は大脳辺縁系
- 2次感情の調整は大脳新皮質

共感性とは

- **共感**(きょうかん、英語: empathy)は、他者と喜怒哀楽の感情を共有することを指す。もしくはその感情のこと。例えば友人が辛い表情をしている時、相手が「辛い思いをしているのだ」ということが分かるだけでなく、自分も辛い感情を持つのがこれである。通常は、人間に本能的に備わっているものである。

罪悪感とは

- **罪悪感**(ざいあくかん) (guilt)とは、罪をおかした、悪いことをした、と思う気持ちのことである。
- 自身の行動・指向・在り様などに関して、罪がある、あるいは悪いことをした、している、と感じる気持ち・感情のことである。
- 自身の何らかの行いについて、内在する規範意識(正しいと認識されるルール)に反していると感じる所から罪悪感は生まれる。
- 罪悪感のない(つまり良心の呵責がない)とは？
- 罪悪感が強すぎるとは？

共感性と罪悪感 および協力行動

- 通常の社会的感情を持つ人は
- 苦しんでいる人を見ると、自分も苦しい
- 自分のせいで人が苦しんでいるのを見ると、その苦しみはさらに大きい
- よって、苦しんでいる人を見ると助けたいくなる
(社会心理学では、協力行動・援助行動)
- 助けることにより、その人の苦しみが軽減されるだけでなく、自分の苦しみも緩和される。
- 進化論的には、このような社会的感情は、人間社会の社会的絆を進化させてきた(社会的行動)。

共感性と罪悪感

- つまり、共感性と罪悪感は極めて近い感情である。
- これらは、人間の向社会的行動の基盤となっている
- サイコパスはこれらの社会的感情が欠落しているか、もしくは十分なレベルに達していない。
- そこには、進化論的にみて、神経学的な障害があるのではないかと推測されてきた。
- 現在では、その神経学的メカニズムも解明されてきている

サイコパスこそ発達障害ではないか？

15. 秩序破壊的・衝動制御・素行症群

- 反抗挑発症(反抗挑戦性障害)
- 間欠爆発症(間欠性爆発性障害)
- 素行症(素行障害)
- 放火症
- 窃盗症

なぜ感情爆発の障害とADHDは合併するか

- ADHDは行動の衝動制御の障害
- 反抗挑発症や間欠爆発症は、感情の衝動制御の障害

反抗挑発症

A. 少なくとも6か月持続する拒絶的、反抗的、挑戦的な行動様式で、以下のうち4つ(またはそれ以上)が存在する。

怒りっぽく易怒的な気分

- 1.しばしばかんしゃくを起こす。
- 2.しばしば神経過敏またはいらいらさせられやすい。
- 3.しばしば怒り、腹を立てる。

口論好き/挑発的行動

- 4.しばしば権威のある人物や、または子どもや青年の場合では大人と口論する。
- 5.しばしば権威のある人の要求、または規則に従うことに積極的に反抗または拒否する。
- 6.しばしば故意に人をいらだたせる
- 7.しばしば自分の失敗、または無作法を他人のせいにする。

執念深さ

- 8.過去6ヶ月に少なくとも2回、意地悪で執念深かったことがある。

反抗挑発症

注) 正常範囲の行動を症状と見なされる行動と区別するためには、これらの行動の持続性と頻度が用いられるべきである。5歳未満の子どもについては、他に特に記載がない場合には、ほとんど毎日、少なくとも6ヶ月にわたって起こっている必要がある(基準A8)。5歳以上の子どもでは、他に特に記載がない場合、その行動は1週間に1回、少なくとも6ヶ月にわたって起こっている必要がある(A8)。このような頻度の基準は、症状を定義する最小限の頻度を示す指針となるが、一方、その他の要因、例えばその人の発達水準、性別、文化の基準に照らして、行動がその頻度と強度で範囲を超えているかどうかについても考慮すべきである。

反抗挑発症

- B) その行動上の障害は、その人の身近な環境(例: 家族、同世代集団、仕事仲間)で本人や他者の苦痛と関連しているか、または社会的、学業的、職業的、または他の重要な領域における機能に否定的な影響を与えている。
- C) その行動上の障害は、精神病性障害、物質関連障害、抑うつ障害、または双極性障害の経過中にのみ起こるものではない。同様に重篤気分調節症の基準は満たさない。
- 重症度を特定せよ
 - 軽度(症状は一つに限局)
 - 中等度(いくつかの症状が少なくとも2つ以上の場面)
 - 重度(いくつかの症状が3つ以上の状況)

反抗挑発症

- 一般的な反抗と反抗挑発症の違いは、持続性と頻度
- 9～10歳未満の子どもに見られることの多い障害
- 「怒りっぽく／易怒的な気分」(かんしゃくを起こしたり、イライラしやすい)
- 「口論好き／挑発的な行動」(権威ある人や大人と口論したり、規則を破る)、
- 「執念深さ」の3カテゴリーに分けられる。
- 重症度は、症状が呈する状況の数に依る
- 有病率は1～11%の範囲で、平均すると3.3%
- 青年期前では男児の方が女児より多い(1.4:1)

反抗挑発症 症状の発展と経過

- 初発症状は就学前が通例、青年期早期以降はまれ
- 素行症の発症に先立ち、反抗挑発症の存在が通例
- 反抗挑発症は、素行症がない場合、不安症群とうつ病の発症の危険に寄与する
- 挑発的、口論好き/挑発的行動などの気分症状 → 素行症
- 怒りっぽい/易怒的な気分 → 気分障害(感情調節)
- 反抗挑発症は予後不良(特に反社会的行動、衝動制御の問題)
- 頻度と強度の評価は特に重要

反抗挑発症 (ADHD合併ケース)

- 家族歴:実父母との5人家族
- 病前性格:気分の変化が激しい。穏やかなときには人なつこく、優しい
- 生活歴:始語1歳半、2語文は2歳半とやや遅れ気味、構音障害歴あり、保育園の頃から言い出すと聞かない頑固な面があった。興味がないことはやろうとせず、集団行動がとれないため、トラブルが続いていた。
- 現病歴:小学校に上がっても授業を座って聞くことができず、度々席を離れては先生に叱責された。集中時間は短く、一つのことを続けられるのは10分ほど。連絡ノートを書かない、宿題はやらない、忘れ物が多い、自分の部屋は散らかしっぱなしで約束や決まりは守れない子どもであった。Aを父母は何度も叱りつけたが、反省を口にしてもすぐに同じことの繰り返しであった。
- 学年が上げるにつれて、Aは次第に大人に対して反抗的になっていった。特に3年生になり、担任が替わってクラスが荒れると、Aは先頭に立って担任に反発した。家でも「部屋を片付けなさい」と母親が注意すると、「うっせえクソババア」と罵るため、親子げんかが絶えなかった。明らかに自分に非があることでも謝らず、他人のせいにするため、父親はAを殴って黙けた。
- 2学期になって小児科医を受診し、ADHD+反抗挑発症と診断され、メチルフェニデートが投与され、落ち着きはじめた。厳しめの男性の4年生の担任とはなつき、反抗的言動は一気に減少した。

反抗挑発症 鑑別診断

- 注意欠如多動症…しばしば合併する
- 素行症…合併診断可能。しかし、反抗挑発症では情動調節不全を含むが、素行症は含んでいない
- 重篤気分調節症… 反抗挑発症よりも重度。よって合併診断はできない
- 間欠性爆発症…高い頻度の怒りと関連あり。間欠性爆発症は他者に重篤な攻撃性を示すが、反抗挑発症はそうではない。よって合併診断可能。
- 知的発達症…特に限定的
- 社交不安症…合併することはない。きちんと鑑別すべき(社交不安で攻撃的になることはある)

実は日本の矯正教育はすごい！

- 是非機会があればお話しします

時間意識はどこからくるのか

明石市立天文科学館・館長 井上 毅

はじめに

長谷和久：皆さま、ご参加いただきありがとうございます。心理学部の長谷和久と申します。本日は、今年度第2回心理学部学術講演会として、講師の井上毅（いのうえたけし）先生にお越しいただきました。井上先生は、明石市立天文科学館の館長を務めておられます。

昨日は、ちょうど皆既月食がありました。さらに天王星食が重なるという数百年に一度という大きなイベントがありました。井上先生も明石市立天文科学館からYouTubeでライブ配信をされていて、その食のシーンを私も継続して見て、逐一プリントスクリーンボタンで撮影をしていました。手元に資料がありますが、楽しく拝見しています。

井上先生は、清水寛之先生のご紹介で本日お越しいただくことに決まりました。これから清水先生に井上先生についてご紹介いただきます。どうぞよろしくお願ひします。

清水寛之：清水でございます。今日は他学部からもこの講演会にたくさんお越しいただいていると、お聞きしています。井上毅先生のプロフィールのご紹介は、実は失礼があつてはいけないと思ひ、Wikipediaを見ました。NHKの「チョコちゃんに叱られる！」というテレビ番組に今まで2回ご出演になっている先生でございます。さらに、Wikipediaには私の知らない大きなことが一つ載っていました。それは1997年10月25日に発見された小惑星番号10616の小惑星が「Inouetakeshi」と命名されていることです。すばらしいです。

私たちが初めて知り合ったのが、今から、十数年前です。日本全国の博物館や科学館に北海道大学総合博物館の湯浅万紀子（ゆあさまきこ）先生を中心とした研究チームが全国の博物館や科学館に質問紙調査を実施しまして、そのときに井上先生からご回答がありました。とりわけ、非常に内容の深いお答えであつたので、これは「ぜひインタビューに行こう」と湯浅先生と盛り上がったのがきっかけです。その後、明石市立天文科学館で

の来館者調査を進めさせていただいたことがございます。非常に親しくしていただけていて、何度も天文科学館のほうに寄せていただきました。

私はこの大学に入学してこられた学生さんに4年間のうちに少なくとも1回は必ず明石市立天文科学館に行つてほしいと思ひています。ご存じのように、1995年に発生した阪神・淡路大震災のときに、明石市立天文科学館の大時計が止まりました。それを本学が譲り受け、修理して現在は4号館の隣に設置されているという経緯がございます。

なお、井上毅先生は毎週水曜の5限目は、人文学部非常に非常勤講師として来られていて、この講演会の後も授業に行かれます。お忙しいなか、時間をとっていただけています。少し長くなりまして申しわけございません。

自己紹介に代えて：皆既月食のライブ配信

井上 毅：ご紹介いただきました井上と申します。小惑星に命名されたと言っても、宇宙に墓石があるようなものです。そのように星のことを専門にやってきました。そうしてさまざまな興味深いことに行きあたり、調べているうちに、いろいろなところにたどりついている、という感じですよ。

今日は、時間に関するお話を紹介したいと思ひます。特に私が興味をもっていることをお話しようと思ひます。皆さまも、それぞれご専門の研究をおもちかと思ひますので、ぜひ、その観点からもコメントやご助言をいただけましたらありがたいと思ひます。

お話としては気楽に聞いていただければけっこうですので、どうぞよろしくお願ひします。そういえば昨日、皆既月食がありました。皆さまもご覧になりましたでしょうか。私は明石市立天文科学館で館長を務めておりまして、皆さまにぜひ、空を見上げて星を見てくださという仕事をしておりまして、見ていただけたかたがいらっしゃるとうれしく思ひます。明石市立天文科学館でYouTubeのライブ配信を行つておりまして、

昨日も月食の中継をしたのですが、見ていただいたかたはいらっしゃいますか。ありがとうございます。

ぜひ、YouTube のアーカイブが残っておりますので、当館のホームページから見ていただければと思います。4 時間くらい話しております、一応、明石の宣伝もしなければと思い、明石焼きも用意しました。月食と明石の食のレポートをしましたら、視聴者も徐々に増えてきました。初め 200 人くらいでしたが、1,000 人、2,000 人と増えてきました。1,000 人増えるたびに明石焼きを食べるといって、謎の中継を行って、たいへん好評でした。そんな感じなので、気楽に話を聞いてください。

明石市立天文科学館と私

明石市立天文科学館は東経 135 度の子午線上に建つ施設となっております。皆さまも、よく街角でこの東経をご覧になっている方は多いと思います。神戸学院大学とのつながりといいますと、やはり、先ほど清水先生がおっしゃったように阪神・淡路大震災は避けて通れないです。このときに、止まった時計というのが、今では取り替えられて神戸学院大学の有瀬キャンパスに展示されています。

今、お見せしていますのは 1995 年 1 月 17 日に撮影した写真ですが、当時の様子を検証するような式典も行われているということで、この歴史は大事にしなければいけないと思っています。私はこの時計の縁も少しあり、清水先生との縁や、さまざまな縁がありまして水曜 5 限目に人文学部で「時の文化」という講義を行っています。

一応、今年と来年もまだ開講できると伺っております。せっくなので、大時計の前で学生さんに授業中集まってもらい、星の観察を行っています。望遠鏡を持ち込んで土星の輪を見てもらい、学生さんに驚いてもらったりしています。とても喜んでもらっています。こういった体験や時間があつたらいいかなと思っています。私は社会教育の学芸員が本職です。社会教育的な雰囲気も提供できればと思います。

そして、天文学会の見学というものもあり、私自身は阪神・淡路大震災の後に採用されておまして、これはプラネタリウムの写真ですが、少し違和感のある写真ではないかと思えます。周りになにか、物々しい工事のようなものがあります。これは阪神・淡路大震災で明石市立天文科学館も壊れる寸前の被害を受けまして、プラネタリウムだけ唯一無事でした。

その復旧の工事の中で学芸員として採用されて現在に至っております。この写真に写っているのが仕事を始めたばかりの頃の私です。私に最初に課せられた仕事は、震災復旧の後に新しい科学館を作るのに展示を考えることや、プラネタリウムをリニュー

アルするにあたり、いろいろなことを考えるというのが私の最初の仕事でした。

ほぼ仕事人生というのは震災復旧、復興の足取りを行っているようなもので、だいぶ前ですが、1995 年に震災がありました、どこかに爪痕のようなものがあります。そういったものを一つ一つ直していきます。

そして、プラネタリウム自身はこのようにもちまして、明石市立天文科学館が 1960 年に開館して、これは 2020 年に 60 周年を迎えたときの写真です。

一つのプラネタリウムが 60 年現役で使われるというのは、非常にめずらしく長いです。これは本当に驚異的な長さです。今ではアジアでもナンバー 1 の長寿を誇るプラネタリウムです。古いですが、本当にすばらしい星空を見ることができます。よかったですらぜひ、お越しくください。

これはまた、たいへんよく寝られます。抜群の睡眠効果があります。私の声はお聞きの通り非常に眠い声です。今まで推定 10 万人くらい眠らせています。今年 11 月 23 日に熟睡プラネタリウムという眠るイベントを行いますので、よかったですらお越しくください。これを 10 年くらい行っていますが、今年はチャレンジで、毎年子どもたちが参加してグズって眠れなかったという声がありました。そのため、キッズタイム熟睡プラネタリウムというのを別に設けて、そこに館長井上がチャレンジして、子どもを寝かせますというイベントを行います。他は当館の優秀な学芸員がきちんと眠らせるプログラムを用意しています。よろしければ 11 月 23 日午後 3 回ほど、そのイベントを行いますので、ぜひ枕を持って眠りに来ててください。

後でくわしくお話ししますが、当館のプラネタリウムはカール・ツァイス・イェナという旧東ドイツのプラネタリウムです。たいへんいろいろな機能を備えていて見所満載の投影機となっております。また、プラネタリウムは空間に星を映すという印象がありますが、時を操ることができるというのが大きな特徴です。

これは日の入りの様子をシミュレートしたものです。夏至、冬至、春分、秋分で日の入りの位置が違うというのを表せます。また「毎年、同じ日であれば同じ位置に太陽が沈みます」といったことも表わせます。これを観察しようとするとならば 1 年かかるわけですが、プラネタリウムでは一瞬でそれができます。

簡単に申しますと、日が沈む位置でいうと、毎年 10 月 12 日と 3 月 1 日に夕日がアンテナにかかってパンダみたいになる日があって、これを「夕焼けパンダ」と呼んでおります。明石市立天文科学館の展望室からこの景色が見えるのですが、これが人気となっております。見学できる人は 10 人から 15 人くらいですが、毎回 200 人ぐらゐの申込みがあります。

これも見ていただけない方が多いので YouTube でライブ配信をしております。謎のイベントを多く行っておりますが、こういうものが、時と天文の関係の一つということをよく、お客さんにお話ししています。

今日は少しスライド枚数が多いので、続々といきたいと思えます。四つお話を用意しております。①時と天文学の関係、②時の記念日、③秒を巡る 100 年間の話、④プラネタリウムの誕生、といろいろと話していきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

時と天文学の関係

私は天文のことを専門にしていますが、特に「星を見る楽しみ」という天文のことを皆さまにお伝えしています。これは「時間」です。「時」というものと天文はたいへん深い関係があります。例えば、暦の誕生というのは、古代文明において天体観測からできました。そして、清水先生から紹介のあったチコちゃんの話は、「1 日が 24 時間になっているのはなぜか」というテーマになっています。

実は古代エジプトの頃にシリウスという星を観測して、それで夜を 12 等分、昼も 12 等分したということから現在の 24 時間制が誕生したという話があります。

時計というのは、当初は星や太陽の動きから時の流れを人々は知ったのですが、やがて星が見えなくても時間を刻むことができる水時計や砂時計が作られて、やがては機械式時計が生まれていきました。ただ、その機械式時計は、実際の時の流れと切り離されて時を刻みますので、天体観測でその時を合わせます。天文学と時というのは本来、誕生の頃から深い関係があったことがわかります。

そして、時という言葉も英語ではタイム (time) といいますが、日本語では「時刻」と「時間」という二つの言葉があって、本当はこれを厳密に切り分けるのがよいということになります。

時刻というのは流れる時の一瞬の瞬間です。時間というのは時刻と時刻の間隔です。暦の単位、時間、時計の単位といろいろあります。おもしろいのは、時計というのは、日時計を別にすると、基本的には時刻を計り、時刻を表示します。しかし、計るのは時間です。一定のリズムを刻んでその間隔を取ります。その時間がどこの時刻に一致しているかを天体観測で調整するというのが本来の時計の役割ということになります。このように、「時」というのは身近にあって、誰でも隣にあるようなものですが、丁寧に考えていくと、意外とむずかしいというか、あまり認識されていないという面があります。

そして、天文学と時の関係は、いろいろありますが、このあたりは少し省略しながらお話しします。ガリ

レオ・ガリレイとかホイヘンスという木星や土星のリングを発見した天文学者ですが、こういう人たちも時に関して非常に重要な発見をしております。

ガリレオの場合は「振り子の等時性」といって振り子が同じ間隔で行ったり来たりという周期をもっています。ところが、厳密にはこの振り子というのは少し不正確です。数学的にサイクロイド曲線というものに沿わせると、非常に正確な振り子になるということをホイヘンスという人が発見しています。このホイヘンスは、こういうサイクロイド曲線を出すために、ここに小さくありますが、こういった添え木みたいなものを付けまして、サイクロイド曲線を作ります。それを模したというか、そういう形で作られたのが「ホイヘンスの振り子時計」といいます。これでかなり正確な時計が作られるようになっていきます。

地球の自転や太陽の動きの「遅れ進み」みたいなものがこういう正確な時計で浮かびあがってきて天体観測のデータを時計の方で構成するというか、調べるという研究も生まれてきます。

また、天文学と時計の関係と、緯度経度を調べるのにも、天文学は重要なものとなっています。地球上の位置を知るのに、このような北極星の高さを調べるというような方法があります。一方で経度、明石の経度だと東経 135 度といいますが、これを調べるのには星を見るだけではわからないです。ある場所で正確な時計を用意して、別の場所に持っていき、空の星を見てその場所の時刻を見ます。そこで時差を知り、その時差からその経度を調べるということが必要になります。

そういう正確な時計を持っていない時代、例えばコロンブスがアメリカに到達した時代というのは、コロンブスの航路は緯度を一定に保って西に向かう、ひたすら向かうという航路がとられたりしております。

絶対的な時計を探すというのが天文学で実はすごく役に立つということです。例えば、木星の衛星が木星に隠れるタイミングの年表作成や、昨日もあった月食というのは世界中で起こりますので、月食を見て、今、何時何分何秒だという、世界の時刻ではこうなっているというのを知るという方法も編み出されています。

昨日、月食をご覧になられた方はわかると思いますが、あれで分単位の正確な時間を出すのは無理です。しかも月食を頼りにしようとするとなんか数年に一回みたいなものになりますので、これは残念ながら実用性はあまりなかったようです。

ただ、コロンブスはこれで助かったというエピソードがあります。昔、アメリカあたりで地元の住人たちと揉めたときに「私を怒らせると今夜、月を隠すぞ」と言って実際に月食が起こり、コロンブスが難を逃れたというエピソードがあります。そういうの

は、航路を移動するのに必要な知識だったのでコンパスは知っていたというふうに言われております。このあたりは『経度への挑戦』（デーヴァ・ソベル著、角川文庫）という本に詳しく書かれていますので、またご覧になってみてください。

時の記念日

プラネタリウムもまた、星の観測から時を知るための業務という点で、とても優秀な機械であるということになります。プラネタリウムで星の説明するのが最初の仕事だと思って明石市立天文科学館で働き始めたのですが、調べだすと、星と時との関係がずいぶん深く、今みたいな話が至るところに出てきます。とくに明石市立天文科学館の開館記念日に「時の記念日」というのがあるのですが、これがなんとも魅力の多い記念日であるということに気がつきました。そこで、いろいろと調査を行うようになりました。「時の記念日」の知名度調査です。皆さま6月10日が「時の記念日」ということをご存じの方はどのくらいいらっしゃいますか。では、あまり知らないという方はどのくらいいますか。ありがとうございます。明石市にとっては祝日にしたいと悲願している記念日です。この「時の記念日」は非常に興味深い意義のある日です。今日はここをしっかりと、お話をしたいと思います。

まず6月10日という日を覚えていただきたいです。これが決まったのが100年ほど前です。その由来となるのは西暦671年天智天皇が初めて日本で時を知らせたということに由来しています。これに関しては、皆さまにお配りしている資料で「時展覧会図録」というのがあります。それをペラッと開いていただいて1ページ目に時の記念日についての記事が出ております。

この6月10日は天智天皇が日本で初めて時を知らせたというエピソードに由来しています。この天智天皇という人は飛鳥時代に中国で進んでいた律令制度を日本に持ち込もうということで、日本で最初の暦を作りました。あるいは天文の研究者を配置するというを行っています。天智天皇が皇太子であった中大兄皇子時代にこの水時計の最初の物を作りました。その跡地が奈良県の明日香村に飛鳥水落（あすかみずおち）遺跡という形で残っています。この水落遺跡も非常に熱い遺跡です。水落集落という名前の集落もあります。ここに天智天皇の作った水時計の跡が見つかったのは昭和52年のことです。それまでは、人々がここに何かあることは知らなかったのです。しかし、ここは水落という名前が永遠に残っています。地名が昔、そこにあったエピソードを伝えている一つの例になっています。

見ていただくと、柱が多くあります。考古学者が驚くものすごく頑丈な物がここにあったと考えられ

ています。なぜ頑丈な物があったのかは、いろいろな説があります。とにかく、このような頑丈な建物の中に、こういう水を使って時を計る道具が置かれました。これが日本で最初の時計で、人々に時を知らせることになりました。

ちなみに、これは漏刻（ろうこく）といいます。漏刻は古代中国で発祥しました。ルートは違いますが、沖縄にも伝わっています。沖縄は中世に伝わっているのですが、首里城に漏刻門があります。先般、火事で燃えてしまいましたが、漏刻門のギリギリ手前で火事が止まりました。私は2020年の2月にコロナが広がる直前に沖縄に行きました。そのときに見ると、ギリギリセーフだったので写真を撮ってきました。だいたい復旧していますので、沖縄に旅行される機会がありましたら漏刻門の見学をされるとおもしろいと思います。江戸時代のおもしろいエピソードもありますが、今日は省略します。

時間に正確な日本人

日本人というのは時間に厳しいというか正確な国民というふうに海外からはよく言われます。そういうことを言われるようになったのは、近代に入ってからです。例えば、江戸時代の終わり頃、海外から来た人たちが日本人と時間についての約束をすると、全然守らないという苦情や愚痴というものが日記に残っています。そうした日本人の意識を変えるきっかけとなったのが、やはり明治維新です。明治維新の中でもいくつかの技術的な輸入が大きな影響をもっています。特に、鉄道というのは日本人の時間意識に、非常に大きな影響を与えています。これは明治のできあがったばかりの鉄道です。今年には鉄道150周年ということでJRでもいろんなイベントを実施しています。新橋と横濱間を列車が走っているという、これは錦絵です。鉄道150年の映像を見ると、日本人の時間意識に影響を与えたというフレーズも出てきますので、ずいぶん鉄道のかたでも、それはあるようです。日本人が時刻表などを見て時を知ったということですが。

とはいっても、当時は、ずいぶんとのんびりしていました。現代の日本人はずいぶん時間に正確になっています。とよく言いますが、実際問題として、どこかに証拠があるのかという話があります。私は何か証拠らしい物があると、一生懸命に集めるのが習性なので、これはその一つです。

これは2017年のBBCのニュースで「Apology after Japanese train departs 20 seconds early」とあります。「日本では列車が20秒早く出発したことを謝罪した」というニュースです。これが非常におもしろく、日本でつくばエクスプレスが20秒早く出たそうです。「ただ今、列車は20秒早く出発しました、たいへん申しわけございません」ということですが、誰も迷惑を

被っていなかったのですが、日本の新聞のベタ記事に「20秒早く出て謝罪した」と出ました。どちらかというとネガティブなイメージでニュースになりました。

それをなぜかBBCの記者がキャッチして、「たった20秒早く出ただけで謝った」という別のニュースでニュースを報じました。これが非常に好評だったそうです。今だとツイッターなのでしょうが、2017年はツイッターもありましたが、まだ掲示板のほうが優勢だったようです。「海外、掲示板、コメント」というのがあり、それを親切に日本語に翻訳したサイトを見つけたので持ってきました。「一方、イギリスでは週に1度でも時刻通り発車すれば最高」と書いてありました。鉄道発祥の地ですらこんなですから、「イギリスでは30分以上遅れるのは遅延とはならない、1度でも時刻通りになるのはミラクルです。オーストラリアでも列車が遅れなければ幸運です。」このニュースは最近、日本を訪問したけれど、あまりに全て時間通りで驚いています。一方、「ニューヨークでは、電車がちゃんと走ってない日もあった。その劣悪なサービスの料金値上げをしてきました。フィリピンでは走っている途中で壊れなければラッキーです。東ヨーロッパでは平均待ち時間では8分から12分。オランダでは時刻表をなくそうという話になっている。インドは本日出発します。」と書かれています。

掲示板なので、おそらくかなりいい加減に書いてあると思います。しかし、ここから読み取れることは世界中の多くの人が日本の鉄道の正確さをとても意識している。そこにおもしろさを感じました。そういう例はいろいろあります。海外に赴任するビジネスマンに話を聞くと、やはり日本人は9時に集まれと言ったら、みんな9時に集まります。あるいは、逆にそれが迷惑なこともあるようです。例えば、夜の8時にパーティーがあるから8時には集まってくれと案内を出すと、日本人は8時に来るので「なんて礼儀知らずなんだ、それだと呼んだ人が準備できないじゃないか、1時間くらい遅れるのがマナーだ」とかです。あるいは、12時にどこかに来てくださると従業員に言いましたら、夕方の5時くらいに来ました。「どうして？」と聞いたら「家を出るときに靴紐がほどけなかったので靴を直していたんだ」と全然、答えになっていないです。

つまり、考え方がいろいろあって、時間を守るということは何かということ、その文化と深く結びついているということ、それを教えてくれます。例えば、遅れる国民の感情からすると「公的な時間」と「私的な時間」があり、それぞれに流れる時間があります。そのどちらを優先するかということです。日本人はやはり皆を、共有している時間を優先するのに心がけるのが道徳です。しかし、自分の時間を優先してから、というのが当然の国であれば、それは必要な

ことです。

時に関する関心と時展覧会

時に関する意識というのは国によって、ずいぶん違います。では日本はなぜこうなったのかというのは、たいへん興味深いところです。江戸時代の終わり、非常に時がルーズだった日本人が、こういうふうにならざるを得ないようになったのには、いろいろなきっかけがありました。一つは鉄道の導入です。それで正確な時刻というのを人々が知るようになりました。日本標準時の導入というのも、かなり影響がありました。秒単位のことを大衆が意識するようになったのは、実は「時の記念日の誕生」というものが非常に大きな影響をもっています。これは1920年にできています。東京教育博物館といまして、現在の東京国立博物館です。上野にある立派な博物館です。その館長をしていた棚橋源太郎さん。この人が「時の記念日」の立役者です。この人は日本の博物館の父とか、非常に重要な人物として知られています。

私は学芸員の資格を取るとき、というか勉強をするときに博物館法とかを学びますが、博物館を作った人です。とにかく博物館のことを学ぶときは、この棚橋源太郎のことを必ず学びます。この人は非常におもしろい人で、東京教育博物館というのが東京都お茶の水の湯島聖堂にありました。実は非常に寂れた施設でした。明治時代に教育の事を展示するために作られた博物館です。大正時代になると、あまり人々に顧みられない施設になっていました。1920年大正9年ですが、そこで働くことを命じられた棚橋が、それでもドイツに留学の経験もあってのことですが、意気揚々と学校教育とは違う社会教育の重要性を彼は信じていました。そうしたら、そこにいる女性3人が「棚橋先生、皆さん元気よく来られていますけど、たいへい、やる気をなくすので、ここでは元気を出さないほうがいいですよ」と言われました。棚橋がそれに非常にこう、不満を感じて私にできることはないかと本当にいろいろな工夫をしました。

その工夫の一つが特別展というのを始めました。博物館や美術館で特別展というのは、今や当たり前のようになっております。本来は不思議な話でどんな博物館でもコレクションを持っていてそれを見せるというのが、第一義のはずです。どこから借りてきて、展示するというのは、別にそこでなくても本当はできます。しかし、そのテーマ性のある物を専門家がいろいろな所から借りてきて展示します。そうすると、目先も変わってお客さんも来ます。人が来れば、やはり、そこに学びの場も広がるということで、特別展を始めました。

そのきっかけがコレラだったのです。コレラは怖

い病気です。これは1920年ちょっと数年前ですが横浜港で外国船が来て、コレラがはやって、ものすごい社会不安が起きました。そのときに、棚橋は「コレラというのは衛生的な生活をしていれば怖くない」ということを展示しました。コレラ展とって、いろいろな医療器具を含めて展示したら、これは大事だと5万人くらいの方が訪れました。

今でも新型コロナウイルスの感染が広まったときに、本当に未知の病気に対して不安が広がり「何だろう？」とみんながわらをもすがるように、いろいろな知識を入れようとしました。しかし、これを社会教育が担うべきと、彼は強く意識しました。そういうコレラ展が大盛況でしたので、その後、テーマを持った特別展示をいろいろ開催しています。

そのうちの 하나가、生活改善展というのがあります。これは「冷凍利用の恩恵」と書いてあります。つまり、端の女性が「ものが腐って」困っています。こちらは冷蔵庫がここにあり、氷が上にあって「ものが冷えて」います。こちらだと、ものが腐らずに文化的に暮らせます。

こういう道具を使うことで、文化的な生活ができて、人々の生活が改善されれば「みんな幸せになれます」という、そういうものを紹介していました。この生活改善展もやはり評判が良かったのですが、その結果、生活改善同盟会というのが生まれ、渋沢栄一とかが出資し、非常に人気が出てきました。この生活改善同盟会が生活改善をするために、いくつかの項目をあげました。その一つが「時を守ろう」というものでした。それをテーマにした展覧会が行われました。それが「時展覧会」といいます。

皆さまにお配りしている資料ですね、ここに「時展覧会」というのがあります。日本人が時間にルーズなので、それを正そうというものです。1920年5月16日から7月4日にかけて行われました。これは大人気のため会期を延長して、来場者が22万人でした。5万人来たら大盛況だった寂れかけた博物館に22万人が来ました。当時の東京市の人口が300万人くらいですから、大半の人が訪れたという、たいへん伝説的な展覧会となりました。路面電車が走っていましたが、博物館の前に臨時の駐車場ができて、皆がどんどん降りていったと、いられています。あと女性が多かったのも特徴でした。

これが非常におもしろいエピソードで、明石市立天文科学館はこの6月10日を開館記念日にしております。「時の記念日」というのがこれに由来していると、物の本にも書いてあって、「いったいこれにはどんな物が展示されていたのか」と、いろいろ調べようと思いました。

そして、するどいですね。国立科学博物館の佐々木勝浩先生が、かなり研究を進めておられると聞いて、先生を訪ねました。そうしたら、「こういう資料があります」と見せてくださいました。これは当時

の目録です。「時展覧会出品目録」です。見ると、東京天文台、天文と時は関係が深いということから当時、東京天文台の出品物が非常に多くありました。あと通信博物館です。これ郵便局とか、そういった通信に関するものが、昔は通信省というところがありましたが、その資料です。他は海軍とか空軍とか他に時計のコレクターの方から、たくさん展示が出ております。

他にもいろいろな「時」を知るのに役立つような資料があったというのが書いてあります。そして、その中身がどうかと思っていましたが、こういう古い本が手に入りました。これがその本ですが、大正20年に発行された、「史上時展覧会」といいます。これは、見ていただくと天秤を持って時計と小判を比べて時計の方が重たい。時は金なり、時の方が金より重いということを表したイラストです。この女性の、おそらく女神様が持っているという絵柄になっています。

この本の中に、多くのおもしろい資料がありますが、調べきれっていません。これが、たぶんライフワークのようになっています。例えばこれは東京天文台で星の観測をして、時がどのように広がっていくかというのが書かれた、当時の系統図です。例えば、神戸港に時を知らせる報時球というのがありますが、それにつながるものとかです。全国の郵便局とか鉄道、中央气象台に届きます。あるいは東大地震研究所に時が届けられたりしているという記録が残っています。

ここから私が調べた話になります。この本の中に、このような絵柄がありました。これは通信博物館に出品されたものです。郵便局で最初に使われた時計の一つです。当時はそれほどお金のない小さな郵便局では、日時計を使って時を合わせていました。このような素朴な絵が描いてあり、このようなものが展示されていたのかと思いました。

この通信博物館の流れをくむ博物館が千葉県郵便局の中に資料センターとして、とても整備されていて、その学芸員さんに相談したら見つかりました。これが、当時の実際に展示されていた資料です。同じようなものも見つかりました。別のこの日時計のようなものが見つかりました。こういった資料はほとんど残っていません。実はこの「時展覧会」の後、関東大震災や東京大空襲がありほとんどの資料が焼失していますので、奇跡的に残っているものが見つかりました。

ただ、こちらの収蔵している方々はこれが、こういう来歴を持っていることを知りませんでした。なので「こういうふうなものが、昔展示されていたのですね」と、とても驚かれていました。そして、他にもいろいろありますが、この展示されていた図版というのがあります。例えば東京出発後、5時間経過ごとの列車到達地点とかです。東京を5時間後

に静岡まで行って、10時間後に名古屋を通過して、15時間たって姫路、下関まで25時間です。こちら朝鮮半島までかかる時間も書いてあります。

「地下鉄道と他の交通機関との速力比較」ということで、東京、浅草の雷門から品川まで歩くと3時間かかるけど地下鉄なら25分です。こうすると時を節約できるということが紹介されています。

「日の出とスズメの起きる時刻、6月頃はスズメちゃん早く起きて、12月頃は遅い」。これは、昔、江戸時代には時計のない時代に、人々は鳥を頼りに、あるいはいろいろな情報を基に時を知っていました。そういうことを知る古い、高齢者の知恵みたいなものを当時という現代流に置き換えるための参考資料として使われたようです。

「動物の寿命」というものです。「動物の寿命も時間です。ウサギは10年、セミは40年、怪しいのがあります。コイは200年、カメは300年」とあります。そしてアメーバは不死の動物と書いてあるのですが、こういう当時の科学知識もここから読み取れるという別のおもしろさもあります。

「児童、教師、一日の生活」とあります。これは時間割ですが、実は学校の時間割は当たり前のように私たちは子どもの頃から、そう思っています。時間割とはたいへんな言葉で、「一日の生活をこの時計に合わせてこう動きなさい」ということを小さい頃から私たちは訓練されているといえます。この時間にこれをするということを表示したものです。これは悪意とか、そういう強い意志があるというよりは、こういうふうにして時間の大切さを気にしましょうという素朴な思いが感じられます。

あと「時間を大事にしましょう」という話でいうと「華美なお化粧は控えた方が」というのがあります。「婦人結い髪時間」というのがあります。下級生だとこれくらいだけど、上級生になると、とてもかかります。といったような、さらにおせっかいなのが「婦人衣装お化粧時間」というのがあります。朝、起きて1時間30分、入浴に1時間20分、外出してなんだかかんだかで一日に合計3時間33分。1ヵ月に直すと4日と10時間。1年で53日間、化粧をしています。一生の化粧時間を計算しましたとあります。そうしたら一生のうち、12歳から70歳までの59年間の5年間を化粧しています。こういったものを女性が見て、大笑いしていたのが実は感じられます。こういったところが女性人気につながったのではないかと思います。

どこか大げさな感じもありますが、関東大震災前の日本の文化はどこか明るいのです。これが震災の後、復興の後、戦争の足音が聞こえると非常にメッセージ性が直接、戦争の役に立つという、あまり気持ちよくないです。この時代は素朴なおもしろさみたいなものが感じられます。そして、いろいろとあり、見ているとおもしろいですが、秒というものを意識

している展示もけっこうあり、1秒時に物の動く速さです。針が進む速さもあれば、飛行機が進む速さもありません。飛行機よりツバメが速かったりしますが、当時の秒というのは時計で計るのも非常に面倒で、計れる時計もほとんどない高級品です。秒というのも空想の概念、一瞬と同じぐらいの意味が当時がありました。ところが、秒の間にもいろいろなことがあるということを示す展示もありました。

そして、こういうことが行われて、人々の間で「時展覧会」が話題になりました。東京で話題になりましたが、地方でもずいぶん話題になったようです。この話題を広く広めるために「時の記念日」というのを作りました。そのことを周知しようと、一つのイベントですがこれを展示物として開催したというのが「時の記念日」です。そして、天智天皇の日付に由来して会期中の6月10日が選ばれています。そして東京天文台と東京生活改善同盟会が主催するという非常に大々的なものになりました。

講演会が行われ、正午の時報が鳴って、そのタイミングで神社や寺院、教会、それから工場などが一斉に汽笛を鳴らすということを行いました。そしてビラ配りなども行っております。東京の五カ所で正確な時計を配置して、通行人の時計を調整したりしております。これ当時の新聞なのですが「今日、時の記念日にドン音を聞き落とすな、時にうかつな日本人に正しい時を守らせる気風としての第一線。文明人ほど時間の観念が発達している市民をもってこれを、良習慣を養え」と今ではとても書けない強いあれですが、思いはあるわけです。時間、時を大事にしましょうということ。ビラが佐々木先生の収集した資料にあります。時の記念日にこんなビラが配られました。けっこういいことが書かれています。出勤、退出の時間を守りましょうとか、勤務と休養の時を区別しましょうとか、取引、約束の期日をちゃんと間違えないようにしましょうなどです。逆にいうとこれができていなかったから書いてあるわけです。そして、訪問の時間は先方の迷惑する時間の訪問は慎むこと。夜の十時くらいに、いきなり「こんばんは」と行くのはやめましょうといったことです。

正確な時計のところに、正午の号砲といって大砲が「ドン」と鳴っていたのですが、その大砲は300mで1秒遅れるので、それを調整しましょうということです。たいへん正確な秒を意識したことも書かれています。

実は天文学会が「時の記念日」にかなり協力して、『天文月報』という日本天文学会の大正時代の資料に「時の記念日」についての詳しい記述が残っています。その中でこのような記事がありまして「時計調べ、当日調べた時計の主なるものを記せば東京駅4秒進み、上野は0秒」など、いろいろ書いてあります。

これはいろいろな駅にある時計を全部調べて、その遅れ、進みを翌日の新聞に発表しているのです。それが、このように記事になっています。「記念日に醜態を暴露した大時計」東京駅の方がずれているとか、「帝都中央を闊歩する金ぐさりばかりの紳士」。これは「時計調べをします」と言って声をかけます。そうすると、昔は懐中時計なので金のくさり胸にはまっています。そして、「時計合わせしますと言うと、その人はくさりを引いて時計が付いてなかったのです。それは見栄を張ってこれをしているだけだと言って笑いながら去っていった」と書いてありました。さっきの見出しの雰囲気とこの記事の内容がだいぶ乖離してしまっていて、どっちかっていうと、ユーモラスです。しかし、東京駅のほうが少しずれているとかいうのが少しありましたので、東京含め、いろいろな公共の時計の時間が正確に刻めるようにというきっかけになっています。

これも私の調査の中で分かった資料です。セイコーミュージアムにあった資料です。これは東京教育博物館の写真ですが、子どもたちが円になって風船をあげているところです。時の記念日の正午に風船をあげる子どもたちです。実はこれ非常に歴史的な写真で時の記念日の正午に時報を鳴らすというのがありました。東京中が響きの都になったといえます。現在の私たちの感覚と大正時代の感覚は当然いろいろ違うことがあります。現在、例えば東京に行くと、街角に立ったらうるさいです。神戸も同じく車が通る雑音などが聞こえます。ところが大正時代は本当にシーンとしていました。想像もできないくらいシーンとしていました。どれくらいシーンとしていたかという、正午に皇居で大砲を撃っていたその音が東京中に響き渡って条件がいいときは筑波の山から聞こえたそうです。それくらいシーンとしていたのです。

そういう中で正午になって皆が汽笛を鳴らし、鐘を突き、それで東京が響きの都になったというその情景を少し想像いただきたいです。その中で正午のタイミングに合わせて、この人たちが棚橋源太郎の号令と共に「時を守ろう」という札を付けた風船をあげたんです。

私はこれを日本で最初のカウントダウンイベントだと思っています。現在は大みそかにカウントダウンを行っていますが、大衆が参加した秒を意識したイベントはこれが初めてだったんだろうなと思っています。

大衆が秒を意識したというのは、これが一つの大きなきっかけではなかったかと思っています。実は、このあと東京教育博物館含め、東京はたいへんなことになります。1923年9月1日に関東大震災が起こります。実は来年100周年ですので、おそらく震災に関する大きなニュースとか、あるいは特集なども、それに合わせて出てくると思います。調べると、史

上最悪の震災だったそうです。東京中が焼け野原になっていますし、非常に悲劇が多くありました。

この東京教育博物館も実は、燃えてしまって消えてしまいました。こういう震災のような大きな出来事というのは、一方で社会の変化を大きく進める要因も持ちます。つまり当時からすでに、人々が都市ではなく郊外に住んで集約型の仕事をするというのが、進みかけていました。関東大震災が起こると、焼け野原になって人々はまず郊外に逃げて住んでいます。真ん中に残った場所に工場とか会社ができ、皆が電車で真ん中を通うという、いわゆる通勤スタイルというのができあがってきます。

ちょうどその時間のときというのは、同じ空間に時間を約束して集まるという、そういう労働スタイルが定着していきます。この時代に労働8時間制とか、そういったものができあがるようになっていきます。そして、ラッシュアワーが1930年代にはできております。1930年代は新宿駅の人の乗り降りの数字です。横軸は時間帯です。朝の7時台と夕方の5時、6時台に乗客が降りた。このラッシュアワーというのは、皆が同じ時間に集まって、同じ時間に帰るというライフスタイルが表れているものと見えます。こういうところで、のんびりしていた日本人は秒を知り、こういったライフスタイルにシフトしていった、時に対する意識がずいぶん変わっていったと言えます。

時計と時間意識

時の記念日というものが、一つのきっかけとなって、日本人の時間意識が変わっていったのですが、もちろん、それだけではないです。その後ラジオ放送とか、あるいは国産の時計の誕生といったものが日本人の時間意識を高めております。そして、なぜ日本人が時間に正確かというところですが、いくつか要因が絡みあっていると思います。

一つには、時の記念日のような「理想はこうだ」という教育がありましたが、その後、戦後に日本の時計メーカーが安くて正確な時計を作るようになりました。これが国産の重要な産業の一つになっていったということがあります。例えば、シチズンやセイコーは非常にいろいろ開発しています。シチズンは、皆さまにお配りの資料の2ページ目、見開きのところに「パラショック」というのがあります。1958年6月10日「時の記念日」に「落としても壊れない時計を作りました」と言って、ヘリコプターからポタッと落として、「ちゃんと動いています」というデモンストレーションや、「海に落としても大丈夫です」と言って海に落とし、しばらくしてそれを拾って「大丈夫でした」というデモンストレーションを行っています。

そしてセイコーはクォーツ時計の小型化に成功し

ています。1959年に水晶時計というのが、このような2mくらいのサイズがありました。それがオリンピックの前、1963年にはこういうお弁当箱サイズになって、10年後の1969年にはこれほど小さいサイズになっていました。こういうクォーツ時計の誕生というのは、かなり大きく機械式時計より、はるかに高精度になりました。セイコーはこの特許を公開して、世界中の時計メーカーが使えるようにしました。もちろん、有料ですが隠さなかったのです。そうするとクォーツ時計が非常に広がって行って、日本の時計産業が大きく発達しました。特に日本人の手に正確な時計がくるようになりました。これは列車の運行の正確さに影響してきました。例えば皆さまが列車に乗るときに、列車が少し遅れたというとき、自然にスマホや時計を見て遅れていることを確認していると思います。それは、その時刻が正確だと自信があるから遅れたといえるわけです。

つまり、正確な時を皆が持っているということは「社会がより正確な時を共有しやすくなっている」ということは大きいです。皆の時計がデタラメで、だいたい精度が5分だったら仕方がないか、というような社会になります。こういうところが一つの原因ではないかと思っています。

「時の記念日」自体も全国に広がって明石でも毎年6月になると、時の記念日とか、時のウイークという行事が行われます。そして、少し駆け足でしたが、自身の認識としては明治の改暦の頃に日本の時間意識はずいぶん変わりました。それまでおよそ2時間単位のものが一つの形だったのが、「1時間」というものが日本人の時間意識になっていきました。

今日は詳しく話しませんが、「標準時の導入」という時代になると鉄道の普及と共に「分」という単位を日本人が意識するようになりました。さらに、「時展覧会、時の記念日」の誕生以降には日本人は「秒」を意識するようになったといえるかと思っています。

そして、2020年が時の記念日100周年ということで、時の記念日に関する特別展とか事業を準備していました。ところが、コロナ禍で全然、何も言えなかったのですが、これは私が科学館の小さなリーフレットとか小さな本として作ったものです。この時展覧会の図録の表紙をとっております。

さらに「時展覧会2020」というのも開催しました。資料の表紙をご覧ください。お配りしている資料は時展覧会2020のときのパンフレットとなっています。一番上に「100年ぶりに時展覧会開催」と書いております。「1920年に東京教育博物館にて時展覧会が開催され、それがきっかけで日本人の時間意識が大きく変わった」と、です。2020年はそれを伝承するような企画展をやりたいと思ひまして、セイコーやシチズン、あと時計研究のグループ、いろいろと連携し、国立科学博物館でこれを実施しました。

国立科学博物館では時展覧会というのは100年前の大きな事業としておりましたので、「100年ぶりの時展覧会開催」という大きなキャッチフレーズを付けました。

ところが、コロナ禍でほとんど誰も行くことができなかつたのですが、2020年の7月でした。当時は悪いことをするみたいなどころに行くはめになっていたと、私も決死の覚悟で上野に行って、ただ帰るだけという日帰りを決行しました。それが科学博物館で時展覧会の展示が行われているときの様子です。その頃は少しだけコロナ禍が落ち着いた感じになっていたため、常設展がありました。そこで一般の方がご覧になっていて100年前の女性のお化粧の図を見て大笑いしている女性グループを見て涙が出そうになりました。100年前の時を超えて、同じ図版で時代を超えて皆が喜んで、「時間は大事だね」みたいなことを、おっしゃっているのを聞いて、行った甲斐があったと思います。

秒を巡る100年の話

これが一つの、私の調査研究となりますが、こういう「時の記念日」というのはかなり大きな影響を与えたということです。そして、「秒を巡る100年の話」は少しいろいろあるので、一つだけ紹介します。

これは時展覧会の資料の一つです。当時の100年前の各種徒競走のレコードとあります。これは100m走です。ご覧ください。ここに、100m走というのがあり、日本人のマツダさんと英国人のリミンゴットさんというお名前があります。日本記録が11秒5分の2秒です。世界記録が10秒5分の3秒です。これは、ぱっと見ると昔は遅かったと思うのですが、ここに一つの違和感があります。5分の2秒とは何のことかわからないです。つまり、今だとウサイン・ボルト選手は9秒58と小数点で書きます。何かというと、時計の精度を表しています。つまり、当時の時計は0.2秒までしか精度がなかったということです。ところが、セイコーの技術も進み、今では1,000分の1以下の精度で時刻と時間を計ることができるようになっています。これの意味するところは「正確な時計を作って何の意味があるのか」ということです。「人間に理解できない秒数なんて無駄じゃないか」という話がときどきあります。

これを見ていただくと、0.1秒の違いを計測できます。そうすると腕の振り方を、こう変えると0.1秒速まるだろうという、技術革新の余地がかなり出てきます。それだけではないと思いますが、その結果、人類は1秒速く走れるようになりました。この1秒というのは、100年前に一瞬の代名詞のようなものですが、この1秒というのは選手から見れば、たいへん、豊かな1秒だろうといえるかと思っています。

実際に現在、インターネットなどでいろいろ研究

などを調べると、だいたい人は 0.1 秒でサイトを見るかどうか判断しているそうです。ぱっと見て 0.1 秒で「これはだめだ、おもしろい、ダメ」というのを 0.1 秒で判断しています。それ以上の精度はまだ人間の認識よりも速いかもかもしれません。あるいは、フライングは 0.1 秒というものが、どうもあると聞いています。それにしても 0.1 秒をさらに 10 等分したところまでは計ることができるというのが人間の工夫の余地を作ることにつながると思います。これで時間が 45 分になってしまいました。

プラネタリウムの話

最後にプラネタリウムのお話をさせてください。さきほど、棚橋源太郎さんが東京教育博物館から国立科学博物館を作ったという話をしました。震災後に上野にこれを建設しました。彼はプラネタリウムの導入も検討した「かも」という話があります。そして実際にこのような天体観測施設が現在も残っております。

そしてプラネタリウム自体が非常におもしろいのです。ドイツの話をする、近代的なプラネタリウムというのが誕生したのが 1923 年です。ちょうど関東大震災の頃で日本は混乱の中、そのことは知らなかったと思います。ドイツで名物的な館長がいました。オスカル・フォン・ミラーというドイツ博物館の館長がいました。その館長は「星空をドイツ博物館に展示したい」と思いました。そしてパウワース・フェルトというカール・ツァイスの技師が「星空をドームに映せばいい」ということを言って、プラネタリウムが誕生しました。その前には少しプラネタリウムにつながる、このような歴史があります。星空を展示したいというのは 2000 年代の人類のテーマになっています。例えば彫刻に星空の絵を描いた天球儀や、その中に入り込んで星を見る装置などが作られています。他は機械仕掛けで天体運行を再現するものがあります。

これは時間を早回しして宇宙の仕組みを知ることができます。そして、その延長線上にドームの形とプラネタリウムという装置があるということです。これは、このドイツ博物館で生まれたということがルーツになっています。

これだけですと、分かりにくいのでドイツ博物館のオスカル・フォン・ミラーについて紹介します。この人はドイツの電気技術者です。そして「偉大な芸術作品と同様に科学技術も人類の文化功績として人々に知ってもらおうと同時に後生に残すべき」という発表をしています。これが科学博物館のルーツになっています。これは棚橋にも、かなり影響を与えています。

そして、ミラーが言うのですね、「ドイツ博物館に天体モデルを展示したい」と考えています。少々こ

こは省略します。

展示したいものとして、こういった球体に穴をあけて中に入り込んで空を見るという、こういったタイプのものを提案しています。これはかなり、いろいろと難しい面があり、あまり大きく作れないとか、これを回転させようとする、とてもたいへんとか、この中に惑星を組み込むのはとてもたいへんということがあります。そこで、パウワース・フェルトはこのアイデアを納得しないで、「こんな複雑な装置ではだめでしょう、太陽、月、惑星を球面の内側に映し出した方がいいんじゃないでしょうか」と提案しました。そばにいた別の技術者が「恒星、星空の星たちも一緒に映したらどうだろう」ということを提案しました。これが近代プラネタリウムの誕生ということになります。

そして、このようなタイプのスケッチが残っております。これはパウワース・フェルトの書いた文章の中に紹介があり、これがドイツのミュンヘンで 1923 年に作られたプラネタリウムです。そしてデモンストレーションしたところ、とても大評判でした。おもしろいのは、作った当人も見て驚きました。プラネタリウムをご覧になった方は思われると思います。単に暗いところに星が映っているだけですが、なんとも言えない、奥ゆきとか没入感があります。作った技術者も、こうなるものだと思って見たのに、驚きました。

これは、それまで人類がそういうものを見たことなかったということです。清水先生に先ほどどうと、「それはやはり人間の認識としてそういう空間がなかった。そういう空間で感じる認識というのは、また違う視点があるだろう」というコメントをいただきました。そういう、思った以上の成果がありました。それで、プラネタリウムが大評判になり、広まっていきます。

その後、ドイツの空だけ映せるタイプのものから世界中の空が映せるタイプのプラネタリウムが作られるようになり、大阪にこのような日本初のプラネタリウムが導入されます。明石市立天文科学館のプラネタリウムはこの流れをくむタイプのものとなっています。非常に歴史的にも貴重なものとなっています。今日はその話も、もう一つしておきたかったのですが、少し時間が押してしまいました。私はプラネタリウムと時の記念日を、いろいろ興味をもって調べていますが、いずれも時間とたいへん関係が深く、その周辺の話とつながることが多いと思っています。ここまでの話でコメントやご助言をいただけたらと思います。お話は以上です。ありがとうございます。

質疑応答

清水：先生， どうもありがとうございました。せっかくですので， 何かご質問とかコメントとかいただけたらと思いますが， いかがでしょうか。

質問者：お話ありがとうございました。質問です。このように時の歴史を教えていただいて， 人間の体内時計にも似たような歴史というのは， あるのでしょうか。

井上：体内時計というのは， 遺伝子の中に時計を刻むリズムのことで。そして， 体内時計は遺伝子の中で規則正しく壊れたり戻ったりするリズムがあります。それは， その一つの生物の時計になっています。そういう生物に備わっている時計と， また別に人間自身が不思議な存在で， 時間を認識できる能力を持っています。それは， おそらく脳の中に何か認識のものがあると思っています。もう少しわかりやすくいうと， 未来はなぜあると思えますか？ 不思議なのです。おそらく， 犬とか猫は少し先の未来までは考えると思えますが， アメーバは， あまり未来のことを考えないと思えます。人間はかなり遠い未来まで， その遠い未来という言い方もおもしろいです。なぜ距離に置き換えて言うのかという問題もあります。

それで， 私は理由の一つとして時間感覚というのは記憶と深く結びついているからだと思えます。つまり過去の記憶があって， その積み重ね， 順番があって現在があります。その同じ積み重ね分が先に想像されるということで， 未来を考えているようで実は記憶をたどっているような気がしています。これは人間にかなり特有のものかと思えます。

一方で， お腹がすくとか無意識のものがあります。あれは非常に原始的な遺伝子に組み込まれた体内時計です。おそらくその2種類があるような気がします。相当深い話です。それだけで別の講演会をしていただいた方がと思うほど大きいテーマです。

清水：ありがとうございます。心理学では， ジャネの法則といって， 年をいくほど時間が早く過ぎるというのがあります。年齢の， 実年齢に反比例します。10歳の子どもの6倍早く1年が過ぎます。何かほかにいかがでしょうか。

毛：ありがとうございます。心理学部の毛と申します。先生の提示してくださったセイコーの時計であるとか， シチズンの時計であるとかは， 私が小さい頃， 父親が身に着けていた時計は中国産で， だいたい1日10分くらいずれる時計でした。そのためか， 日本のセイコーかシチズンの時計を腕に着けるのが父親の夢でした。

日本に留学してきた私が， 先にその夢を実現したということがありました。本当に「日本の時計

の技術ってすばらしい」と思いました。駅に行ったら正確な時計が見られるというのは， すばらしいなと思いました。これは感想です。

さて， 一つ， 先生に伺いたいのですが， かなり昔から私が思っていたことですが， 今， カール・ルイスの100m走の時間の秒が出ましたが， その後ますます細かくできるということで， ミリセカンドは1,000分の1ということになります。私が考えているのは， 1時間は60分です。1分間は60秒です。ですが， 秒の下は60というのは， はずれるというのがありました。これはゴーハチですが， おそらくこれは100なのです。これの100というのを調べたらミリセカンドというのが1,000分の1というのは， いったいどうなっているのかをぜひとも， チコちゃんじゃないですが， 先生に伺いたいと思っています。

井上：はい， ありがとうございます。時計のことからいろいろ興味深い話をありがとうございます。この「時間のおかしさ」というのは， 昔からよく， いわれています。つまり， 初めは24進法から60進法になり， 10進法になります。これは変なのです。

それを正そうという動きがありました。フランス革命暦というのがありました。1時間を100分にするというものが作られました。ところが， まったく定着しなかったのです。つまり， 時というのは習慣で皆， 多く使っているものです。時の本質というのは「なぜ時が必要か」というのに関係があります。なぜ， 必要かという点， 「約束事」のためです。つまり人間社会で， 皆が共有の時を持つことで力を合わせることができます。つまり， その人々にとって納得のいく， あるいはなじんだものというのは， かなり優先されます。

そのため， 暦にしても時間制度にしても， 変更しようとする時， それはやはり， これまで使っている人たち， あるいはそのコミュニティから離れた人たちが使っているものと整合性というがあるので， これは変えるのがむずかしいです。

そして， フランスが試みましたが， 残念ながらヨーロッパ中にすら広がらなかったのです。一方で， 西洋の時刻制度というのは， 西洋社会で広く一般化していったので， これは力がありました。日本や中国は， もう一つ東洋流の暦や時刻制度を持っていましたが， それは置き換えられたということです。そのおかしさはありますが， 現在はそれでなじんでしまっていますので， 未来永劫それがまんしていきましようということになると思います。

毛：ありがとうございます。時計の盤は24時間なのに何で24個の引き算にしないのでしょうか（1日は24時間なのに， どうして時計の文字盤は24に区切って， 一周で24時間になるようにしないのでしょうか）？

井上：それには理由があって、昔は 12 時間で昼と夜を分けていました。12 時間制かける 2 というのが、もともとありました。したがって、午前、午後という言い方を優先して使っていました。24 時間制が主流になったのは第一次世界大戦の後です。その頃に 1 時、2 時、…、17 時、18 時という言い方を使うようになりました。以降、そういう言い方が一般的になっていき、それまでは 12 時間制で言っていました。これには、いろいろな説がありますが簡単な理由が一つあります。昔は、視覚的に時刻は表示しなかったのです。初期の頃は鐘の音で決めていました。1 回鳴ったら 1 時、2 回鳴ったら 2 時です。そして 12 時までは聞いていられるのですが 18 時くらいになると、わけがわからなくなります。そういうところも一つの原因で、12 時間制というのが落ち着いたのではといわれています。

毛：はい、ありがとうございました。

清水：よろしいでしょうか。いろいろとご質問が尽きないかと思います。私はサマータイム導入大反対論者なので、たくさんお話を聞きたいこともありますが、時間になりました。本日のご講演のテーマ「人間の時間意識はどこからくるのか」というのは、時間の枠組みが最初から環境側で決められて、その世界の中に人が生まれてくるから時間意識がこうなるのだと先生のお話を聞いて実感しました。本当にどうもありがとうございました。皆さま、拍手をお願いします。

井上：私の話をしていたら時に追われてしまいました。また機会がありましたらプラネタリウムのお話をゆっくり、そして眠りに来ていただければと思います。よろしくをお願いします。

清水：はい。ありがとうございました。

担当教員 河瀬 諭

- ・自分の好きな音楽が課題の遂行に及ぼす影響——喫茶店を想定したオンライン実験——
- ・騒音感受性と音楽聴取時の音量の関連
- ・音楽嗜好と自己肯定感の関連
- ・音楽の好みと性格特性および選曲する際の要因の関連
- ・犬の映像による気分変化の検討
- ・大学生に対するデコイ（おとり）効果のアルバイト選択場面における検証
- ・入試形態による自己効力感・達成動機・学習意欲の差
- ・映像の違いによる楽曲の印象差の検討
- ・演奏経験と現在の幸福感との関連の検討
- ・トレーニング中の音楽聴取がやる気に与える影響
- ・あっちむいてホイにおける予告
- ・演奏者の人物情報が演奏聴取者に与える影響
- ・化粧をする人とならない人の自己評価の差
- ・リズム聴取による反応速度への影響

担当教員 小久保 香江

- ・インターネット上の誹謗中傷と個人の性格特性について
- ・バレーボール部に所属する大学生の食行動に関する研究
- ・着衣行動と自尊感情と SNS は相互作用をもたらしているのか
- ・読書がもたらす疑似体験が社会性に及ぼす影響
- ・男女間における恋人・推しに対する恋愛傾向の違い
- ・SNS の利用態度と自己肯定感の関連性
- ・養育環境が容姿への自己評価に及ぼす影響
- ・バスケットボールにおける心理的コンディションとプレイの関係
- ・大学生の睡眠とインターネット使用の関係
- ・ルーティンの有無による心理的競技能力の差について
- ・友人の呼び方が友人関係や友人関係満足に与える影響
- ・対面場面とインターネット上における他者の存在が行動に及ぼす影響
- ・大学生と趣味との関連
- ・大学生における親子の愛着関係が対人関係の理想と現実に与える影響

担当教員 小山 正

- ・文字情報または音声情報による人物紹介メッセージが印象形成に及ぼす影響
- ・大学生の自律性と学習意欲の関連性の検討
- ・アサーションによる対人関係の変化
- ・自閉スペクトラム症をもつ子どもへのコミュニケーション支援をめぐる研究動向とその課題
- ・アタッチメント・スタイルと自己愛性パーソナリティ傾向の高い人が行う他者操作行動の関連
- ・五感刺激が購買意欲に与える影響の違い
- ・競技選手のルーティンの種類とその意義
- ・大学生のメンタルヘルスにおける運動と疲労感
- ・大学生のネット上での購買行動と性格の関連性について

担当教員 土井 晶子

- ・恋愛のタイプと嫉妬傾向に関する研究
- ・アクティブラーニングとプレゼンテーションについて
- ・幸福感を上げるには
- ・「新型うつ」とは何か——その社会的背景および対応について——
- ・「対話」による自己変容と自己受容についての検討
- ・うつ病患者を介護する家族の心理的影響について
- ・愛着スタイルと自己隠蔽性との関連
- ・新型コロナウイルス感染拡大前と後での友人関係の変化について

- ・教師のストレス傾向と今後の課題
- ・死生観と人生観の関連について
- ・映画「ウルフ・オブ・ウォール・ストリート」から見る人を動かす極意
- ・わりきり志向と主観的幸福感の関連について
- ・新型コロナウイルスによる学習環境の変化が課題先延ばしに与える影響
- ・道徳性の発達と善悪の判断に関する要因について
- ・栄養療法とうつ病の発症予防との関係性

担当教員 道城 裕貴

- ・青年期の同調志向と失敗観の関連
- ・大学生の甘味に対する態度から痩せ願望やストレス対処との関係について
- ・幼少期の愛着形成と青年期における愛着及び自尊感情の関連
- ・子どもが認知する親の養育態度が大学生のソーシャルスキルと結婚・子育て観に与える影響
- ・大学生における LINE 使用と恋愛依存性の関連
- ・感謝が与える向社会的行動への影響
- ・他者からもたらされる居場所感と人生に対する積極的態度の関連
- ・青年期の深い友人関係と主観的幸福感との関連
- ・大学生における記憶の忘却に対する不安の傾向
- ・フォントの違いにおけるダサさの評価
- ・成人期の愛着スタイルと自尊感情の関連
- ・目元の化粧による相貌特徴が魅力度と性格判断に与える影響
- ・両親の夫婦関係に関する認知が子どもの将来像に及ぼす影響
- ・単一症例研究調査における自己発展
- ・神経発達障害の自己刺激行動に関する介入の研究の概観と今後の展望

担当教員 中川 裕美

- ・広告の提示方法が消費者行動に及ぼす影響について
- ・東かがわ市の観光資源の認知度について——関係人口・交流人口及び定住人口における相違の検討——
- ・性格特性別の反応の差異の検討および性格特性が購買意欲に与える影響の検討
- ・柔軟剤の香りと集中力および気力・活力と作業効率の関連
- ・対人疎外感および社会的スキルが大学生生活満足度に及ぼす影響の検討
- ・自尊感情とリラクゼーション状態が状況別不安に及ぼす影響の検討
- ・性格傾向が余暇活動ならびに主観的幸福感に及ぼす影響
- ・YouTube の視聴動機に関する性格要因の検討
- ・大学生における結婚観・子育て観と親の自律性援助および自己肯定感の関連の検討
- ・独自性欲求が性格特性ならびにコミュニケーションスキルに及ぼす影響について
- ・コロナ禍における大学生のレジャー活動への抵抗感と心理的要因の検討
- ・聴き方および話し方スキルと対人コミュニケーションの関連の検討
- ・コロナ禍におけるオタクの購買行動と充実感の関連の検討
- ・共感性が広告刺激における物語説得に与える影響の検討
- ・子供への興味や関わりと情動に対する他者懸念との関連
- ・集団に対する個人の志向性が購買意欲に与える影響

担当教員 長谷 和久

- ・個人の特性や観念、経験と障害者へのステレオタイプとの関連性についての検討
- ・ホーディングを誘発するアタッチメントスタイルの検討
- ・不登校経験のある子を持つ家族が抱える問題の対処方法について
- ・共感覚表現で使用される感覚形容語とオノマトペの共通性についての検討
- ・文化的自己観と感情調節の関連性
- ・日本語非母語話者の外国語訛りに対する日本語母語話者の評価
- ・理想の上司像、部下像の検討
- ・現代人における国籍別の異文化理解度と印象評価の検討

- ・テーマパークに対するイメージ評価の違いと個人特性の傾向の検討
——東京ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパンの場合——
- ・ファンにおける推しとファン同士の心の距離間の検討
- ・自尊感情の高低と社会的比較の傾向が SNS の投稿に与える影響の検討
- ・表現の規制を促進する要因の検討

担当教員 難波 愛

- ・支援者側から見た通級指導の役割と今後の課題について
- ・自尊感情が対人感情に及ぼす影響
- ・対人関係におけるマスク装着時・マスク非装着時の表情の印象の違いについて
- ・神戸連続児童殺傷事件からみる犯罪原因論と犯罪機会論の研究
- ・登校回避感情の関連要因・対策と不登校児への支援との比較によるグレイゾーンへの支援法の検討
- ・高校での「いじめ」の問題点と特徴とその対策
- ・楽観主義バイアスが新型コロナウイルス感染者に対する意識に及ぼす影響
- ・大学生におけるコロナ禍によるオンライン授業のストレスについて
- ・大学生によるファン行動は見た目と性格の変化に影響を与えるのか
- ・大学生における音楽聴取と自己効力感の関連
- ・親との信頼関係が青年期の親子間のコンフリクトに与える影響
- ・テーマパークステレオタイプの違いが他者印象に及ぼす影響
- ・自画像を用いた研究の有用性と今後の活用法の検討

担当教員 長谷川 千洋

- ・ファン心理の差異の検討
- ・映像の効果がストレス低減に及ぼす影響
- ・Highly Sensitive Person の過剰適応を抑制する要因の検討
- ・嫉妬感情によるシャーデンフロイデの喚起と攻撃性との関連
- ・コロナ禍でのマスク着用意識と他者評価との関連
- ・インターネット上の自己開示と自己呈示について
- ・スポーツ傷害の受容と性格特性との関連について
- ・認知症高齢者の介護者に対する心理支援について
- ・青年期における被服行動と対人不安との関連
- ・自尊感情と対人ストレスコーピングとの関連性の検討
- ・音楽聴取が人に及ぼす心理的影響
- ・心理学における感動体験についての文献的考察

担当教員 松島 由美子

- ・パーソナリティと被服行動の関連性の検討
- ・緑色の明度の違いが人に与えるリラックス効果の差
- ・コロナ禍におけるファン心理が生きがい感に及ぼす影響
- ・個人の外向性がコロナ禍前と現在における友人関係の動機づけに与える影響
- ・性格が人の内面・外見の好意判断に及ぼす影響
- ・大学生におけるギャンブル依存傾向とその特徴
- ・コロナ禍前後のコミュニケーション及び性格がアサーション行動に与える影響
- ・自尊感情と状況が同級生間でのほめ言葉の受けとめ方に与える影響
- ・青年期における心理的居場所感が将来志向性に与える影響
- ・親との親密度が大学生の自己肯定感に及ぼす影響の検討
- ・しぐさが友人関係に与える影響

支援者側から見た通級指導の役割と今後の課題について

C119001 關川 ひより

神戸市では、全国に先駆けて独自の通級指導教室体制で支援を行っている。しかし、神戸市の通級指導教室での支援内容についての研究がなされていない。

本研究では、神戸市の通級指導教室での支援内容や役割、今後の課題について具体的・実証的に明らかにすることを目的とし、神戸市内の通級指導教員としての勤務経験を持つ3名を対象に、作成したインタビューガイドを用いて半構造化面接を実施した。その後、逐語記録を作成し、KJ法を用いて整理、分析を行った。

本研究の結果、インタビューでの5つの質問に対して、ラベルからそれぞれ5~7のカテゴリーに分類することができた。通級指導教室では、生きづらさや障害特性に応じた支援がなされており、「そだちとこころの教室」では、自尊感情や自己効力感を育むための支援、「きこえとことばの教室」では、障害特性に応じた支援が重視されていることが示された。本研究では、小学生の事例について明らかにすることができなかつたため、今後の課題として挙げられた。

個人の特性や観念、経験と障害者へのステレオタイプとの関連性についての検討

C119019 高橋龍二

障害者への態度やステレオタイプに関する先行研究において、障害者を障害別に分けて研究しているものが多く散見された。また、障害者側の特性に焦点を置いた先行研究が多く、健常者側の特性に着目した先行研究はあまり確認されなかつた。以上を踏まえ、本研究では個人の特性や観念、経験が障害者へのステレオタイプに及ぼす影響を検討することを目的とし、先行研究でほとんど検討されてこなかつた拡散的好奇心などの様々な次元と障害者へのステレオタイプとの関係性について検討を行った。分析の結果、年齢差すなわち世代間の次元の特に親世代において、その他の次元と障害者へのステレオタイプとの間に多数の.20以上の相関関係が確認された。本研究の知見に基づき、先行研究でも用いられた次元については先行研究との比較を行い、本研究で新たに加えた次元については障害者へのステレオタイプとの関連性について先行研究を交えて様々な考察を行った。

映像の違いによる楽曲の印象差の検討

C119069 藤原彩有

本研究では、映像の有無や映像素材の違いにより、楽曲を聞いた際に印象に差があるかを検討することを目的として実験を行った。調査には、大学生と大学院生の合計 46 名が参加した。実験の結果、楽曲に自然映像が合わさることで、楽曲を「はっきり」と感じさせることが示された。使用した映像素材に映る場所や、前進する動画の動きが、印象の評定に影響を及ぼしたと考えられる。さらに、音楽作成ソフトの波形映像が合わさることで、「地味な」印象評定が行われた。波形群は、動画内で動きのある部分が少なく、映像の印象が評定にも影響を及ぼしたと推測される。加えて、映像が無い音声群内において、音楽経験がある群がない群に比べて楽曲を「なめらかな」と感じる評定に差が表れた。音楽経験の差と、実験素材で用いた楽曲の速度が、リズムの知覚と評定に影響を及ぼした可能性がある。今回の研究結果は、様々な音楽動画の作成に役立てることが期待される。

子どもにおけるやさしさの発達段階に関する基礎的研究

——文献調査と面接調査による検討——

8C21101 梅村 萌乃

(指導教員 清水 寛之)

本研究は、子どもにおけるやさしさの発達段階について文献調査と面接調査を通して検討した。文献調査では先行研究について論評し、面接調査では乳幼児の保護者と教育・保育関係者を対象に面接を実施し、子どものやさしさに関する認識・理解について検討した。

「やさしい」という言葉は非常に一般的であり、日常生活でも多く用いられている。しかし、心理学的研究として、やさしさに関する研究は非常に少なく、これらの多くは特定場面における具体的な行動を扱ったものである。また、先行研究ではやさしさの基盤が発達早期から築かれていくことが示されている。やさしさは(1)援助・親切・譲り合い、(2)愛・思いやり・他者理解、(3)気配り・配慮・いたわり、(4)許容・受容・安心・穏やかさ、(5)あたたかさ・やわらかさ、(6)献身、(7)幸福・感謝、(8)厳しさ、という8側面で表される。

やさしさの発達過程として、乳児期では他者を助けるおもちゃを注視するなど、限定的ではあるがやさしさが芽生える。幼児期では行動にむらがあるが発達に伴い、相手の立場になって考える、譲り合うなど、具体的な行動でやさしさを表現するようになる。学齢期では、手を貸すべきではないと判断した場面、あえて何もしないという厳しさをやさしさとして表現するようになる。

面接調査Iでは、乳幼児の保護者は、①発達早期においても保護者は子どもの行動をやさしさとして認識している、②全体の45%の保護者が子どもへの願いとして「やさしい」という意味の発言をする、といった結果が得られた。

面接調査IIでは、教育・保育関係者は、①子どもへの願いとして自立や生きていけるという意味の発言が中心である、②子どもの中にはやさしい子とやさしくない子と感じられるような子どもがいる、③やさしすぎると感じる子ども（他者に譲りすぎると感じられる子ども）もいる、といったことがわかった。

子どもは自身に向けられたやさしさを受け入れ、その後、他者を理解し、共感的に接するようになる。保護者や教育・保育関係者は、やさしさを子どもが獲得すべき重要な要素であると捉えている。一方、やさしくないと思われる子どもや、やさしすぎる子どももいる。そうした子どもには個々に環境調整や関わりの見直しを行う必要があると考えられる。

発達性ディスレクシアの認知障害をめぐる研究動向

8C21102 小倉 諒

(指導教員 小山 正)

文字の読み書きは学習の基盤となるスキルであり、その後の学習を円滑に進める上でも重要となる。読み書きの教育は小学校入学後に本格的に開始されるものの、就学前の幼児期から既に文字の習得は始まっているといわれているが、一般大学生の中には、読み書きに困難を有する者も一定数存在しており、文字の獲得に問題を抱えてきた人もいる。わが国においては、このような読み書きの障害である発達性ディスレクシア (DD) の背景となる認知障害として、視覚認知、音韻、自動化能力の障害の存在を明らかにしてきた。DD の児童の多くは、これら複数の認知障害により生じており、個人によっても、その認知障害は異なる。そこで、本研究では DD をめぐる認知障害に関する近年の研究を展望し、今後の研究的課題を明らかにすることを目的とした。その結果、視覚認知障害においては視覚認知/視覚障害、視機能障害の差によっても読み書きへの影響が異なるため、DD の視覚認知障害を同定する上では、視覚情報処理過程のどこに障害が生じているのか区別が重要となることが明らかとなった。音韻障害においては音韻認識のアセスメントが重要であり、さらに音韻認識と書きに関する詳細な関連について明らかにする必要があると考えられた。自動化障害においては Rapid Automatized Naming (RAN) 課題の遂行には眼球運動の効率性が影響を及ぼす可能性があったり、英語圏では処理速度などの問題が指摘されていたりすることなどから、他の認知障害による影響を考慮する必要があると推測された。また、これらの複合的な認知障害構造である二重障害構造、三重障害構造においては児童の良好な認知機能を活用した支援を行うために、視覚認知課題、音韻認識課題、RAN 課題のアセスメントにより対象児の認知障害構造を明らかにする必要があると考えられた。加えて、音韻障害と自動化障害との関連性は指摘されているが、さらにそれらと視覚認知障害との関連性について明確にする必要があると考えられた。日本語の文字言語特性については、視覚的に複雑である文字であるほど習得されにくく、接触頻度の高い文字は習得されやすいことから、DD の読み書きの問題は器質的要因だけではなく、環境要因も影響すると考えられた。そのため、DD のアセスメントを行う上では、DD をもつ児童がどのような環境で育ったのか、ひらがな、カタカナ、漢字いずれの文字において問題が生じているのかといったことを個々に応じてみていく必要があることが明らかとなった。今後は日本語の文字言語特性を踏まえ、二重障害構造と三重障害構造が生じるメカニズムをさらに明らかにすることが研究的課題として考えられた。

ひきこもり経験が青年期のひきこもり親和性およびレジリエンスに及ぼす影響

8C21103 佐野 春菜

(指導教員 村井 佳比子)

本研究の目的は、ひきこもり経験の有無が、ひきこもり親和性やレジリエンスに影響するかどうかについて検討することであった。大学生 362 名を対象に、大学生用ひきこもり親和性尺度と二次元レジリエンス要因尺度 (BRS) および、ひきこもり経験に関する調査を実施した。仮説として、ひきこもり経験がある者は、レジリエンスにおける後天的に獲得する性質の強い「他者心理の理解」が高いことが予測された。

検討の結果、ひきこもりを経験した「経験あり群」は、ひきこもり経験はないが、ひきこもり親和性の高い「親和性高群」と同レベルのひきこもり親和性があり、ひきこもり経験がなく、ひきこもり親和性の低い「親和性低群」に比べて資質的レジリエンスが低く、繊細な資質を有していることが示された。しかし、他者心理の理解については、ひきこもり経験の有無による差はみられなかった。一方、共分散構造分析でのモデルを比較したところ、「経験あり群」の「ひきこもることへの願望」の低さと「他者心理の理解」の高さに関連があることが示された。また、自由記述において、ひきこもり状態の克服のきっかけとして、友人や家族、学校や専門機関等の他者との関係性が重要な要素であることが示唆された。以上のことから、仮説は支持されたとはいえないが、ひきこもり状態の克服には、他者との関係性、特に、他者心理を理解する力が重要な要素になる可能性が示された。ひきこもり経験のある「経験あり群」においては「他者心理の理解」が高いことが特徴的であり、「ひきこもり克服のきっかけ」を問う自由記述においても、他者との関係がきっかけとして挙げられていたことから、ひきこもり状態からの克服においては、他者との安定した関係を築く過程で獲得的レジリエンスの「他者心理の理解」の力が身につくのではないかと思われる。「経験あり群」のひきこもり経験時期と期間をみると、多くが中学校でひきこもりを経験しており、期間も 1 年以上が多数を占めていることから、資質的に繊細な子どもの場合、特に思春期における支援が重要であり、安心して自分を見つめ直すことのできる環境を整えることが必要であるといえる。

本研究の限界として、「経験あり群」が 19 名であり、分析結果を一般化するには問題があることが挙げられる。また、この 19 名のひきこもり時期や期間も多様で、個人差が大きい。ひきこもりの背景には疾病や環境等、多くの留意すべきポイントがあり(厚生労働省, 2010)、ひきこもり親和性に関しても、今後、これらをふまえた調査が必要である。

防災教育による効果の検討

——防災意識・災害自己効力感・防災行動に焦点をあてて——

8C21104 篠田 茉里

(指導教員 山本 恭子)

わが国では、台風、地震、豪雨、噴火などの災害が多発しているため、防災行動だけでなく、その行動を引き起こすきっかけとなる意識レベルへのアプローチも必要不可欠である。防災に関する心理的側面には、「災害自己効力感」と「防災意識」がある。研究 1 では、世代による防災意識の違いや一般的自己効力感と災害自己効力感および対策実施度の関連について検討すること、研究 2 では、防災ゲーム「クロスロード」を防災教育として実施し、防災意識や災害自己効力感の変化について検討することを目的とした。

研究 1 の対象者は、20 代～60 代の男女 446 名（男性 218 名、女性 228 名）であった。質問紙は、災害自己効力感尺度、および、一般的自己効力感尺度、防災意識尺度、災害対策実施度として静岡県自主防災チェックリスト、被災経験の有無から構成した。各年代と性別を独立変数とした分散分析の結果、一部の尺度においてのみ年代差が見られた。相関分析の結果、災害自己効力感の下位尺度である自己対応能力と対人資源活用力のみ、全ての年代において対策実施度と有意な正の相関がみられた。また、災害自己効力感の自己対応能力および対人資源活用力と一般的自己効力感は全ての年代において相関がみられた。以上のことから、災害自己効力感の防災対策の実施に寄与していることが考えられる。

研究 2 の対象者は大学生 134 名であった（男性 71 名、女性 61 名、ノンバイナリー 2 名）。心理教育として防災ゲーム「クロスロード」を実施し、実施前と実施後、フォローアップ（3 週間後）に、研究 1 と同様の質問紙への回答を求めた。防災教育による各尺度得点の変化を検討するために分散分析を行った結果、防災意識の被災想像力、不安、および、災害自己効力感の自己対応能力、対人資源活用力において平均値の有意な上昇がみられた。さらに、この 4 尺度の中でフォローアップ調査時まで効果の持続がみられたのは、災害自己効力感の自己対応能力と対人資源活用力の 2 尺度のみであった。

研究 1 では世代による差はあまり見られなかった。つまり、世代によって防災に関する心理的側面の違いはあまりないといえる。また、研究 2 では、防災教育による災害自己効力感の向上および持続がみられた。防災意識において世代の差があまりないことを踏まえると、研究 2 でみられた防災教育「クロスロード」の効果は、20 代以外の世代で実施した場合も同様に期待できるかもしれない。

大学生が認知する養育者の瘦身願望が自身の食行動異常傾向に及ぼす影響

——家族機能に焦点を当てて——

8C21105 島崎 紗衣

(指導教員 村井 佳比子)

本研究の目的は、大学生の食行動異常傾向が、大学生の認知する養育者の瘦身願望に関する認知と関連があるかどうか、さらに、家族機能が大学生の食行動異常と養育者の瘦身願望に関連するかどうかを検討することであった。また、家族機能の違いによる影響の差についても確認した。仮説は、仮説1「養育者の瘦身願望が強いと認知している場合、食行動異常傾向が高くなる」と、仮説2「家族機能は、養育者の瘦身願望に対する認知と自身の食行動異常に影響している」であった。調査対象者は20歳以上の大学生・大学院生238名であった。質問項目はEating Disorder Inventory (EDI)、Sociocultural Attitudes Towards Appearance Questionnaire (SATAQ)日本語版、家族機能測定尺度、自由記述で構成されていた。

検討の結果、仮説1について、大学生が認知する養育者の瘦身願望と、自身の食行動異常傾向に関連が認められ、大学生が養育者の瘦身願望が高いと認知している場合、自身の食行動異常傾向も高くなることがわかった。これは「痩せたい」という親を同一視し、その価値観をモデルとして取り入れ、親の価値観に合致した自分になろうとすることで、過食やそれに随伴する心理的な問題が生じやすくなるためであると考えられる。仮説2については、家族機能と大学生が認知する養育者の瘦身願望および自身の食行動異常には関連が認められなかった。しかし、家族機能が高いほど、子どもの精神安定と、対人交流の良好さが高くなることが示され、子どもが摂食障害等の深刻な状態に陥った時、その支援として家族機能が重要な役割を担う可能性が見出された。主たる養育者と子の情緒的な繋がりが深く、かつ、状況に応じて家族で適応していくことができる家族機能は、食行動異常傾向が高くなることを防いだり、食行動異常傾向が高い子どもを支えることができたりするのではないかと思われる。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により家族機能と食行動の関係はより深いものになったと考えられ、コロナ禍の生活に適応し、増加した家族時間で情緒的なつながりが深まるような関わりを育むことが、食行動異常を防いだり、支援に繋がったりするのではないかと考えられる。

今後の課題として、高校生など家族と同居している者を対象に調査を行うこと、食行動異常傾向が家族機能に与える影響についても検討することが挙げられる。

マッチングサービス・アプリの利用者の現状と
対人コミュニケーション力および対人依存欲求

8C21106 清水 愛由美

(指導教員 村井 佳比子)

本研究の目的は、マッチングサービス・アプリの現状を把握するとともに、新たな人間関係の構築につながったアプリ利用者の心理的特徴および対人コミュニケーション能力について探索的に検討することであった。調査対象者は、20 歳から 39 歳までの男女 941 名（男性 501 名、女性 440 名）を対象としてオンラインによる調査を行った。調査内容は、フェイスシート、アプリに関する質問、対人コミュニケーション尺度、および、対人依存欲求尺度で構成されていた。

調査の結果、利用経験については、全調査対象者の約半数が「マッチングサービス・アプリを知っている」と回答し、利用者数は全調査対象者の 1 割程度であった。このことから、アプリが現代社会において徐々に認知されつつあるものの、利用を敬遠している人が多いことが示された。一方、利用経験者の半数は、良い出会いがあった等の理由で利用して良かったと評価しており、アプリ使用時には相手の立場に立った工夫をしていることがわかった。また、アプリ利用者は対人コミュニケーション尺度の積極的関係構築因子の得点が高く、このうち良い出会いがあった人ほど得点が高いことが示されており、積極的に関係を構築する力が高い人ほど新たな出会いを得ることができていることが示唆された。これに対して、良い出会いがなかった人は情緒的依存が高いことが示された。適度な情緒的依存欲求は他者への信頼と関連しているものの、これが高すぎると相手に対する期待が大きくなり、出会いの機会を失う可能性がある。積極的関係構築力があるにもかかわらず良い出会いがないのは、情緒的依存欲求の高さによるのではないかと推測される。

以上のことから、現時点ではマッチングサービス・アプリに対するネガティブなイメージが強く、利用者はまだ少ないこと、アプリで良い出会いを得るには、現実と同様に適切なコミュニケーション能力が必要であることが示された。オンラインの手軽さに惑わされず、目の前にいない相手に対しても敬意を払って対応することは、インターネット上のコミュニケーションすべてに共通するマナーであるといえる。本研究の課題としては、「良い出会い」の定義が曖昧であることや、アプリ利用者の人数が少ないことが挙げられる。アプリの認知度および利用者が高まってきた時期に再度調査し直すことが必要である。

日本では、少子高齢化や近年の医療発展による寿命伸長で多くの輸血が必要である一方、日本の若年層による献血者減少が著しい。先行研究では、献血未経験者から初回献血者に入る段階において、関心や知識を持っている方がより初回献血への意欲が高いことが明らかとなっている。しかし、献血知識の普及だけで、献血への協力を高めることは難しいことも考えられる。先行研究では共感性の高さが献血をはじめとする向社会的行動を促進することが指摘されている。そこで、本研究では大学生を対象に献血回数と献血に関する知識及び共感性との関連の検討を行った。仮説として、①献血経験者は未経験者より共感性が高い、②複数回献血者（年に二回以上の献血を指す）はその他の献血者よりも共感性が高い、の二つを設定した。

大学生 263 名を対象として、多次元共感性尺度、献血知識、献血経験を問う項目から構成される質問紙調査を実施した。調査は学部の講義時間内、または、校内の献血実施時に献血バスの車内で実施した。

その結果、献血経験のある人は 97 人、ない人は 162 人であった。なお、複数回献血者が少なく、分析が難しいため、献血回数による比較は行わなかった。献血経験の有無により献血知識や共感性が異なるかについて *t* 検定を行った結果、献血経験のある人がない人よりも献血知識得点が高く、仮説①は支持された。また、献血経験の有無別に献血知識と共感性下位尺度の相関係数を調べた結果、共通して献血知識と他者指向性尺度、想像性尺度、視点取得尺度に有意な正の相関が見られた。さらに、献血知識のない人において、その理由により献血知識や共感性が異なるかについて分散分析を行った。その結果、献血知識と他者指向的反応、視点取得において、理由による主効果が有意であった。多重比較の結果、「行きたくない」人は他の理由を回答した人よりも献血知識得点が高いこと、や、「行きたいと思うが行ったことがない」人は「行きたくない」人よりも他者指向的反応、視点取得の得点が高いことが示された。

以上のことから、献血知識があることが献血協力・参加に繋がっているのではないかと考えられる。また、献血未経験者でもその理由によって、献血知識や共感性には差異があることから、共感性に訴えるアプローチと自己の不安等を取り除くアプローチを使い分けるなど、対象に応じた方法を用いることが献血参加者増加に有効ではないかと考えられる。本研究では、献血経験者に対してその理由を聞いていないため、献血経験者における献血回数別の理由について考察することが出来なかった。そのため献血経験者に対する献血理由を選択肢に入れることで複数回献血者増加のアプローチ方法を調べることもできるのではないかと考えられる。また、未経験者の理由に関してもさまざまな理由があった可能性があるため、他の理由も追加して研究を行うことで献血理由別で、今後の献血参加へのアプローチ方法を調べるのではないかと考える。

大学生における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による強迫傾向の変化

8C21109 福井 優哉

（指導教員 長谷川 千洋）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴い、清潔に関する側面に与える影響は大きい。頻回な手指の洗浄やアルコール消毒といった行動は、感染拡大以前においては、強迫傾向、特に清潔に関する強迫傾向と捉えられていたが、発生後においては、強迫傾向を測定することが難しいことが考えられる。また、感染状況が変化中、われわれの新型コロナウイルス感染症に対する恐怖感情及び強迫傾向が変化することが考えられる。本研究では、新型コロナウイルス感染症に対する恐怖感情と強迫傾向との関連を調べ、新型コロナウイルス感染症発生時以降、時間の経過とともに強迫傾向は変化するかということについて、質問紙を用いて調査することを目的とした。新型コロナウイルス感染状況として、「初回緊急事態宣言」、「デルタ株」、「オミクロン株」の3つの時期を設定し、それぞれに新型コロナウイルス恐怖尺度（Fear of Coronaviruss-19 Scale）日本語版と日本語版モーズレイ強迫神経症尺度（MOCI）の2つの尺度と学年、居住地、情報源を選択式で、各時期でのエピソードを自由記述式での回答として質問紙を構成した。

結果、新型コロナウイルス感染症に対する恐怖感情と各強迫傾向の相関関係については、3つのどの時期も正の相関を示した。また、各尺度の変化について、3つの時期にわたる各尺度の変化を検討するために反復測定分散分析を行ったところ、新型コロナウイルス恐怖尺度は有意な差が見られ、各強迫傾向については「洗浄強迫」では「初回緊急事態宣言」と「オミクロン株」の間、「デルタ株」と「オミクロン株」で、「強迫的思考」では「初回緊急事態宣言」と「オミクロン株」の間で有意な差が見られた。

以上より、新型コロナウイルス感染症に対する恐怖感情と各強迫傾向との関係性は時間が経過しても維持され、洗浄強迫は、恐怖感情が減少したことと関連し、洗浄に対する行動・意識も減少した可能性が考えられた。確認強迫・強迫的思考は、尺度の項目が新型コロナウイルス感染症対策と直接関連しない項目（「何回かチェックしないと気がすまない時がある。」、「4、13 など気になる数字がある。」等）が含まれているため、洗浄強迫と比較して、感染拡大の時期による影響を受けにくかった可能性が考えられる。また、感染拡大以降は新型コロナウイルス感染症に対する恐怖感情への耐性が出現した可能性も考えられた。

セクシュアルマイノリティと心理的支援

——今後の心理専門職の役割——

8C21110 福西 萌々果

(指導教員 清水 寛之)

本研究では、セクシュアルマイノリティの現状や問題について整理し、先行研究やすでに公表されている事例を通して心理専門職の役割と心理的支援を検討した。公認心理師の主な5つの活動分野のうち、教育分野と産業・労働分野、特に学校と職場に着目してセクシュアルマイノリティ支援に関する心理専門職の役割と今後の課題を考察する。

セクシュアルマイノリティの割合は8%~10%である。セクシュアルマイノリティはセクシュアルマジョリティよりも、メンタルヘルスが低い傾向にある。いじめや差別の被害に遭っているセクシュアルマイノリティも多くいる。しかし、カミングアウトをしている人は半数にも及ばず、カミングアウトをしていない期間が長期間にわたる傾向にある。

心理専門職は、性の多様性に関する専門教育やトレーニングを十分に受けているとは言えず、適切な支援が行えない状況にある。心理専門職のセクシュアルマイノリティに対する態度は重要である。専門的なトレーニングを受けることで、同性愛者やトランスジェンダーへの否定的な態度の減少がみられ、LGBTクライアントとの治療的関係を形成する知識とスキルの向上が報告されている。

日本には、セクシュアルマイノリティの人権を守るための法律や制度が十分でないため、学校現場や職場で、困難を抱える人が多いことが事例から明らかとなった。事例では、いじめや虐待、差別、ハラスメントに関する困難も多く挙げられていた。これらは、メンタルヘルスの問題にも深く関わっていると考えられる。法律や制度、環境が整い、多様な性の教育が浸透していくことで、差別等の問題が減少することも考えられる。そのため、メンタルヘルスの問題も改善される可能性がある。心理専門職は、現在メンタルヘルスの困難を抱えるセクシュアルマイノリティへの支援を行う立場でもある。セクシュアルマイノリティの人たちがそれぞれどのような困難を抱えているのか見極め、対応する必要がある。

セクシュアルマイノリティの正しい知識が十分でない心理専門職が多く、公認心理師の養成課程においても教育を受ける機会は多くない。心理専門職がこれまで心理支援を行ってきた要支援者の中にも、セクシュアリティに関する悩みを抱えている人がいる可能性もある。そのため、心理専門職の今後の課題として、肯定的な心理支援ができるようになる必要がある。

愛着と表情認知の関連について

8C21111 古橋 由唯

(指導教員 土井 晶子)

本調査の目的は、曖昧な表情についての認知と愛着スタイルがどのように関連するのかを明らかにすることである。金政 (2005) は、自己や他者への信念や期待として考えられる青年期の愛着スタイルが、他者の顔面表情の認知に影響を及ぼすと述べている。調査対象者を 4 つの愛着スタイル (安定型・回避型・とらわれ型・拒否型) に分類し、愛着スタイルと曖昧な表情の認知との関連について検討した。曖昧な表情に対する認知の先行研究では、対象となる表情の種類が少ないため、本調査ではより多くの情動を表す表情を対象とした。

調査は質問紙を用いてオンラインで実施した。調査対象者は、20 歳以上の大学生 140 名 (男性 50 名, 女性 89 名, その他 1 名) であり、平均年齢は 20.8 歳 ($SD=1.11$) であった。中尾・加藤 (2004) の一般他者版成人愛着スタイル尺度 (ECR-GO) および表情認知課題として、呈示された表情 (喜び・悲しみ・怒り・驚き・嫌悪・恐怖の 6 表情×2 水準 (25%・100%) に真顔を加えた計 13 シーン) を提示した。各シーンについて 6 つの情動語 (喜び・悲しみ・怒り・驚き・嫌悪・恐怖) から一つ選択させた。

ECR-GO の結果をもとに対象者を 4 つの愛着スタイル群に分類し、表情認知課題の各表情によって群による認知の違いがあるのかを検討した。クロス集計表を用い、 χ^2 検定を行った結果、いずれの 25%水準の表情においても有意な偏りは認められなかった。一方で、真顔においては、有意な偏りが認められ、真顔に対する表情の認知は愛着スタイルによって有意な差があるといえる。25%水準において、有意な偏りは認められなかったが、嫌悪や恐怖表情では誤答が多く、日常で見慣れない表情であったことが影響していたのではないかと考えられる。一方で、その他の曖昧な表情では、正答率は高かった。つまり、愛着スタイルよりも、日常生活で見慣れているかどうかの影響したと考えられる。また、どの愛着スタイルでも真顔をネガティブにみていた。これは、選択肢の中に真顔という項目がなく回答が択一式だったことや、ポジティブな情動が喜びしかなかったために、回答がネガティブな情動に偏ったのではないかと考えられる。また、喜びや驚き、怒り以外の表情は正確に認知していないということが示された。

本調査では、表情の種類が増えたことや、嫌悪と恐怖表情が識別しにくいことから、結果の解釈がかえって困難となった。また、択一式での回答を求めたが、量的な回答を求めれば、愛着スタイルと表情認知に関してより詳細に検討できた可能性がある。さらに、選択肢の中に「真顔」や「分からない」を入れなかったが、これに関して今後検討が必要であろう。

集団意思決定状況下のコントロール感及び後悔に関する検討

8C21112 水野 悠斗

(指導教員 長谷川 千洋)

我々は、日々数ある選択肢の中からその時点で最良と思われる選択を探し、意思決定を行いながら生活をしているが、意思決定が失敗に終わったとき、後悔を感じることもある。また、個人意思決定状況だけに限らず、集団として決定を導き出す、集団意思決定状況におかれることもある。これまでの研究で集団意思決定は個人意思決定に比べ、構成員のコントロール感が下がるため、意思決定失敗の際に後悔が低くなるとされている。しかしこれらの研究は構成員のコントロール感が全て同程度と想定されている。本研究では、集団意思決定においてリーダーを設定して役割を与え、集団意思決定課題遂行におけるリーダーと構成員のコントロール感と後悔を比較・検討した。仮説として、リーダーは集団討議において構成員の意見をまとめ話し合いの方向性を決め、最終的に決定の責任を負う可能性があることから、コントロール感、後悔が他の構成員より高くなると考えられる。また、集団意思決定は集団討議を行うことから、リーダーの個性が、集団討議において重要な役割を持つと予測し、コントロール感、後悔、コミュニケーションスキル (ENDCOREs) との関連についても合わせて検討した。

本研究は、大学生 60 名 (男性 30 名・女性 30 名) で 3 人 1 組を 1 集団とした 2 条件 (リーダー有り集団条件: リーダー 1 名と構成員 2 名, リーダー無し集団条件: 構成員 3 名) を対象とした。参加者は 2 つの集団のいずれかの役割にランダムに配置され、「コンビニエンスストアの商品 8 品を価格の安い順に並び替える」課題を行った。

その結果、集団条件を独立変数、コントロール感、後悔を従属変数とした 1 要因の分散分析を行ったところ、リーダーと他の構成員との間にコントロール感の差が見られたが、後悔に差は見られなかった。また、集団内のコントロール感が同程度と考えられるリーダー無し群の構成員においてコントロール感と後悔に相関が見られ、先行研究と同じ結果となった。コミュニケーションスキルに関して、コントロール感と後悔との関連は見られなかった。したがって、集団意思決定におけるコントロール感と後悔にはコミュニケーションスキルの影響は少ないことが示された。しかし、本研究において、リーダーとリーダー無し群の構成員に相関が見られず、役割によってコントロール感と後悔の関係に差がみられたことは、意図的にコントロール感を操作すると、後悔とコントロール感の関係に影響を与える可能性を示している。

仮想的有能感がオンラインゲームの利用および社会性に与える影響

8C21113 森 聡太

(指導教員 毛 新華)

近年、若者を中心としてオンラインゲームの利用が増加している。それに伴って、ゲームへの没入や依存およびゲーム内の攻撃行動がオンラインゲームの問題行動として現れている。本研究は、オンラインゲームの問題行動を引き起こす心理的要因として「仮想的有能感」を取り上げ、仮想的有能感がゲームの問題行動を増幅させ、現実場面の社会性に否定的な影響をもたらすと予測を立てた。また、ゲームの利用時間もゲームの問題行動を引き起こす要因として考えられる。先行研究では、心理的要因とゲームの利用時間の両変数を絡めて、性質の異なる利用者による利用時間の影響を明らかにすることができていなかった。そこで本研究では、このような問題点を踏まえて、RGR モデルに基づき、仮想的有能感が高い個人が、ゲームを長時間利用するほど、ゲームの問題行動が増加し、そして現実場面の社会性を低下させると予測を立てた。

オンラインゲームの利用経験がある関西圏の私立大学に通う大学生 226 名（女性 92 名、男性 129 名、その他 5 名）を対象とした。先行研究にならい、参加者を 4 つの有能感タイプ（全能型、仮想型、自尊型、萎縮型）に分類した。有能感タイプを独立変数に、ゲームでの問題行動および現実場面の社会性を従属変数とした 1 要因の分散分析を行った。そして、ゲームの利用時間からゲームの問題行動および社会性への影響に関するモデルを立てて、仮想型・非仮想型による多母集団同時分析を行った。

分散分析の結果から、「仮想型」の個人はゲームへ没入的に関与することやゲーム内で攻撃行動を行うことが示された。また、多母集団同時分析の結果から、仮想的有能感の高い個人においては、ゲームの長時間の利用により、ゲーム内での攻撃行動が増幅される。その一方で、仮想的有能感の低い個人においては、ゲームの長時間の利用が現実場面での社会性を促進することが明らかとなり、RGR モデルが裏付けられた。

このように、オンラインゲームの利用者の現実場面での社会との関わり方の背景にある心理的要因に着目する本研究は、近年のオンラインゲームの利用がもたらすゲーム依存やネットいじめなどの問題を引き起こす原因を見つけることができ、それらの問題への解決方法や予防について考える手がかりとなるだろう。今後の研究では、有能感タイプがゲームへの没入的、依存的関与に与える影響をより詳細に検討すること、オンライン上の対人関係の良好さやゲームの内容的な差異を含めたゲーム利用が現実場面の社会性に与える影響を検討すること、が望まれる。

近年、大人の発達障がいという言葉が広がったことで、発達障がいと夫婦問題について取り上げられる機会が多くなった。夫婦は家庭の維持や子育てにおいて「協働」があるべき姿の一つとなっているが、発達障がいをもつパートナーの間では「協働」が成立しない場合があり、苦しんでしまう状況がみられている。そこで注目されてきたものがカサンドラ情動剥奪障害（Cassandra Affective Deprivation Disorder 以下、CADD）である。CADD とは、様々な要因の結果、パートナーに対する共感性が低下し、思いやりのある相互的なコミュニケーションがとりにくい相手、なかでも AS のため、共感性や情緒的な反応が乏しいパートナーと暮らしている Neurotypical（以下、NT）の人が心身の障害を呈するに至った状態をいう。近年その理解の低さと AS をもつ人と結婚した NT の経験を助けるための社会的支援の少なさが問題視されてきた。CADD を生じさせる夫婦関係に影響を与える要素として、共感性の欠如が挙げられることや、AS のある人と情緒的な関係が築きにくい要因として、想像力、共感性の習得のしにくさがあるといわれていることから、CADD を理解する上で共感性はキーワードになると考えられた。そこで本研究では、文献的考察を通して、共感性という観点から CADD の症状とその発現メカニズムについて理解を深めること、CADD の臨床的支援を明確にすることを目的とした。その結果、CADD は NT 側だけでなく、AS 側にもみられること、NT 側 AS 側どちらも自分と類似性の低い相手には共感しにくいという共感のメカニズムがあること、夫婦間の共感が夫婦関係に影響すること、CADD の症状の発現に親子関係が影響していることが明らかになった。また、CADD の臨床的支援については、AS の特性の理解や CADD の症状の理解をすること、大人の発達障がいをもつ人やそのパートナーへ専門的な支援ができるような相談機関を紹介し情報提供を行うこと、共感性を高めるトレーニングを行うこと、CADD の自助グループへの参加が挙げられた。AS 特性の高い配偶者をもつパートナーの夫婦関係満足度の低さが報告されていることから、CADD の発症には夫婦関係の満足度が関係していると考えられるため、今後は CADD が生じる夫婦と生じない夫婦での夫婦関係の違いを夫婦満足度の観点から検討することが課題である。さらに、今回は夫婦の CADD に焦点を当てていたが、CADD は夫婦以外でもみられるといわれているため、夫婦以外の関係性（兄弟・友人・同僚など）において共感性の影響がどの程度あるのかを今後検討する必要があると分かった。

2022 年度 活動報告

(教育・研究・社会貢献・大学運営) (アルファベット順)

土井 晶子 (どい あきこ)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・心理学的支援法 II (臨床心理学 II)
- ・専門職心理実習 I (心理実習)
- ・心理学入門ゼミナール / 心理学入門演習 I (人文入門演習)
- ・心理学専門演習 I (専攻演習 II)
- ・心理学専門演習 II (専攻演習 III)
- ・心理学発展演習 I (専攻演習 IV)
- ・心理学発展演習 II
- ・卒業論文 (卒業論文)

[大学院]

- ・心理実践実習 B
- ・心理実践実習 I
- ・心理実践実習 II
- ・心理実践実習 III
- ・心理実践実習 IV
- ・心理学演習 III
- ・心理学演習 IV

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・臨床心理学系大学院生のスーパーバイザー

3. 学外での教育活動

- ・神戸女学院大学人間科学部 非常勤講師 (「心理行動科学文献講読」)
- ・心理学研究科大学院修了生 (公認心理師等) のスーパーバイザー (神戸学院大学大学院・関西国際大学大学院)

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・土井 晶子・森永 康子・清末 有紀 (2022). 成人における「フォーカシング的態度」と他者とのかかわり方: 自己効力感, ソーシャル・スキル, Locus

of Control の関係について 神戸学院大学心理学研究, 5, 1-6.

3. 学会・研究会発表

- ・Doi, A., Morinaga, Y., Kiyosue, Y. & Fukudome, K. (2022). How the Focusing Attitudes Help You to Handle Work-Family Conflicts for Your Happier Life, *Poster presented at the 15th World Conference for Person-Centred & Experiential Psychotherapy & Counseling, Copenhagen*. (7月4日～8日 online)
- ・高松 里・井内 かおる・土井 晶子・本多 晶子・川崎 佐加恵・本山 智敬・永野 浩二・高橋 智子・田代 順・辰巳 朋子 (2022). 多声的環境による「経験の言語化」の試み、日本人間性心理学会第 41 回大会 (口頭発表) (9月11日 オンライン開催)
- ・土井 晶子 (座長) (2022). 初心セラピストと円熟セラピストの自己開示体験と職業的発達の異同に関する研究 (発表者: 草間 章大) 日本人間性心理学会第 41 回大会 (口頭発表) (9月11日 オンライン開催)
- ・野崎 光紀・土井 晶子 (2022). 日常的フォーカシング態度と主張性及びバーンアウト, ワークエンゲイジメントとの関連: 仕事の要求度・資源モデルに基づいた検討 日本心理臨床学会第 41 回大会 (ポスター発表) (9月2日～25日 オンライン開催)

4. その他

- ・陸上自衛隊姫路駐屯地 非常勤カウンセラー
- ・(独)大阪産業保健総合支援センター 産業保健相談員

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「中小企業で有効なメンタルヘルス支援プログラムの開発」 (研究代表者: 松島 由美子, 2021～2023 年度)

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・Scientific Committee member for PCE2022

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・「人生を身軽にするセルフケア やめる・手放すを考える」(大阪産業保健総合支援センター主催 5月12日 大阪産業保健総合支援センターにて)
- ・「共感を是認: 認めて励ますコミュニケーション」(大阪産業保健総合支援センター主催 6月16日、7月7日、8月8日、8月25日 大阪産業保健総合支援センターにて)
- ・神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンターフォーラム 「ゲーム依存・ギャンブル依存・物質使用障害の現状と理解」司会 (8月6日 オンライン開催)
- ・「健康な職場づくりのためのコミュニケーションのコツ」(連合大阪労働安全衛生委員会主催、11月17日 大阪赤十字会館にて)
- ・「人生を身軽にするセルフケア」(大阪府社会保険協会主催 11月28日 大阪府社会福祉会館にて)
- ・「セルフコンパッションで自分をいたわる」(大阪産業保健総合支援センター主催 11月24日、3月2日 大阪産業保健総合支援センターにて)
- ・「人生を身軽にするセルフケア」(陸上貨物運送事業労働災害防止協会大阪支部主催 1月24日 武藤記念大ホールにて)
- ・「仕事と人生とフォーカシング」(甲子園カウンセリング研究所主催 1月28日 甲子園カウンセリング研究所にて)
- ・「セルフコンパッションで自分をいたわる」(大阪産業保健総合支援センター主催 2月24日 オンライン開催)

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読
- ・『人間性心理学研究』論文査読

【大学運営】

1. 学内委員

- ・心理臨床カウンセリングセンター長

2. 学部内委員

- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・心理臨床カウンセリングセンター運営委員

3. その他

なし

道城 裕貴 (どうじょう ゆき)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・教育心理学 (資格)
- ・発達心理学特論Ⅱ
- ・心理学入門実習Ⅲ (発達心理学入門実習)
- ・専門職心理演習Ⅰ (心理演習)
- ・専門職心理演習Ⅱ (心理演習)
- ・心理学基礎演習Ⅰ (人間心理学基礎演習)
- ・心理学基礎演習Ⅱ (専攻演習Ⅰ)
- ・心理学発展演習Ⅰ (専攻演習Ⅳ)
- ・心理学発展演習Ⅱ
- ・卒業論文 (卒業論文)
- ・教育実習事前・事後指導 (教育実習事前・事後指導)

[大学院]

- ・教育分野に関する理論と支援の展開
- ・心理実践実習 A
- ・心理実践実習 B
- ・心理学演習Ⅰ
- ・心理学演習Ⅱ

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・難波 愛・道城 裕貴・清水 寛之・村井 佳比子・岡野 太郎・中村 敏 (2022). 地域子育て支援拠点事業の利用状況に関する全国 Web 調査報告——大学施設利用を中心に—— 神戸学院大学心理学研究, 5, 53-61.

3. 学会・研究会発表

- ・道城 裕貴 (2022). 師の教えを刻んで～行動分析学を基にした臨床スキルの継承～ 日本行動分析学会創立40周年記念シンポジウム (10月2日 アジア太平洋インポートマートにて)

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・神戸市校区調整審議会委員
- ・神戸市教育委員会 巡回相談員
- ・明石市教育委員会 巡回指導員

2. 講演など

なし

3. セミナー・研修会等の講師など

- ・神戸市立保育所 所長研修 講師（神戸市立保育所長会主催 1月17日 中央区文化センターにて）
- ・明石市こども局子育て支援室 母子発達支援事業研修会 講師（明石市こども局子育て支援室主催 1月30日 ハピネスあかし6階こども健康センター）
- ・神戸学院大学附属高等学校 教員研修 講師（3月1日 附属高校にて）

4. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

5. その他

なし

【大学運営】

1. 学内委員

- ・学生委員
- ・教職教育センター委員
- ・教職課程小委員

2. 学部内委員

- ・卒論委員
- ・教育・研究委員
- ・学部内自己点検評価委員
- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員

3. その他

なし

長谷川 千洋（はせがわ ちひろ）

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・心理学概論
- ・神経心理学（神経・生理心理学）（神経心理学）
- ・医療心理学特論 I
- ・心理学入門ゼミナール / 心理学入門演習 I（人文入門演習）
- ・心理学発展演習 I（専攻演習 IV）
- ・心理学発展演習 II
- ・卒業論文（卒業論文）
- ・専門職心理演習 I（心理演習）
- ・専門職心理演習 II（心理演習）
- ・多職種連携実践 D

[大学院]

- ・心理実践実習 A
- ・心理実践実習 B
- ・心理実践実習 C
- ・心理実践実習 D
- ・心理学演習 III
- ・心理学演習 IV

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・大学院進学希望者のための英語論文講読会

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・長谷川 千洋（2022）. 臨床神経心理士：学会認定資格取得のお勧め——公認心理師の立場から——高次脳機能研究, 42, 182-186.

3. 学会・研究会発表

- ・齋藤 朋子・長谷川 千洋・博野 信次・遠藤 卓行（2022）. パーキンソン病における高照度光療法による認知および運動機能の変化.（日本神経心理学学会第46回大会（9月9日 札幌市教育文化会館オンライン発表）

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本神経心理学会 評議員
- ・日本高次脳機能障害学会 代議員
- ・臨床神経心理士資格認定・カリキュラム委員

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・令和4年度「記憶障害の理解と支援」(兵庫県言語聴覚士全体研修会主催 10月2日 公益財団法人神戸医療産業都市気候医療イノベーション推進センターにて)

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読

【大学運営】

1. 学内委員

- ・内部質保証推進委員
- ・評議員
- ・大学院委員
- ・研究助成金審査委員
- ・賞罰委員
- ・省エネルギー推進委員

2. 学部内委員

- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・心理臨床カウンセリングセンター運営委員
- ・研究科実習運営委員

3. その他

なし

博野 信次 (ひろの のぶつぐ)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・人体の構造と機能(人体の構造と機能及び疾病)(医学概論)

- ・生理心理学(神経・生理心理学)
- ・行動神経学(行動神経学)
- ・高齢者心理学(高齢者心理学)
- ・心理学基礎実験実習Ⅰ(心理学実験)
- ・心理学基礎実験実習Ⅱ(心理学実験)
- ・専門職心理実習Ⅰ(心理実習)
- ・専門職心理実習Ⅱ(心理実習)
- ・専門職心理演習Ⅲ(心理演習)

[大学院]

- ・心理実践実習Ⅲ
- ・心理実践実習Ⅳ

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

なし

3. 学会・研究会発表

- ・斎藤 朋子・長谷川 千洋・博野 信次・遠藤 卓行(2022). パーキンソン病における長期高照度光療法法の認知機能に対する効果について 日本神経心理学会学術集会第46回大会(9月9日 札幌市教育文化会館 オンライン発表)

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

なし

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

なし

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

なし

【大学運営】

1. 学内委員

なし

2. 学部内委員

・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理
審査委員会委員長

3. その他

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

なし

3. 学会・研究会発表

なし

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

石崎 淳一 (いしざき じゅんいち)

【教育活動】

1. 担当科目

【学部】

- ・公認心理師の職責 / 心理専門職入門（公認心理師の職責）
- ・心理学入門実習 A / 心理学入門実習 I（人間心理学入門実習 I）
- ・専門職心理実習 I（心理実習）
- ・心理学基礎演習 I（人間心理学基礎演習）
- ・心理学基礎演習 II（専攻演習 I）
- ・心理学専門演習 I（専攻演習 II）
- ・心理学専門演習 II（専攻演習 III）

【大学院】

- ・家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
- ・心理実践実習 I
- ・心理実践実習 II
- ・心理実践実習 A
- ・心理実践実習 B
- ・心理実践実習 C
- ・心理学演習 I
- ・心理学演習 II

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・神戸学院大学美術部鷗風會・顧問
- ・人間文化科学研究科心理学専攻臨床心理学系修了生（公認心理師等）のスーパービジョン

3. 学外での教育活動

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・平和政策研究所理事

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・「トランスジェンダーの理解と支援—臨床心理学の立場から」（トランスジェンダーの現状等を考える県民フォーラム パネラー 4月29日 熊本県青年会館にて online）
- ・「“子育て”支援のための地域連携—専門家・学校・行政の協力で家庭を守る」（ひょうご平和政策学術フォーラム コメンテーター 6月18日 神戸市教育会館にて）
- ・「コミュニケーション演習」（神戸市シルバーカレッジ 健康福祉 / ライフ 講師 9月12日 シルバーカレッジにて）

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・明石市教育委員会（2022年度）明石市特別支援教育巡回指導員
- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読
- ・山上 榮子, 赤堀 富子, 陶山 和美らとアートセラピー等に関する研究会を実施した。

【大学運営】

1. 学内委員

- ・入試総務委員長
- ・研究助成金審査委員

2. 学部内委員

- ・心理臨床カウンセリングセンター運営委員
- ・学部・研究科実習運営委員
- ・大学院実習マニュアル委員
- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・国家試験対策委員

3. その他

なし

河瀬 諭 (かわせ さとし)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・心理調査概論
- ・行動科学概論
- ・心理学基礎実験実習Ⅰ（心理学実験）（心理学基礎実験実習）
- ・心理学専門実習Ⅰ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅰ）
- ・心理学専門実習Ⅱ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅱ）
- ・心理学発展演習Ⅰ（専攻演習Ⅳ）
- ・心理学発展演習Ⅱ
- ・卒業論文（卒業論文）

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

- ・相愛大学音楽学部 非常勤講師（「音楽心理学」）

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・Fukuie, T., Suwabe, K., Kawase, S., Shimizu, T., Ochi, G., Kuwamizu, R., Sakairi, Y., & Soya, H. (2022). Groove rhythm stimulates prefrontal cortex function in groove enjoyers. *Scientific reports*, 12(1), 1-14. <https://doi.org/10.1038/s41598-022-11324-3>
- ・Akagi, F., Ichinose, T., Takehara, N., Masuko, T., & Kawase, S. (2022). A time series analysis of group cohesion, group flow, and mood changes that occur throughout quasi-therapeutic singing sessions. *PsyArXiv*.

<https://doi.org/10.31234/osf.io/83jwg>

- ・Kawase, S., & Kanazawa, T. (2022). Collective creativity in ensemble music performance: A comparison of professional human performances and multi-agent performances. *PsyArXiv*. <https://doi.org/10.31234/osf.io/mhsz9>

3. 学会・研究会発表

- ・河瀬 諭 (2022). 音楽のグルーブ再考 電子情報通信学会技術研究報告, 122, 108-111.
- ・河瀬 諭 (2023). 演奏者どうしのコミュニケーション 日本心理学会音楽心理学研究会

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費補助金 基盤研究 (C)「音楽と身体運動の結びつきにおける個人差をもたらす要因」(研究代表者:河瀬 諭, 2020 ~ 2022 年度)

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本音楽知覚認知学会 編集委員
- ・電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 専門委員
- ・Psychomusicology: Music, Mind, and Brain 査読
- ・The Seventeenth International Conference on Knowledge, Information, and Creativity Support Systems. Program Committee
- ・17th International Conference on Music Perception and Cognition 査読

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・「音楽で楽しく過ごす心理学」(日本心理学会 認定心理士の会 公開シンポジウム「心地よい休み方の心理学」 8月7日 オンライン開催)
- ・「音楽で動かす心と身体」(はりま産学交流会 10月創造例会 10月21日 ハイブリッド開催)

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

- ・「グルーブの研究を通して健康づくりや医療に音楽を役立てる」(朝日新聞(大阪本社版朝刊) 9月24日, 神戸新聞 9月25日)
- ・「音楽を聴き音楽を生み出す 人間の営みの不思議さを解明する」(神戸学院大学学報 .net 9月)

4. その他

- ・テレビ朝日「ハマスカ放送部」
- ・宝島社「答えられないと叱られる!? チコちゃんの

- 素朴なギモン 365」
・模擬授業「音と音楽の心理学」(2月28日 浪速
高等学校にて)

【大学運営】

1. 学内委員
・『神戸学院大学心理学研究』編集委員
2. 学部内委員
なし
3. その他
なし

小久保 香江 (こくぼ かえ)

【教育活動】

1. 担当科目
[学部]
・心理検査法Ⅰ(心理的アセスメント)(心理検査法)
・多職種連携実践 A
・心理学基礎実験実習Ⅱ(心理学実験)(心理学基礎
実験実習Ⅱ)
・専門職心理実習Ⅱ(心理実習)
・心理学入門実習Ⅴ(医療心理学入門実習)
・心理学発展演習Ⅰ(専攻演習Ⅳ)
・心理学発展演習Ⅱ
・卒業論文(卒業論文)
・専門職心理演習Ⅲ(心理演習)
[大学院]
・心理的アセスメントに関する理論と実践
・心理実践実習 C
・心理学演習Ⅰ
・心理学演習Ⅱ
2. 大学内でのその他の教育活動
なし
3. 学外での教育活動
・森之宮病院 診療部 公認心理師

【研究活動】

1. 著書
なし
2. 論文
なし

3. 学会・研究会発表

なし

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など
なし
2. 講演・セミナー・研修会等の講師など
なし
3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など
なし
4. その他
なし

【大学運営】

1. 学内委員
・心理学研究科長
・総合企画会議委員
・大学院委員会委員
・危機管理委員会委員
・全学研究推進委員会委員
・全学教育推進機構会議委員
2. 学部内委員
・教育・研究委員
・学部内自己点検評価委員
・心理臨床カウンセリングセンター運営委員
・実習運営委員会委員
3. その他
なし

小山 正 (こやま ただし)

【教育活動】

1. 担当科目
[学部]
・言語心理学(学習・言語心理学)

- ・特別支援教育概論／発達障害学（発達障害学Ⅱ）
- ・心理学入門ゼミナール（心理学入門演習Ⅰ）（人文入門演習）
- ・心理学基礎演習Ⅰ（人間心理学基礎演習）
- ・心理学基礎演習Ⅱ（専攻演習Ⅰ）
- ・心理学発展演習Ⅰ（専攻演習Ⅳ）
- ・心理学発展演習Ⅱ
- ・卒業論文（卒業論文）

【大学院】

- ・福祉分野に関する理論と支援の展開
- ・心理学演習Ⅲ
- ・心理学演習Ⅳ

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

- ・甲南女子大学大学院人文科学総合研究科心理教育学専攻 非常勤講師（「言語発達心理学特論」）

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・ Koyama, T. (2022). Current research on individual differences in early expressive word acquisition. *Journal of Special Education Research*, 11, 11–21.
- ・ 小山 正 (2022). 知的発達症をもつ子どもの表出語彙獲得と家庭での認知・遊びの発達との関連 音声言語医学, 63, 171–182.

3. 学会・研究会発表

- ・ 小山 正 (2022). 初期表出語彙獲得過程に見られるスピードアップと日常生活における認知・遊びの発達 日本音声言語医学会第67回総会・学術講演会 11月24日 ホテルオークラ京都にて

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本臨床発達心理士会 『臨床発達心理実践研究誌』編集委員

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・新版K式発達検査中級講習会講師
- ・「乳幼児期から成人の心理発達の過程と検査・発達障害の特性について」保健師等業務研修会講師（京都市伏見区役所 保健福祉センターにて）

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

なし

【大学運営】

1. 学内委員

- ・学部長
- ・評議員
- ・自己点検評価委員
- ・大学院委員会委員

2. 学部内委員

- ・広報活動委員
- ・教育・研究委員

3. その他

なし

松島 由美子（まつしま ゆみこ）

【教育活動】

1. 担当科目

【学部】

- ・心理学特論Ⅳ（社会心理学特論Ⅱ）
- ・心理学基礎実験実習Ⅱ（心理学実験）（心理学基礎実験実習Ⅱ）
- ・社会の中の心理学Ⅰ
- ・社会の中の心理学Ⅱ / 心理学入門演習Ⅱ（人間心理学入門演習）
- ・心理学入門ゼミナール / 心理学入門演習Ⅰ（人文入門演習）
- ・心理学発展演習Ⅰ（専攻演習Ⅳ）
- ・心理学発展演習Ⅱ
- ・卒業論文（卒業論文）

【大学院】

なし

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動
なし

【研究活動】

1. 著書
なし

2. 論文
なし

3. 学会・研究会発表
なし

4. その他
なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「中小企業で有効なメンタルヘルス支援プログラムの開発」(研究代表者: 松島由美子, 2021 ~ 2023 年度)

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本産業ストレス学会 理事

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など
なし

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など
なし

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読

【大学運営】

1. 学内委員
なし

2. 学部内委員
・就職委員

3. その他

- ・学術講演会担当
- ・オープンキャンパス担当

道重 さおり (みちしげ さおり)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・心理学基礎実験実習 I (心理学実験) (心理学基礎実験実習 I)
- ・心理学入門実習 D / 心理学入門実習 IV (社会心理学入門実習)
- ・心理学概論 (資格) (心理学概論 (資格)) (心理学概論)
- ・心理調査概論
- ・心理学基礎実験実習 II (心理学実験) (心理学基礎実験実習 II)
- ・健康・医療心理学 I (健康) / 健康心理学 (健康・医療心理学) (医療心理学 II)
- ・心理学入門実習 C / 心理学入門実習 IV (人間心理学入門実習 II)

[大学院]

なし

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・兵庫県立神戸北高等学校 3 年総合的な探求の時間 発表会講師

3. 学外での教育活動

- ・松山刑務所薬物依存離脱指導スーパーバイザー
- ・松山刑務所アルコール依存回復プログラムスーパーバイザー

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・喜多村 真紀・大宮 宗一郎・道重 さおり・森田 展彰 (2023). 更生保護施設における女性の薬物関連問題に対する回復支援と「安全」の関連について 日本アルコール・アディクション医学会雑誌, 57 (6) (2022 年 12 月受理)
- ・道重 さおり (2023). 薬物依存の理解と支援～ダメゼッタイはだめゼッタイ～ 神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンター紀要, 印刷中.

3. 学会・研究会発表

- ・道重 さおり・大宮 宗一郎・有野 雄大・受田 恵理・菊地 創・森田 展彰 (2022). 薬物依存支援に関する地域連携のあり方に関する意見交換会の実践～更生保護施設入所者への支援に関する連携を中心に～ 日本犯罪心理学会第 60 回大会 (9 月 3 日)

名古屋大学にて)

- ・森田 展彰・川井田 恭子・渡邊 敦子・大宮 宗一郎・新井 清美・受田 恵理・道重 さおり・山田 理絵・望月 明見・有野 雄大・菊地 創・井ノ口 恵子・喜多村 真紀 (2022). 更生保護施設を利用する薬物事犯者の回復における刑の一部執行猶予制度の影響 2022 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 (9 月 9 日 仙台国際センターハイブリット開催)

4. その他

- ・厚生労働省依存に関する調査研究事業 (令和 4 年度) における分担研究「更生保護施設における薬物依存症者支援の課題と地域連携体制のあり方に関する研究」更生保護施設利用者用パンフレット作成 (研究責任者: 森田 展彰, 制作班: 有野 雄大・受田 恵理・大宮 宗一郎・菊地 創・喜多村 真紀・福島 忍・道重 さおり・山田 理絵・渡邊 敦子)
- ・厚生労働省依存に関する調査研究事業 (令和 4 年度) における分担研究「更生保護施設における薬物依存症者支援の課題と地域連携体制のあり方に関する研究」令和 4 年度薬物依存者の回復支援における地域連携に関する意見交換会の実施 (研究責任者: 森田 展彰, 実施班: 新井 清美・有野 雄大・受田 恵理・大宮 宗一郎・川井田 恭子・菊地 創・喜多村 真紀・福島 忍・道重 さおり・山田 理絵・渡邊 敦子)

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・2022 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会優秀演題賞 発表代表者: 森田 展彰, 共同発表者: 川井田 恭子・渡邊 敦子・大宮 宗一郎・新井 清美・受田 恵理・道重 さおり・山田 理絵・望月 明見・有野 雄大・菊地 創・井ノ口 恵子・喜多村 真紀

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など
なし
2. 講演・セミナー・研修会等の講師など
なし
3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など
なし
4. その他
なし

【大学運営】

1. 学内委員
なし
2. 学部内委員
・『神戸学院大学心理学研究』編集委員
3. その他
なし

三和 千徳 (みわ ちとく)

【教育活動】

1. 担当科目
[学部]
 - ・精神疾患とその治療 (精神病理学 I)
 - ・心理学的支援法 I (精神病理学 II)
 - ・専門職心理実習 I (心理実習)
 - ・専門職心理実習 II (心理実習)[大学院]
 - ・保健医療分野に関する理論と支援の展開
 - ・心理実践実習 III
 - ・心理実践実習 IV
 - ・心理実践実習 D

2. 大学内でのその他の教育活動
 - ・心理学研究科大学院生のスーパーバイザー

3. 学外での教育活動
なし

【研究活動】

1. 著書
なし
2. 論文
なし
3. 学会・研究会発表
なし
4. その他
なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

なし

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

・「こころの病を知る—精神医学入門—」（神戸学院大学高大連携授業 2022 年 6 月 1 日 兵庫県立明石南高等学校にて）

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

・みわ心療クリニック 院長
・神戸精神分析研究所 監事
・NPO 法人コミュニティーカウンセリング協会 理事

【大学運営】

1. 学内委員

なし

2. 学部内委員

・心理臨床カウンセリングセンター運営委員

3. その他

なし

毛 新華 (もう しんか)

【教育活動】

1. 担当科目

【学部】

・対人心理学（対人心理学Ⅰ）
・心理学専門実習Ⅰ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅰ）
・心理学専門実習Ⅱ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅱ）
・心理学基礎演習Ⅰ（人間心理学基礎演習）
・心理学基礎演習Ⅱ（専攻演習Ⅰ）
・心理学専門演習Ⅰ（専攻演習Ⅱ）
・心理学専門演習Ⅱ（専攻演習Ⅲ）
・卒業論文（前期卒業対応）
・社会の中の心理学Ⅰ
・社会の中の心理学Ⅱ / 心理学入門演習Ⅱ（人間心理学入門演習）

【大学院】

・心理学演習Ⅰ
・心理学演習Ⅱ
・心理学演習Ⅲ
・心理学演習Ⅳ

2. 大学内でのその他の教育活動

・高大連携部派遣
兵庫県立伊川谷高等学校 R4 年度異文化交流授業講師（9 月 13 日）
追手門学院大手前高校模擬授業 講師（10 月 25 日）

3. 学外での教育活動

・大阪公立大学生生活科学部 非常勤講師（「心理学統計法」）

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

・毛 新華・木村 昌紀（2022）. 中国人留学生を対象とした日本文化的社会的スキル・トレーニングの効果 神戸学院大学心理学研究, 5, 39-52.

3. 学会・研究会発表

・毛 新華（2022）. 日本心理学会大会企画シンポジウム（IS-002 一般公開）：日本に来て研究する意義を再考する 企画：毛 新華・佐藤 徹男・山本 真也・家島 明彦 司会：毛 新華 話題提供者：山本 真也・三浦 麻子・温 若寒 指定討論者：佐藤 徹男・家島 明彦 日本心理学会第 86 回大会（9 月 8～11 日 日本大学にて 対面・ライブ）
・森 聡太・毛 新華・長谷 和久（2022）. 仮想的有能感がオンラインゲームの利用および社会性に与える影響——利用時間の影響を考慮して—— 日本パーソナリティ心理学会第 31 回大会（12 月 3～4 日 沖縄県市町村自治会館にて）

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

・科学研究費補助金 基盤研究（C）「中国の在留邦人の文化適応支援に関する心理学的研究（研究代表者：毛 新華, 2021～2024 年度）
・科学研究費補助金 基盤研究（C）「日本人と中国人の異文化コミュニケーションに関する実験社会心理学的研究」（研究代表者：木村 昌紀, 2016～2022 年度）

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本心理学会 国際委員
- ・関西心理学会 常任委員
- ・「日中韓三カ国国際会議」2022年中国シンポジウム日本側担当
- ・阪南大学留学生 OB・OG 会会長

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

なし

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読

【大学運営】

1. 学内委員

- ・教務委員（学部担当・研究科担当）
- ・共通教育等運営委員
- ・生涯学習委員
- ・学部 FD 部会委員
- ・カリキュラム・アセスメント・チェックリスト委員

2. 学部内委員

- ・学部内自己点検評価委員
- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・教育・研究委員会委員

3. その他

- ・心理学部広報グループメンバー（特別重点広報、ホームページ、学部パンフレット、大学院パンフレット）

村井 佳比子（むらい けいこ）

【教育活動】

1. 担当科目

【学部】

- ・臨床心理学特論Ⅱ
- ・専門職心理演習Ⅰ（心理演習）
- ・専門職心理演習Ⅱ（心理演習）
- ・心理学入門ゼミナール/心理学入門演習Ⅰ（人文入門演習）

- ・心理学基礎演習Ⅰ（人間心理学基礎演習）
- ・心理学基礎演習Ⅱ（専攻演習Ⅰ）
- ・心理学専門演習Ⅰ（専攻演習Ⅱ）
- ・心理学専門演習Ⅱ（専攻演習Ⅲ）
- ・専門職心理実習Ⅰ（心理実習）
- ・専門職心理実習Ⅱ（心理実習）

【大学院】

- ・心理実践実習Ⅳ
- ・心理学演習Ⅲ
- ・心理学演習Ⅳ

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・臨床心理学系大学院生のスーパーバイザー

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・難波 愛・道城 裕貴・清水 寛之・村井 佳比子・岡野 太郎・中村 敏（2022）. 地域子育て支援拠点事業の利用状況に関する全国 Web 調査報告——大学施設利用を中心に—— 神戸学院大学心理学研究, 5, 53-61.
- ・佐野 春菜・村井 佳比子（2022）. 青年期におけるひきこもり親和性とレジリエンスの関連 神戸学院大学心理学研究, 5, 31-37.
- ・佐野 春菜・梅村 萌乃・小倉 諒・古橋 由唯・水野 悠斗・森 聡太・吉田 春緋・村井 佳比子（2023）. 心理専門職養成課程における大学院生の面接技術トレーニング——「複雑な聞き返し」集中トレーニングの効果——心理臨床カウンセリングセンター紀要, 印刷中.

3. 学会・研究会発表

なし

4. その他

- ・村井 佳比子（2022）. 動機づけ面接の機能と作用機序 精神療法, 48, 531-536.

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費補助金 若手研究「セラピストの面接技術がクライアントの行動変化をもたらすメカニズムの実験的検討」（研究代表者：村井 佳比子, 2020～2022年度）
- ・科学研究費補助金 基盤研究（C）「中小企業で有効

なメンタルヘルス支援プログラムの開発」(研究代表者:松島 由美子, 2021 ~ 2023 年度)

- ・心理学部社会貢献・地域連携プロジェクト助成金「大学が運営する地域子育て支援拠点の意義と課題に関する心理的研究 - 神戸学院大学心理学部子育てサロン「まなびー」を対象として -」(研究代表者:村井 佳比子, 2022 年度)

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本行動分析学会 理事
- ・日本動機づけ面接協会 理事

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・研修会「精神疾患を有する相談者への支援」(一般財団法人明石コミュニティ創造協会主催 8月31日 ウィズ明石にて)
- ・講演「おもしろそうの心理学」(9月7日 西宮市にて)
- ・公開講座「手軽に健康改革:『じぶん実験』してみませんか?」(神戸学院大学主催 12月18日 三ノ宮サテライトにて)

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読

【大学運営】

1. 学内委員

- ・入学センター委員

2. 学部内委員

- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・心理臨床カウンセリングセンター運営委員
- ・実習運営委員

3. その他

なし

長谷 和久 (ながや かずひさ)

【教育活動】

1. 担当科目

【学部】

- ・心理学統計法 I / 心理統計法入門 (心理学統計法) (心理統計基礎)
- ・心理統計法 (心理学統計法) (心理統計法)
- ・消費者心理学 (消費者心理学)
- ・健康科学入門① (共通教育)
- ・健康科学入門② (共通教育)
- ・健康科学入門③ (共通教育)
- ・心理学入門実習 D / 心理学入門実習 VI (社会心理学入門実習)
- ・心理学専門実習 I (発達・臨床・医療・社会心理学実習 I)
- ・心理学専門実習 II (発達・臨床・医療・社会心理学実習 II)
- ・心理学入門ゼミナール / 心理学入門演習 I (人文入門演習)
- ・心理学発展演習 I (専攻演習 IV)
- ・心理学発展演習 II
- ・心理学基礎演習 II (専攻演習 I)
- ・卒業論文 (卒業論文)

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・神戸学院大学 ボクシング部 顧問

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・長谷 和久 (2023). 食品ハザードの評価次元の検討: 人工性の評価に着目して, 心理学研究, 94, 印刷中.
- ・Nagaya, K., & Shimizu, H. (2023). Effects of graphical presentation of benefits on cognitive judgments induced by affect heuristic: Focusing on the acceptance of genetically modified foods. *Appetite*, 182, 106450. <http://doi.org/10.1016/j.appet.2023.106450>

3. 学会

- ・長谷 和久 (2022). 客観的な情報を反映したりリスク認知と関連する要因: ニューメラシーと数字情報への焦点化の個人差に着目して, 日本社会心理学会第 63 回大会 (9月15日 京都橘大学にて)
- ・長谷 和久・清水 寛之 (2022). 感情ヒューリス

ティック判断における便益情報の図的提示の効果：
遺伝子組み換え食品の受容に着目して，日本リス
ク学会第35回年次大会(11月12日 京都大学にて)

- ・長谷 和久 (2022). 地震の発生予測における低確
率事象の生起がもたらす信頼の維持・変化：認
知欲求の個人差に着目した検討，日本パーソナ
リティ心理学会第31回大会 (12月4日 沖縄県市
町村自治会館にて)
- ・森 聡太・毛 新華・長谷 和久 (2022). 仮想的有能
感がオンラインゲームの利用および社会性に与え
る影響：利用時間の影響を考慮して，日本パー
ソナリティ心理学会第31回大会 (12月4日 沖縄
県市町村自治会館にて)

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費助成事業（若手研究），リスク情報に
対する感応度の個人差の分析：個人に適した情報
の提示手法を見据えて 研究代表者：長谷 和久，
2021～2024年度
- ・日本リスク学会次大会 優秀発表賞(口頭発表部門)，
感情ヒューリスティック判断における便益情報の
図的提示の効果：遺伝子組み換え品種の受容に着
目して

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・『Psychologia』論文査読
- ・『心理学研究』論文査読

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

なし

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・神戸学院大学 第5回三学部合同研究発表会 招
待講演 (2023年2月28日)

【大学運営】

1. 学内委員

- ・衛生委員

2. 学部内委員

- ・『神戸学院大学心理学研究』編集委員

3. その他

- ・学術講演会担当
- ・認定心理士係

中川 裕美 (なかがわ ひろみ)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・産業・組織心理学 (広告心理学)
- ・心理学基礎実験実習Ⅰ (心理学実験) (心理学基礎
実験実習Ⅰ)
- ・心理学基礎実験実習Ⅱ (心理学実験) (心理学基礎
実験実習Ⅱ)
- ・専門職心理演習Ⅰ (心理演習)
- ・専門職心理演習Ⅱ (心理演習)
- ・心理学専門演習Ⅰ (専攻演習Ⅱ)
- ・心理学専門演習Ⅱ (専攻演習Ⅲ)
- ・心理学発展演習Ⅰ (専攻演習Ⅳ)
- ・心理学発展演習Ⅱ
- ・卒業論文 (卒業論文)

[大学院]

- ・産業・労働分野に関する理論と支援の展開
- ・心理実践実習Ⅲ
- ・心理実践実習Ⅳ
- ・心理学演習Ⅰ
- ・心理学演習Ⅱ

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

- ・中川 裕美 (2022). キャリア・カウンセリング エッ
センシャルズ 400. 日本キャリアカウンセリング学
会 (監修) Ⅲカウンセリングの理論と方法【認知
行動療法】. 197-199. 金剛出版.

2. 論文

- ・佐江 徹・中川 裕美 (2022). マインドフルネスお
よびセルフ・コンパッションがストレス反応に与
える影響 神戸学院大学心理学研究, 5, 23-33.

3. 学会・研究会発表

なし

4. その他
なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費補助金 若手研究 うつ病休職者に対するワーク・ライフ・バランス支援プログラムの開発（研究代表者：中川 裕美 2019~2022 年度）
- ・科学研究費補助金 基盤研究（C）中小企業で有効なメンタルヘルス支援プログラムの開発（研究代表者：松島由美子 2021~2023 年度）

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・『マインドフルネス研究』 論文査読
- ・『健康心理学研究』 論文査読

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

なし

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 カウンセリングルーム 公認心理師／臨床心理士
- ・『神戸学院大学心理学研究』 論文査読

【大学運営】

1. 学内委員

- ・教務委員（研究科・学部担当）
- ・研究科自己点検評価委員
- ・カリキュラム・アセスメント・チェックリスト
- ・大学院 FD 部会

2. 学部内委員

- ・教育・研究委員
- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・心理臨床カウンセリングセンター運営委員

3. その他

- ・大学院実習マニュアル委員

難波 愛（なんば あい）

【教育活動】

1. 担当科目

【学部】

- ・心理検査法Ⅱ（心理的アセスメント）
- ・学校心理学（教育・学校心理学）（学校心理学（資格））（学校心理学）
- ・教育相談（資格）
- ・専門職心理演習Ⅰ（心理演習）
- ・専門職心理演習Ⅱ（心理演習）
- ・心理学基礎演習Ⅰ（人間心理学基礎演習）
- ・心理学基礎演習Ⅱ（専攻演習Ⅰ）
- ・心理学発展演習Ⅰ（専攻演習Ⅳ）
- ・心理学発展演習Ⅱ
- ・卒業論文（卒業論文）
- ・多職種連携実践 B

【大学院】

- ・心理支援に関する理論と実践
- ・心理学演習Ⅰ
- ・心理学演習Ⅱ
- ・心理実践実習 A
- ・心理実践実習 B

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

- ・京都文教大学臨床心理学部 非常勤講師（「コミュニティ心理学」）
- ・本学修了生との学校臨床に関する勉強会（オンライン, 2022 年 5 月 14 日, 6 月 11 日, 7 月 9 日, 8 月 7 日, 9 月 10 日, 10 月 8 日, 11 月 12 日, 2023 年 1 月 14 日, 2 月 11 日）

【研究活動】

1. 著書

- ・難波 愛（2022）. ユング心理学とその臨床. 塩崎尚美（返書）, 実践に役立つ臨床心理学 第 4 版第 4 章. 北樹出版.

2. 論文

- ・難波 愛（2022）. 書評『絵本がひらく心理臨床の世界』（前川あさ美・田中健夫著）. 遊戯療法学研究, 21, 101-102.
- ・難波 愛・道城 裕貴・清水 寛之・村井 佳比子・岡野 太郎・中村 敏（2022）. 地域子育て支援拠点事業の利用状況に関する全国 Web 調査報告－大学施設利用を中心に－ 神戸学院大学心理学研究, 5, 53-61.

- ・難波 愛・浅見 静香・林 昌範・三木 詩織 (2022). 高等学校におけるスクールカウンセラーの実際と課題 神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンター紀要 (印刷中)

3. 学会・研究会発表

- ・発表者：松井 幸太 指定討論：安島 知子 司会：難波 愛 (2022). 「家族を大切にしたい小6男児との遊戯療法学家庭」日本遊戯療法学会第27回大会 (7月16日, 17日 新潟大学にて)
- ・AJAJグループスーパーヴィジョンでのケース発表 (2022年5月7日, 8月6日, 2023年1月21日)

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本遊戯療法学会 編集委員
- ・『遊戯療法学研究』論文査読
- ・『心理臨床学研究』論文査読

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・「高校生のメンタル不調の理解と対応ー学校のできる支援とはー」(加古川西高等学校主催 8月31日 加古川西高等学校同窓会館にて)
- ・「心の健康ーストレスマネジメントについてー」(兵庫県立芦屋高等学校 11月17日 芦屋高校格枝場にて)
- ・「話して良かった!と思ってもらえる子どもの話の聴き方」(神戸新聞主催 8月20日 神戸新聞社にて)

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

- ・「子どもイイミミ開局 夏休みの思い出続々」(『神戸新聞』8月22日新聞朝刊)
- ・「コロナ禍の学校 日常を取り戻す工夫を」(『神戸新聞』11月21日社説に発言を引用)

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読
- ・兵庫県スクールカウンセラー
- ・(財)こどもサポート財団 コミュニティカフェ 嘱託心理士
- ・明石市支援対象児童見守り強化事業 支援員
- ・神戸市中学校生徒不登校いじめ追加調査委員会 委員

- ・明石みもご心理相談室 代表

【大学運営】

1. 学内委員

- ・男女共同参画委員
- ・同和問題部会
- ・ハラスメント防止委員
- ・不正防止計画推進委員
- ・教職課程小委員
- ・IPE 運営委員
- ・学生委員
- ・国際交流支援委員
- ・研究支援委員
- ・利益相反マネジメント委員
- ・図書館運営委員
- ・学生の未来センター運営委員
- ・大学院奨学金返還免除候補者学内選考委員

2. 学部内委員

- ・教育・研究委員
- ・学部内自己点検評価委員
- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・心理臨床カウンセリングセンター運営委員
- ・明石市との連絡調整

3. その他

- ・子育てサロン運営

岡村 心平 (おかむら しんぺい)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・人格心理学 (感情・人格心理学) (人格心理学)
- ・心理学研究法 (心理学研究法)
- ・家族心理学 (社会・集団・家族心理学) (家族心理学)
- ・現代社会と心理学 (共通教育科目)
- ・心理学基礎実験実習 I (心理学実験) (心理学基礎実験実習 I)
- ・心理学入門ゼミナール (心理学入門演習 I) (人文入門演習)
- ・心理学基礎演習 I (人間心理学基礎演習)
- ・心理学基礎演習 II (専攻演習 I)
- ・心理学専門演習 I (専攻演習 II)
- ・心理学専門演習 II (専攻演習 III)

[大学院]

- ・心理学研究法Ⅱ
- ・心の健康教育に関する理論と実践

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

- ・関西大学 教育推進部 非常勤講師（「プロジェクト学習Ⅰ」）
- ・関西大学 人間健康学部 非常勤講師（「導入演習」）

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・岡村 心平（2022）. 予感する身体：治療文化論的考察 関西大学東西学術研究所紀要, 55, 147-185.

3. 学会・研究会発表

- ・岡村 心平・越川 陽介（2022）. 年齢・性別・業種・役職別にみた日常におけるフォーカシングの経験の特徴：FES-TR を用いたウェブ調査から 日本人間性心理学会 第 41 回大会（9 月 10 日～13 日 オンライン開催・オンデマンド発表）
- ・越川 陽介・岡村 心平（2022）. コロナ禍における労働者世代のフォーカシングの経験の特徴とワークファミリーバランスとの関連の検討 日本人間性心理学会 第 41 回大会（9 月 10 日～13 日 オンライン開催・オンデマンド発表）
- ・三國 牧子・加藤 敬介・岡村 心平・押岡 大覚（2022）. 人間性心理学、そこまで言って委員会？ 日本人間性心理学会 第 41 回大会 自主シンポジウム（9 月 10 日 オンライン開催・リアルタイム配信）
- ・三宅 麻希・小坂 淑子・青木 剛・木村 正志・辰巳 朋子・岡村 心平（2022）. フォーカシングの心理臨床の未来への貢献－身体とプロセスへの注目をめぐって－ 日本心理臨床学会 第 41 回大会 Web 大会の部 自主シンポジウム [指定討論者]（9 月 25 日 オンライン開催・リアルタイム配信）

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・学術研究助成基金助成金 基盤研究（B）「荒川修作＋マドリン・ギンズ映画資料アーカイブ構築による映画制作過程と身体論の研究（研究代表者：三村 尚彦，2022～2024 年度）」

- ・神戸学院大学 健康科学助成金 「メンタルヘルスにおける「身体性(embodiment)」に関する調査研究」

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本人間性心理学会常任理事，国際交流委員長，研修委員（兼務）

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・『『ぐずぐず』するカーマインドフルネスとフォーカシングから見た・ネガティブ・ケイパビリティー（毎日文化センター 対談企画（小室マイケル弘毅・岡村心平） 4 月 2 日 毎日文化センター大阪）
- ・「フォーカシングの心理学」（毎日文化センター常設講座 4 月 23 日，5 月 28 日，6 月 25 日，7 月 30 日，8 月 27 日，9 月 24 日 毎日文化センター大阪・全 6 回）
- ・「ジェンドリン哲学や仏教を体験的に語り合おうー煩惱とフェルトセンスについてー（2022 年度 日本フォーカシング協会年次大会～フォーカサーの集い in 沖縄～ フォーカシング・プロジェクト企画 9 月 17 日那覇・沖縄県男女共同参画センター）
- ・「今こそ学ぶ『人間性心理学』入門」（毎日文化センター常設講座 2022 年 10 月 22 日，11 月 26 日，12 月 24 日，2023 年 1 月 20 日，2 月 25 日，3 月 25 日 毎日文化センター大阪・全 6 回）
- ・「『問いかけ』からフォーカシングを学びほぐす～なぞかけ、禅問答、創造性～」（札幌フォーカシング・プロジェクト主催 11 月 5 日，6 日 札幌・道民活動センターかでの 27・ハイブリット実施）
- ・「オンライン対談『心身統合を求めて』藤田一照さん×小笠原和葉さん×岡村心平さん 仏教×身体×心理が生み出す人間性の創造を探究しよう」（帰ってきたアップデートする仏教 運営事務局主催 11 月 9 日 オンライン開催）
- ・『今さら聞けない心理療法の基礎Ⅱ～知ってはいるけど…本当はよくわかっていない』を学ぶ～』応用編「ロールプレイまたは事例検討」（大阪・京都こころの発達研究所 葉 主催 2023 年 2 月 5 日，2 月 26 日 オンライン開催）
- ・『『自分らしく生きる』を深掘りする～人間性心理学入門～』（Teachers 主催 2023 年 3 月 4 日，18 日，4 月 1 日，5 日，29 日 オンライン開催・全 5 回）
- ・「今日から使える身体系リラクゼーションの話～これからのメンタルヘルスの話～」（キャリアデザインアプローチ主催 2023 年 3 月 11 日 キャリアデザインアプローチ）
- ・「オンライン対談『探究 遊び コトバ』禅僧 藤田一照さん×ボディワーカー 小笠原和葉さん×臨床心理士 岡村心平さん オンライン三人会第 2 回」（帰ってきたアップデートする仏教運営事務局主催 3 月 28 日 オンライン開催）

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読
- ・神戸学院大学 心理臨床カウンセリングセンター
カウンセリング担当教育職員
- ・The International Focusing Institute, Volunteers 2022
(newsletter translator).

【大学運営】

1. 学内委員

なし

2. 学部内委員

- ・卒論委員

3. その他

- ・心理学検定担当
- ・「心理学マニュアル」編集委員
- ・学部実習マニュアル編集委員
- ・大学院実習マニュアル編集委員

定政 由里子 (さだまさ ゆりこ)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・現代社会と心理学
- ・臨床心理学概論（臨床心理学Ⅰ）
- ・心理学特論Ⅱ（臨床心理学特論Ⅰ）
- ・心理学専門実習Ⅰ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅰ）
- ・心理学専門実習Ⅱ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅱ）
- ・心理学基礎実験実習Ⅱ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅱ）
- ・講読演習Ⅰ（発達・臨床心理学演習）
- ・講読演習Ⅱ（医療・社会心理学演習）
- ・心理学基礎演習Ⅰ（人間心理学演習）
- ・心理学基礎演習Ⅱ（専攻演習Ⅰ）
- ・心理学専門演習Ⅰ（専攻演習Ⅱ）
- ・心理学専門演習Ⅱ（専攻演習Ⅲ）

[大学院]

なし

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・学部生に対する質的研究の個別指導

3. 学外での教育活動

- ・臨床心理学系大学院生のスーパーバイザー

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

なし

3. 学会・研究会発表

なし

4. その他

- ・ヤプコ, M. D. (福井 義一監訳, 定政 由里子訳) (印刷中). 違いの分かるセラピスト 北大路書房 [Yapko, M. D. (2016). The Discriminating Therapist: Asking "How" Questions, Making Distinctions, and Finding Direction in Therapy. Yapko Publications]

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

なし

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

なし

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

なし

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読
- ・神戸市教育委員会 第三者委員会委員
- ・医療法人 篤友会 関西リハビリテーション病院 非常勤臨床心理士

【大学運営】

1. 学内委員

なし

2. 学部内委員

なし

3. その他

- ・学術講演会担当

・心理学部広報誌 CoCo-Navi 担当

清水 寛之 (しみず ひろゆき)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・認知心理学 (知覚・認知心理学) (認知心理学Ⅱ)
- ・専門職心理実習Ⅰ (心理実習)
- ・専門職心理実習Ⅱ (心理実習)
- ・心理学入門ゼミナール/心理学入門実習Ⅰ (人文入門演習)
- ・心理学基礎演習Ⅰ (人間心理学基礎演習)
- ・心理学基礎演習Ⅱ (専攻演習Ⅰ)
- ・心理学専門演習Ⅰ (専攻演習Ⅱ)
- ・心理学専門演習Ⅱ (専攻演習Ⅲ)
- ・専門職心理実習Ⅲ (心理演習)

[大学院]

- ・心理学研究法Ⅱ
- ・心理実践実習 A
- ・心理実践実習 B
- ・心理学演習Ⅲ
- ・心理学演習Ⅳ

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・心理学勉強会の開催 (3 年次生 5 名が参加し, 11 月から隔週に 1 度の割合で 90 分程度, 主に大学院進学に向けた心理学の学修に関する情報交換を定期的に行っている)

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

- ・Anderson, D., Shimizu, H., & Massam, W. (2022). Generational differences between younger and older Japanese adults in perceptions of society from retrospective, current, and future time perspectives. *Psychologia: An International Journal of Psychological Sciences*, 64, 69-93.
- ・清水 寛之 (2022). 記憶検査の成績予測の正確度と認知的失敗傾向の関係—改訂版ウエクスラー記憶検査 (WMS-R) と認知的失敗質問紙 (CFQ) による検討— 神戸学院大学心理学研究, 5, 9-21.

- ・難波 愛・道城 裕貴・清水 寛之・村井 佳比子・岡野 太郎・中村 敏 (2022). 地域子育て支援拠点事業の利用状況に関する全国 Web 調査報告—大学施設利用を中心に— 神戸学院大学心理学研究, 5, 53-61.

- ・Nagaya, K. & Shimizu, H. (2023). Effects of graphical presentation of benefits on cognitive judgments induced by affect heuristic: Focusing on the acceptance of genetically modified foods. *Appetite*, 182, 106450.

<http://doi.org/10.1016/j.appet.2023.106450>

3. 学会・研究会発表

- ・中田 英利子・富高 智成・向居 暁・清水 寛之 (2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (6) —失敗に気づいた時の感情と思考に関する分析— 日本教育心理学会第 64 回総会 (2022 年 8 月 10 日～9 月 10 日, オンライン開催)
- ・中田 英利子・富高 智成・向居 暁・清水 寛之 (2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (7) —失敗に気づいた時の感情と思考に関する共起ネットワーク分析— 日本教育心理学会第 64 回総会 (8 月 10 日～9 月 10 日 オンライン開催)
- ・向居 暁・中田 英利子・富高 智成・清水 寛之 (2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (8) 想起された失敗エピソードに対する現在の感情・思考における感情語の出現数 日本心理学会第 86 回大会 (9 月 10 日 日本大学, ハイブリッド開催)
- ・中田 英利子・富高 智成・向居 暁・清水 寛之 (2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (9) 想起された失敗エピソードに対する現在の感情・思考に関する対応分析 日本心理学会第 86 回大会 (9 月 10 日 日本大学, ハイブリッド開催)
- ・富高 智成・向居 暁・中田 英利子・清水 寛之 (2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (10) 想起された失敗エピソードに対する現在の感情・思考に関する共起ネットワーク分析 日本心理学会第 86 回大会 (9 月 10 日 日本大学, ハイブリッド開催)
- ・清水 寛之 (2022). 記憶検査の成績予測の正確度と認知的失敗傾向の関係—改訂版ウエクスラー記憶検査 (WMS-R) と認知的失敗質問紙 (CFQ) による検討— 日本心理学会第 86 回大会 (9 月 10 日 日本大学, ハイブリッド開催)
- ・山本 晃輔・榎 洋一・瀧川 真也・清水 寛之 (2022). 自伝的記憶特性質問紙 (AMCQ) 日本語版開発の試み (4) 日本認知心理学会第 20 回大会 (10 月 16 日 神戸大学にて)
- ・中田 英利子・富高 智成・向居 暁・清水 寛之 (2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶 (11) 想起された失敗エピソードに対する現在

の感情・思考に関する対応分析 日本認知心理学会第20回大会(10月16日 神戸大学にて)

- ・清水 寛之(2022). 記憶課題における成績予測の正確度と記憶自己効力感の関係-自由再生課題と成人用メタ記憶尺度(MIA)を用いた検討- 日本認知心理学会第20回大会(10月16日 神戸大学にて)
- ・長谷 和久・清水 寛之(2022). 感情ヒューリスティック判断における便益情報の図的提示の効果: 遺伝子組み換え食品の受容に着目して 日本リスク学会第35回年次大会(10月16日 京都大学にて)
- ・中田 英利子・富高 智成・向居 暁・清水 寛之(2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶(12)-想起された失敗直後の感情と思考に関する階層的クラスター分析- 日本パーソナリティ心理学会第31回大会(11月12日 沖縄県市町村自治会館にて)
- ・富高 智成・中田 英利子・向居 暁・清水 寛之(2022). 自己と他者における失敗エピソードの記憶(12)-想起された失敗直後の感情と思考に関する階層的クラスター分析- 日本パーソナリティ心理学会第31回大会(11月12日 沖縄県市町村自治会館にて)
- ・中田 英利子・富高 智成・向居 暁・清水 寛之(2023). 自己と他者における失敗エピソードの記憶(14) 失敗直後と現在における感情語の比較検討に基づく失敗の捉え直し 日本発達心理学会第34回大会(2023年3月4日, 立命館大学大阪いばらきキャンパスにて)
- ・富高 智成・中田 英利子・向居 暁・清水 寛之(2023). 自己と他者における失敗エピソードの記憶(15) 対応分析を用いた失敗の捉え直しに関する検討 日本発達心理学会第34回大会(2023年3月4日, 立命館大学大阪いばらきキャンパスにて)
- ・田中 駿・清水 寛之・清水 里美・足立 絵美・郷間 英世(2023). 人間の発達曲線は何次式で表せるか: 新版K式発達検査2020の標準化資料の分析から 日本発達心理学会第34回大会(2023年3月4日, 立命館大学大阪いばらきキャンパスにて)

4. その他

- ・ファランダ, F. (清水 寛之・井上 智義(監訳) 松矢 英晶(訳))(2022). 恐怖と不安の心理学 ニュートンプレス(『「恐怖」のパラドックス』を改題のうえ新書化)
- ・クリアリー, A. M. & シュワルツ, B. L. (編) (清水 寛之・山本 晃輔・榎 洋一・瀧川 真也(共訳))(2022). 記憶現象の心理学: 日常の不思議な体験を探る 北大路書房
- ・ラーナー, R. M. (編) (二宮 克美・子安 増生(監訳))(2022). 児童心理学・発達科学ハンドブック (清水 寛之分担訳「第2巻認知過程 上・6章「記憶の

発達」) 福村出版

- ・ファン・デル・ステイッヘル, S. (枝川 義邦・清水 寛之・井上 智義(監訳) 徳永美恵(訳))(2022). 最新の脳科学と心理学で高まる集中力の科学 ニュートンプレス(『人生を変える集中力の高め方-集中力が劇的に向上する6つの話-』を改題のうえ新書化)

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・日本ミュージアム・マネージメント学会第5回大堀哲記念ミュージアム・マネージメント推進賞「博物館体験の長期記憶に関する一連の研究」(2022年6月4日)(湯浅 万紀子・藤田 良治・清水 寛之・David Anderson との共同受賞)
- ・科学研究費補助金 基盤研究(C)「自己認知と状況認知に支えられたメタ記憶の機能に関する実験的検討」(研究代表者:清水 寛之, 平成29~令和4年度)
- ・科学研究費補助金 基盤研究(C)「企業博物館の多様なステークホルダーにおける博物館体験の長期記憶に関する研究」(研究代表者:湯浅 万紀子, 平成31~令和4年度)
- ・科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽)「記憶方略に及ぼすステレオタイプの影響に関する実験的検討」(研究代表者:高橋 雅延, 平成30~令和4年度)
- ・科学研究費補助金 基盤研究(C)「中国の在留邦人の文化適応支援に関する心理学的研究」(研究代表者:毛 新華, 令和3~6年度)
- ・科学研究費補助金 基盤研究(C)「加齢に伴う失敗の認知と時間的展望との関係の変化に関する心理学的研究」(研究代表者:中田 英利子, 令和4~6年度)

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本認知心理学会 理事
- ・関西心理学会 顧問

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・日本心理学会第86回大会・公募シンポジウム「日常記憶研究の新展開」(指定討論者, 2022年9月8~11日, オンライン開催)

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

なし

【大学運営】

1. 学内委員

- ・学部自己点検評価委員
- ・研究科自己点検評価委員
- ・環境保全委員

2. 学部内委員

- ・教育・研究委員
- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・心理臨床カウンセリングセンター運営委員
- ・『神戸学院大学心理学研究』編集委員

3. その他

- ・「心理学マニュアル」担当

竹田 剛 (たけだ つよし)

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・健康・医療心理学 I (健康) / 健康心理学 (健康・医療心理学)
- ・教育心理学 (教育・学校心理学)
- ・心理学入門実習 C / 心理学入門実習 IV (人間心理学入門実習 II)
- ・心理学基礎実験実習 I (心理学実験) (心理学基礎実験実習 I)
- ・専門職心理実習 II (心理実習)
- ・専門職心理演習 I (心理演習)
- ・専門職心理演習 II (心理演習)
- ・心理学基礎演習 I (人間心理学基礎演習)
- ・心理学専門演習 I (専攻演習 II)
- ・心理学専門演習 II (専攻演習 III)
- ・多職種連携実践 C

[大学院]

- ・心理実践実習 I
- ・心理実践実習 II
- ・心理実践実習 III
- ・心理実践実習 IV
- ・心理実践実習 D

2. 大学内でのその他の教育活動

- ・3年次生との大学院入試対策勉強会の開催

3. 学外での教育活動

- ・社会医療法人弘道会なにわ生野病院心療内科 研究員

- ・社会医療法人弘道会なにわ生野病院心療内科 登録カウンセラー
- ・名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科 非常勤講師 (「臨床心理学特論」「臨床心理学演習」)
- ・臨床心理学系大学院修了生のスーパーバイザー

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

なし

3. 学会・研究会発表

- ・三井 知代・藤本 麻起子・竹田 剛・武久 千夏・小原 千郷 (2022). 「ねばならない」から「これでいい」へー摂食障害当事者・家族に心理士としてできることー 日本心理臨床学会第 41 回大会 (9 月 4 日 オンライン)
- ・竹田 剛 (2022). 摂食障害患者の自尊感情を向上するオンラインカウンセリングの開発と評価ー多層ベースラインデザインに基づく事例的検討ー 第 25 回日本摂食障害学会学術集会 (10 月 16 日 オンライン)

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費補助金 研究活動スタート支援「神経性過食症患者の自尊感情を向上する個人療法の開発と評価」(研究代表者:竹田 剛, 2018 ~ 2022 年度)
- ・科学研究費補助金 若手研究「摂食障害予防教育に関するゲーミング教材の開発と評価」(研究代表者:竹田 剛, 2020 ~ 2023 年度)

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本認知療法・認知行動療法学会 『認知療法研究』非常勤編集委員
- ・日本摂食障害学会 評議員
- ・日本摂食障害協会 フェロー

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・「ストレス・不安・依存について」(加古川南高校主催 8 月 4 日 オンライン)
- ・「日常生活と心理学～食事と心のつながりから心理学を考える～」(兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校主催 10 月 21 日 オンライン)

- ・「摂食障害の背景にある「不安」について（オンデマンド解説講義）」（日本摂食障害協会主催 10月23日 オンライン）
- ・「摂食障害の背景にある「不安」について（ライブ配信）」（日本摂食障害協会主催 11月20日 オンライン）
- ・「摂食障害の背景にある“生き辛さ”（ライブ配信）」（日本摂食障害協会主催 1月22日 オンライン）
- ・「今さら聞けない心理療法の基礎Ⅱ（ロールプレイ）」（こころの発達研究所 葉主催 2月5日 オンライン）
- ・「今さら聞けない心理療法の基礎Ⅱ（事例検討）」（こころの発達研究所 葉主催 2月26日 オンライン）

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など
なし

4. その他

- ・『認知療法研究』論文査読
- ・『神戸学院大学心理学研究』論文査読
- ・世界摂食障害アクションデイ 2022 運営スタッフ

【大学運営】

1. 学内委員

- ・研究科自己点検委員
- ・広報委員
- ・IPE 運営委員
- ・入試総務委員
- ・法人設置学校連絡調整会議委員
- ・情報支援センター運営委員

2. 学部内委員

- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理審査委員
- ・卒論委員 / 修論委員

3. その他

- ・広報活動委員
- ・心理学検定
- ・入学前課題
- ・大学院実習マニュアル委員
- ・学部実習運営委員
- ・心理学部広報誌 CoCo-Navi 担当

山本 恭子（やまもと きょうこ）

【教育活動】

1. 担当科目

[学部]

- ・社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団） / 社会心理学（社会・集団・家族心理学）（社会心理学Ⅰ）
- ・感情心理学（感情・人格心理学）（対人心理学Ⅱ）
- ・心理学専門実習Ⅰ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅰ）
- ・心理学専門実習Ⅱ（発達・臨床・医療・社会心理学実習Ⅱ）
- ・心理学入門ゼミナール（心理学入門演習Ⅰ）（人文入門演習）
- ・社会の中の心理学Ⅰ
- ・社会の中の心理学Ⅱ / 心理学入門演習Ⅱ（人間心理学入門演習）
- ・心理学専門演習Ⅰ（専攻演習Ⅱ）
- ・心理学専門演習Ⅱ（専攻演習Ⅲ）

[大学院]

- ・心理学研究法Ⅰ
- ・心理学演習Ⅰ
- ・心理学演習Ⅱ
- ・心理学演習Ⅲ
- ・心理学演習Ⅳ

2. 大学内でのその他の教育活動

なし

3. 学外での教育活動

なし

【研究活動】

1. 著書

なし

2. 論文

なし

3. 学会・研究会発表

- ・井上 悟・水野 邦夫・山本 恭子（2022）. ネタの対象によってユーモアの表出動機は異なるのか 日本社会心理学会第63回大会（9月15日 京都橋大学にて）

4. その他

なし

【受賞・外部資金および助成金の獲得】

- ・科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「対人感情制御における感情表出の機能的役割の解明」(研究代表者: 山本恭子, 2021 ~ 2024 年度)

【学会活動・社会貢献活動】

1. 学会等での委員など

- ・日本感情心理学会 Emotion Studies 編集委員長
- ・『心理学研究』論文査読
- ・明石市ホテル等建築審査会 委員
- ・『Psychologia』論文査読

2. 講演・セミナー・研修会等の講師など

- ・「気持ちを伝える：コミュニケーションの心理学」
(社会福祉法人神戸明輪会法人研修 2023 年 3 月
11 日 東部在宅障害者福祉センターにて)

3. 新聞・雑誌・インターネット記事の執筆など

なし

4. その他

なし

【大学運営】

1. 学内委員

- ・入試総務委員
- ・就職委員
- ・キャリア教育センター委員

2. 学部内委員

- ・神戸学院大学心理学部人を対象とする研究等倫理
審査委員
- ・学部内自己点検評価委員
- ・『神戸学院大学心理学研究』編集委員長

3. その他

- ・広報担当

「神戸学院大学心理学研究」投稿規程

2018年4月1日

制定

改正 2018年12月5日

改正 2019年6月5日

第1条（目的）

神戸学院大学心理学部における教育・研究成果の発表を目的として、「神戸学院大学心理学研究」（以下「心理学研究」という）を発行する。

第2条（編集等の機関・原稿の採択）

1. 心理学研究の企画、原稿の募集及び編集は、心理学研究編集委員会（以下「委員会」）が行い、掲載可否の権限および編集責任をもつ。
2. 委員会は、心理学部専任教員および実習助手から4名で構成され、委員長は互選とする。

第3条（執筆者の資格）

1. 本誌に論文を投稿できる者は以下の通りとする。
 - (1) 心理学部専任教員
 - (2) 心理学部実習助手
 - (3) 心理臨床カウンセリングセンター職員（インターナショナル・心理カウンセラー）
 - (4) 人間文化学研究科の心理学関連の専攻及び講座の学生
 - (5) 心理学研究科の学生
 - (6) 心理学部教授会の承認を得た者
2. 共著執筆論文の投稿については、筆頭執筆者が(1)～(6)のいずれかである場合に限る。(1)～(6)以外の者も、第2著者以下であれば、共著者となれる。(4) (5)については、専任教員を共著者に含める。

第4条（原稿の要件）

心理学研究に執筆する原稿の要件は、次の各号のとおりとする。

- (1) 他誌に未掲載であり、かつ本誌以外に投稿をしていない論文であること。
- (2) 完成原稿であること。
- (3) 原稿の種類は次のいずれかに該当するものであること。
 - ①原著論文：原則として、問題提起と実験、調査、事例などに基づく研究成果、理論的考察と明確な結論をそなえた研究。査読有。
 - ②研究報告：すでに公刊された研究成果に対する追加、吟味、新事実の発見、興味ある観察、少数の事例についての研究報告、速報性を重視した研究報告、萌芽的発想に立つ報告。査読無。
 - ③海外研究・国内研究報告

- ④人間文化学研究科の心理学関連の専攻及び講座の修士・博士論文の要約
- ⑤心理学研究科の修士・博士論文の要約
- ⑥心理学部優秀卒業論文
- ⑦教員の活動実績（研究実績、教育実績、社会貢献、競争的研究資金獲得実績、大学運営）
- ⑧今年度の主な行事
- ⑨その他、紀要の編集上必要と認められるもので、心理学部教授会の承認を得たもの

第5条（審査）

原著論文は、専門家による3人（神戸学院大学心理学部専任教員より1人以上、学外より1人以上）のレフェリーを設け、その査読の結果をもとに、委員会において採否を決定する。

第6条（倫理的配慮）

論文の内容は、研究対象者や被験体の保護を含め、倫理的配慮が必要である。原稿は、神戸学院大学研究倫理綱領および公益社団法人日本心理学会倫理規程に則ること。

第7条（原稿の形式）

原稿は、別に定める「神戸学院大学心理学研究投稿細則」によるものとする。

第8条（発行）

心理学研究は、年2回の発行とし、各年度の原稿募集・投稿期限・発行日は委員会が決定し、公表する。

第9条（校正）

校正は、2校までとする。その際、大幅な修正は原則として認めない。

第10条（公開方法）

心理学研究の目次および掲載論文等は、原則として心理学部のホームページ及び神戸学院大学機関リポジトリで公開する。

第11条（著作権）

掲載された論文の著作権は神戸学院大学心理学部に帰属する。

第12条（改廃）

この規程は、心理学部教授会の議を経て改正することができる。

【附則】

本規程は2018年4月1日から施行する。

【附則】

本規程は2018年12月5日から施行する。

【附則】

本規程は2019年6月5日から施行する。

「神戸学院大学心理学研究」投稿細則

2018 年 4 月 1 日

制定

改正 2020 年 2 月 21 日

改正 2021 年 10 月 27 日

改正 2022 年 12 月 7 日

第 1 条

投稿を希望するものは以下の諸要項にそって、MS Word で作成した原稿を電子メールで心理学研究編集委員会（以下、「委員会」という）に送付すること。

第 2 条 論文の種類と原稿枚数

1. 原著論文：原則として、問題提起と実験、調査、事例などに基づく研究成果、理論的考察と明確な結論をそなえた研究。査読有。掲載時、A4 ダブル・カラム約 20 ページ以内。
2. 研究報告：すでに公刊された研究成果に対する追加、吟味、新事実の発見、興味ある観察、少数の事例についての研究報告、速報性を重視した研究報告、萌芽的発想に立つ報告。査読無。掲載時、A4 ダブル・カラム約 20 ページ以内。

原稿枚数は、表題、著者名、所属機関名、要約とキーワード、本文、引用文献、脚注、図表、付録などすべてを含め、論文種類ごとの規定ページ内におさめる必要がある。

第 3 条 論文の形式

1. 提出原稿は A4 用紙を縦に用い、各ページは、上下、左右に 3 cm 以上の余白を取り、30 文字×40 行（1200 字）とし、10.5 ポイント以上のサイズの文字を用いる。
2. 英文は、一般的フォントおよび 10.5 ポイント以上のサイズの文字を使用し、行間はダブルスペースとする。1 ページに入る行数はフォント、サイズにより異なるが、20～23 行を目安とする。
3. 原稿には通しページを付ける。
4. 要約は日本語、英語どちらでも構わない。和文は 400 字程度、英文は 100～200 語とする。
5. 原稿作成上の規定や表記法、文献の引用などについては、日本心理学会の「執筆・投稿の手びき（2022 年版）」を参照のこと。

第 4 条 提出様式

投稿にあたっては、以下のものを委員会に電子メールで送付する。

1. 表紙（投稿区分、表題、著者名、連絡先、3 ないし 5 つのキーワード）
和文原稿の場合は、論文題目の欧文訳と著者名のローマ字表記を併記すること。

2. 本文

3. 引用文献

4. 要約

5. 表・図

6. 図のキャプション

7. 承諾書：教員が指導学生の卒業論文などのデータをもとに論文を作成し、その学生が共著者に含まれない場合は、学生からの承諾書を提出する。

第 5 条 査読の手続き

1. 査読者の選定

委員会は査読者 3 名を選定する。

2. 査読者による査読

受稿論文は査読者 3 名に、著者情報を伏せて依頼され、査読される。査読者名は著者には公表されない。

3. 査読者による判定

査読者による評価に基づき、判定が行われる。

i) このままで掲載してよい

ii) 掲載してよいが、意見を助言する

iii) 意見に基づき訂正すれば、掲載する

iv) 掲載しない

4. 論文の改稿

受稿論文は、査読者のコメントを付けて、期限つきで改稿を求められる。

5. 改稿論文の確認

著者によって修正・加筆され再提出された改稿論文は、委員会が確認する。論文によっては、再度査読され、修正が求められる場合もあり得る。

6. 掲載、不掲載の決定

掲載、不掲載は、すべての査読者からの評価が得られた後、委員会が掲載、不掲載を判定する。

第 6 条

この投稿細則は、心理学部教授会の議を経て改正することができる。

附則

この投稿細則は、2018 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この投稿細則は、2020 年 2 月 21 日から施行する。

附則

この投稿細則は、2021 年 10 月 27 日から施行する。

附則

この投稿細則は、2022 年 12 月 7 日から施行する。

神戸学院大学心理学研究 第5巻 第2号
Kobe Gakuin University Journal of Psychology,
Volume 5, Number 2

発行日 2023年3月24日
編集委員 山本 恭子 清水 寛之
河瀬 諭 長谷 和久
道重 さおり
査読協力者 岡村 心平 毛 新華
村井 佳比子 定政 由里子
石崎 淳一 難波 愛
竹田 剛 道城 裕貴
土井 晶子 中川 裕美
長谷川 千洋 松島 由美子
学外査読協力者 井出 智博 (北海道大学大学院)
山本 晃輔 (大阪産業大学)
前田 泰宏 (奈良大学名誉教授)
杉本 任士 (北海道教育大学教職大学院)
後藤 学 (原子力安全システム研究所)
前田 志壽代 (博友会藤谷クリニック)
編集事務 心理学部長室
発行者 神戸学院大学心理学部
所在地 〒651-2180
神戸市西区伊川谷町有瀬 518
TEL : 078-974-1551
URL : <http://kobegakuin-psy.jp/>
制作 交友印刷株式会社
〒650-0047
神戸市中央区港島南町 5 丁目 4-5